

生活文化スポーツ部

文化生涯学習課
協働推進課
多様性社会・男女共同参画推進課
産業振興課
農政課
スポーツ振興課

文化生涯学習課

1 文化振興事業

予算科目（款・項・目） 10・35・05〔決算書143ページ〕

市民に文化芸術に触れる機会を提供するため、様々な文化振興事業を実施するもの

(1) 彫刻のある街づくり事業

多摩川桜堤通りに設置している10体の彫刻作品の維持管理を行った。

作品名及び作者は、次のとおり

ア	「H a r m o n y」（ステンレススチール製）	松本 憲宜
イ	「生命の樹と授かりものたち」（ブロンズ製）	松本 雄治
ウ	「花の柱」（本小松石製）	平山 隆也
エ	「リバイアサン」（ブロンズ、河原石製）	天野 裕夫
オ	「風のフォルム」（赤みかげ石製）	須藤 博志
カ	「童の夢」（黒みかげ石、白みかげ石製）	宮澤 光造
キ	「プリアテル」（ブロンズ製）	前田 忠一
ク	「大地の使者」（黒みかげ石製）	鈴木 武右衛門
ケ	「N y m p h」（黒みかげ石、桜みかげ石製）	平井 一嘉
コ	「町村制100周年記念碑」（ブロンズ製）	作者不詳

(2) 姉妹都市等交流事業

調布市の姉妹都市である長野県木島平村と、市民と村民との相互理解と交流を図るため、文化活動を中心とする交流事業を実施した。

令和7年度は、調布市・木島平村姉妹都市盟約40周年の節目の年として、各種盟約40周年記念事業を実施したほか、市報8月5日号で特集を掲載した。

ア 姉妹都市交流事業

(ア) 姉妹都市木島平村体験バスツアー

市民に姉妹都市木島平村の魅力を知っていただき、市民と村民との交流を深めるため実施している木島平村へのバスツアー事業を実施した。

事業名	実施日	参加者数（人）	事業概要
木島平村体験バスツアー「ブナの森づくりとそば打ち体験ツアー」	9月27・28日	10	カヤの平高原でのブナの森づくり体験及びそば打ち体験を実施
木島平村体験バスツアー「家族で木島平!スキー・スノーボードツアー」	2月27日～3月1日	146	家族で木島平村のスキー場を楽しんでもらうためのリフト券付きのフリープラン

(イ) 調布・木島平交流クラブバスツアー

調布・木島平交流クラブとの共催により、木島平村へのバスツアーを3回実施した。

事業名	実施月日	参加者数（人）	事業概要
-----	------	---------	------

田植え体験バスツアー	5月24・25日	20	田植え体験、野菜収穫体験等の実施
稲刈り体験+姉妹都市盟約40周年記念植樹バスツアー	10月4・5日	23	稲刈り体験、釈迦堂遺跡博物館の見学、木島平村役場における百日紅の植樹等の実施
リンゴ狩り体験バスツアー	11月15・16日	41	リニア見学センター、野沢温泉村の見学、リンゴ狩り等の実施

(ウ) 姉妹都市盟約40周年記念事業

調布市・木島平村姉妹都市盟約40周年記念事業として、以下の交流イベントを実施した。

事業名	実施日	参加者数(人)	事業概要
姉妹都市盟約40周年記念作品を寄贈	10月19日		調布市ゆかりのイラストレーターである黒木ユタカ氏の作品を、木島平村へ寄贈
「Chofu 70th Anniversary FES」における、木島平村に関する各種取組	10月26日		鬼島太鼓の演奏 特産品「大抽選会」 木島平村産そばの提供

イ 姉妹都市宿泊費助成事業

市内在住・在勤・在学者等が、木島平村内の指定された宿泊施設に宿泊する際の宿泊費を助成した。

延べ利用泊数 1, 476泊(うち、中学生107泊、65歳以上265泊、その他1, 104泊)

(3) 平和祈念事業

調布市国際交流平和都市宣言及び調布市非核平和都市宣言の理念に基づき、幅広い年齢層の市民に平和について考える機会を提供するため、各種平和事業を実施した。

また、「平和首長会議(平成22年加盟)」や「日本非核宣言自治体協議会(令和3年加入)」の加盟自治体として、世界の恒久平和を希求する自治体との連携や平和交流を実施した。

ア 中学生被爆地平和派遣事業(ピースメッセンジャーの取組)

次代を担う子どもたちを被爆地へ派遣し、戦争・平和に関する現地施設の見学等を通じて、戦争の悲惨さや平和の大切さについて肌で学ぶ機会を設け、その成果を広く市民へ還元することを目的に実施するもの。

市内在住・在学の中学生を市民の代表“ピースメッセンジャー”として広島へ派遣し、広島市役所旧庁舎資料展示室や平和記念公園を見学した。

また、第1回全国子ども平和サミットや第1回全国平和学習の集いに参加し、被爆体験講

話の聴講や他自治体から参加している青少年と交流した。

派遣前後の学習会をはじめ、子どもたちの学習支援としてNPO法人ちょうふこどもネットと連携し、派遣後は、文化会館たづくりエントランスステージで活動報告会を実施した。そのほか、市内の公共施設等でピースメッセンジャー及びピースメッセンジャージュニアが作成したメッセージボードの展示や、調布市制施行70周年記念式典においてピースメッセンジャーが、これからの平和な世の中に向けての平和メッセージの発表を実施し、学びの成果を広く市民へ還元した。

派遣実施日 令和7年8月5日から同月7日まで

見学施設等 広島市役所旧庁舎資料展示室、平和記念公園、広島平和記念資料館、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式、第1回全国こども平和サミット、第1回全国平和学習の集い、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館、本川小学校

参加者数 11人

イ ピースメッセンジャージュニアの取組

FC東京との連携により、FC東京のアウェイゲーム開催にあわせて市内在住・在学の小学生（5・6年生）を“ピースメッセンジャージュニア”として京都へ派遣し、サッカーJリーグの競技観戦や立命館大学国際平和ミュージアムの見学などを実施した。そのほか、都内の戦争関連施設の見学も行い、一連の学びの成果をFC東京「青赤ストリート」の会場内のステージで発表した。

また、8月10日のFC東京ホームゲームのハーフタイム時に、ピースメッセンジャージュニアが横断幕を持ってピッチ周回を実施し、大勢の観客に取組を周知した。

派遣実施日 令和7年5月31日・6月1日

見学施設等 立命館大学国際平和ミュージアム、FC東京対京都サンガF.C.の試合観戦（サンガスタジアム）、壬生寺、東寺

参加者数 10人

都内資料館見学実施日 令和7年7月19日

見学施設 平和祈念展示資料館

ウ ちょうふピース部の取組

これまでに任命されたピースメッセンジャーたちが、派遣された年度以降も継続的に活動ができるよう支援している。ピースメッセンジャーとの交流や学習会をサポートしたほか、市が毎年発行している平和祈念情報誌「ピース・レターちょうふ」の特別版を作成した。

また、市制施行70周年記念関連事業、戦後80周年記念事業として、ちょうふピース部沖縄派遣事業を実施した。

派遣実施日 令和8年1月10日から同月12日まで

見学施設等 ひめゆりの塔、ひめゆり平和祈念資料館、沖縄県平和祈念資料館、平和祈念公園（ガイド付き）、旧海軍司令部壕、喜屋武岬、対馬丸記念館、現地学生との交流

参加者数 8人

エ 平和祈念情報誌「ピース・レターちょうふ」の発行

夏の平和事業の紹介及び平和に関する情報を発信するため「ピース・レターちょうふ」を発行した。

発行 令和7年7月

発行部数 17,500部

オ 調布っ子“平和なまち”絵画コンテスト

平和首長会議が実施する「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト」に応募する作品を選定するため、市内在住・在学の子どもの対象に作品を募集した。各部門に市独自の賞を設け、受賞者１０人に表彰状を授与した。

募集期間 令和７年７月８日から９月３０日まで

募集部門 ６歳～１０歳の部、１１歳～１５歳の部

応募数 全１１０作品

賞名 調布市長賞

調布市議会議長賞

調布市教育長賞

調布市文化・コミュニティ振興財団理事長賞

調布市文化協会長賞

カ 調布市平和展

戦争による被害の実相や次代を担う子どもたちの平和への想い等、展示を通して様々な角度から戦争・平和について学び、考える機会として開催した。各地の平和関連資料施設から借用した原爆に関する資料や、「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト」応募作品のほか、市の平和に関する各種取組などを展示した。

また、調布市原爆被害者の会の協力の下、被爆体験者による講話を開催した。

開催日 令和７年７月３１日から８月６日まで

会場 文化会館たづくり２階 北ギャラリー

来場者数 ３５７人

キ 平和事業連絡会

平和祈念事業を実施している関係各課（館）と、所管する事業について情報共有を行った。

開催回数 １回

ク Chofu Peace Library～調布市平和デジタルアーカイブ～

戦後８０年、調布市国際交流平和都市宣言３５周年の節目を機に、平和や国際交流に関する資料の保存や展示機会の充実の観点から、資料、映像配信等のデジタル技術を活用した事業展開を行うため、

「Chofu Peace Library～調布市平和デジタルアーカイブ～」を公開した。

ケ 平和都市宣言パネルの更新

各地域福祉センターに設置されている劣化した平和都市宣言パネルの更新を行った。１０箇所地域の福祉センターのうち、金子、緑ヶ丘、菊野台、入間、深大寺の５箇所を更新した。

コ その他の平和祈念事業

事業名	実施月日	会場	事業概要
-----	------	----	------

防災行政無線による黙とうの呼びかけ	8月6日、9日、15日、3月10日		広島・長崎への原爆投下、また、東京大空襲で犠牲となった方々の御冥福を祈るとともに、世界の恒久平和の実現を祈念するため、防災行政無線による黙とうの呼びかけを行った。呼びかけは、ピースメッセンジャー2025が行った。
第11回平和首長会議被爆80周年記念総会での平和資料配架	8月7日～10日	出島メッセ長崎会議室102	平和首長会議主催の第11回平和首長会議被爆80周年記念総会にて、ちょうふピースメッセンジャー2024報告書や、令和7年度ピース・レターちょうふ、ピース・レターちょうふちょうふピース部特別版を配架した。
多摩地域平和ユース研修事業	派遣は、8月20日～22日に実施（多摩地域での研修は、6月29日、7月20日、9月21日、10月4日、1月10日に実施）	広島市（派遣）、矢川プラス（国立市）、府中市男女共同参画センターフチュール（府中市）、武蔵野プレイス（武蔵野市）	平和首長会議東京都多摩地域平和ネットワークに加盟している東京都多摩地域26市の共同事業として実施した。多摩地域26市から平和ユースを選出し、多摩地域での研修や被爆体験証言の聴講、現地の若い世代の交流を通して、戦争の悲惨さや平和の大切さを若い視点で発信できる「多摩地域平和ユース」の育成を目的とした取組を実施した。
調布市制施行70周年記念式典にて平和メッセージの発表及び展示	10月26日	文化会館たづくりくすのきホール	調布市制施行70周年記念式典にて、ピースメッセンジャーが、これからの平和な世の中に向けてのメッセージを発表した。あわせて、ピースメッセンジャー2025、ピースメッセンジャージュニア2025が作成したメッセージボードや活動パネルを展示した。

平和祈念祭での 展示	11月10日	文化会館たづくりくすのきホール	調布市遺族厚生会と調布市の共催で実施した平和祈念祭にて、ピースメッセンジャー2025、ピースメッセンジャージュニア2025が作成したメッセージボードや活動パネルを展示した。
戦後80年 平和サミット	2月15日	パルテノン多摩大ホール	「次世代につなぐ」をテーマに、多摩地域合同で平和サミットを開催することで、戦争の教訓を「今」にどう活かすか考えることを目的とする。多摩地域平和ユース事業に参加した平和ユースが多摩地域や広島市で学習したことの活動報告を行い、その内容を踏まえて平和ユースと多摩地域26市の市長によるトークセッションを実施した。

(4) パラハートちょうふ関連事業

共生社会の充実に向けて市が掲げる「パラハートちょうふ」の理念のより一層の普及啓発を図るため、各種事業を実施するもの

ア パラアート展2025

文化芸術の推進による共生社会の充実に向けて、多様な主体との連携により、多彩なアートとの出会いを通じて、「パラハートちょうふ」を広める取組を「パラハートちょうふ meets ART」と題し、パラアート展2025を実施した。

市内の福祉作業所等で活動する方々のアート作品の展示を調布市福祉作業所等連絡会と共催により実施し、作業所等が日常の活動の中で制作した作品を展示する「自由制作部門」と市制施行70周年に関連して“70歳の調布への贈り物”をテーマとして作品を募集し、応募作品の中から調布ゆかりのスポーツ団体や企業が作品を選んで表彰する「アワード部門」の2部構成で開催した。アワード部門において受賞した作品は、パラアート展開催後、各アワード授与団体の所有施設等でも展示を行うことで、取組を知ってもらう機会とした。

また、「ちょうふ彩咲祭」と協力開催し、双方のチラシでイベントの告知やパラアート展会場内に、彩咲祭のスタンプラリー台を設置したほか、過去のパラアート展で制作した大旗を使用するなどの連携を図った。

加えてパラアート展開催後、アワード部門受賞作品を活用した文化会館たづくりの館内装飾等を行い、取組の普及啓発に努めた。

開催期間 令和7年10月2日から同月8日まで

会場 文化会館たづくり南北ギャラリー、エントランスステージ

来場者数 2,435人

イ ワークショップの実施

市制施行70周年の取組として、タペストリーを作成し、色塗りをするワークショップ

を実施した。完成した作品はパラアート展期間中にエントランスで展示した。

実施日 令和7年8月8日

実施場所 西部児童館

参加者内訳 西部児童館 利用児童38人（午前・午後延べ人数）

作業所及び放課後等デイサービス利用者 20人

ウ その他巡回展示

(ア) 東京2025デフリンピック会場での展示

日程 令和7年11月16日から同月25日まで

会場 京王アリーナTOKYO メインアリーナ入口前

内容 ワークショップ作品の展示

(イ) 市内商業施設での展示

日程 令和7年12月3日から同月9日まで

会場 トリエ京王調布C館1階 エスカレーター前

内容 アワード受賞作品の展示

(5) 文化・芸術団体事業助成

調布市文化協会との連携

事業名	実施月日	会 場	事業概要
他県市文化協会との 研修交流	6月18日	茨城県笠間市文化協会	他自治体文化協会との情報 共有や交流を図るもの。 令和7年度は、笠間市文化 協会と交流を実施した。
第41回木島平村夏ま つり	8月9日	木島平村中央グラウン ド(長野県木島平村)	姉妹都市の長野県木島平村 の夏まつりに参加するもの
70周年記念調布市民 文化祭	10月11日 ～11月16日	文化会館たづくり、 グリーンホールほか	市民の文化活動の発表の場 として、実行委員会を組織 し市民文化祭を開催した。

(6) 鉄道敷地跡地情報発信ゾーン

鉄道敷地の調布駅から布田駅間に、調布市ゆかりのアーティストの作品や桐朋学園大学の学生が制作した音楽を使用した遊具など、調布の文化・芸術を感じられる緑道（文化発信ゾーン）を管理したほか、デジタルサイネージで情報発信を行った。

(7) 部活動地域連携・地域展開への対応

調布市立中学校部活動地域連携・地域移行に関する推進計画（令和6年12月策定）」に基づき、部活動の地域展開等に向けて取り組んだ。

ア 調布市立中学校部活動地域連携・地域移行に係る検討委員会

回	開催日	議題
1	令和7年8月22日	・令和6年度の検討内容と議論の確認 ・国・東京都の動向 ・令和7年度の検討体制とこれまでの議論の大枠 ・調布市が目指す部活動改革 ・調布モデルの方向性と今後の検討課題 ・令和7年度のトライアル事業
2	令和7年12月18日	・前回検討委員会の振り返り ・令和7年度のトライアル事業 ・国の動向

		・今後のロードマップ(案)
3	令和8年3月27日	・前回検討委員会の振り返り ・国・東京都の方針を踏まえた調布市の検討の方向性 ・令和7年度のトライアル事業 ・令和8年度以降に検討が必要な重要論点 ・令和8年度スケジュール案

イ 調布市立中学校部活動地域連携・地域移行に係る検討部会

回	開催日	議題
1	令和7年6月26日	・令和7年度事業における検討事項の整理 ・ワーキンググループでの議論の経緯 ・調布モデルのスキーム(案) ・トライアル事業の実施概要(案)
2	令和7年7月29日	・議論の振り返り ・トライアル事業の実施概要(案) ・トライアル事業の運営実証(案)

ウ トライアル事業（文化部活動）

地域展開に向け、運営体制、施設管理、学校や指導者（団体）との連携など、様々な観点から成果と課題を検証することを目的として実施した。

(ア) モデル校における休日部活動の「複数部活一括移行」方式実施

種目	対象校	実施回数（回）	主な活動場所	部員数（人）
吹奏楽	調布中学校	6	調布中学校	32

(イ) 地域連携推進事業（連携先：調布囲碁連盟、桐朋学園大学）

種目	対象校	実施回数（回）	主な活動場所	部員数（人）
囲碁	第六中学校	49	第六中学校	11
吹奏楽	神代中学校	14	神代中学校	46
合唱	神代中学校	13	神代中学校	53

(ウ) 地域クラブ活動モデル事業

実施団体	種目	実施回数（回）	場所	参加者数（人）
電気通信大学 調布 STEAM クラブ	アマチュア無線 ロボティクス	1	電気通信大学創立 80 周年 記念会館 3 階会議室	23
調布市公立学校 PTA 連合会	合唱	7	市内小学校 音楽室 たづくり くすのきホール	15

(8) 市制施行 70 周年記念事業

10月26日に「Chofu 70th Anniversary FES」におけるステージイベント等を実施した。

実施内容	出演者	会場
オーケストラ&合唱演奏	桐朋学園大学&市民合唱 (調布市音楽連盟 神代中・第六中合唱部)	文化会館 たづくり 2 階 くすのきホール
アド街×地球の歩き方スペシャルトークショー『調布の魅力を語る』	山田 五郎氏 堀江 昭子氏 斉藤 麻理氏 立川 晴の輔氏	
鬼島太鼓の演奏	鬼島太鼓	

姉妹都市長野県木島平村 特産品「大抽選会」	木島平村長	
親子で楽しむワークショップ ・ いけばなをやってみよう ・ お祝いの文字を書道で書いてみよう ・ ほおずきを使ったランプを作ってみよう	調布市文化協会	文化会館 たづくり 1 階 むらさきホール
国際交流センターワークショップ ・ インドの文化を体験してみよう	国際交流センター	
そば振る舞い ・ 木島平村のそば粉を使用したそばを提供	調布市そば打ち研究会 長野県下高井農林高等学校 そば部の生徒	文化会館 たづくり 1 0 階
平和ブース ・ VR 体験(被爆当時の広島を体験) ・ ピースメッセンジャーの活動展示	ちょうふピース部	文化会館 たづくり 2 階 くすのきホール ホワイエ

2 国際交流事業

予算科目(款・項・目) 10・35・05〔決算書145ページ〕

調布市国際交流協会における組織体制の見直しを機に令和6年度から公益財団法人調布市化・コミュニティ振興財団の事業に国際交流事業を位置付け、多文化共生を推進するもの

(1) 外国人専門家相談会

外国人支援及び多文化共生の推進を図るため、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団に設置している国際交流センターに業務委託を行い、弁護士、行政書士等の専門家が一堂に会し、多言語の通訳ボランティアによる協力の下、外国人住民が抱える多岐に渡る悩みや生活相談に対応する「外国人のための専門家相談会」を実施した。

なお、(一財)東京都つながり創生財団が都内で実施される同様の取組をとりまとめて情報発信している「外国人のためのリレー専門家相談会」との連携事業とすることで、外国人の相談機会の確保につなげた。

事業名	実施月日	会場	参加者数 (人)	事業内容
外国人専門家 相談会	11月22日	文化会館 たづくり 大会議 場・会議 室	15	英語、中国語、韓国・朝鮮語、タガログ語、スペイン語、タイ語、インドネシア語に対応可能な通訳ボランティアを配置して実施した。

(2) 外国人のための調布市暮らしのガイドの増刷発行

令和4年度に発行した、行政手続きや生活に便利な情報等を掲載する「外国人のための調布市暮らしのガイド」について、内容を一部修正し、500部の増刷を行い各施設等へ配架した。

(3) 共催事業

国際交流センターとの共催事業として、以下の事業を実施した。

事業名	実施月日	会場	参加者数 (人)	事業内容
-----	------	----	-------------	------

やさしい日本語研修	12月15日	文化会館 たづくり 大会議場	49 ※監理団 体職員、 国際交流 センター 会員含む	前年度に引き続きやさしい日本語アドバイザーを講師に、市職員及び関連団体合同の研修会を実施し、「やさしい日本語」の普及・啓発に取り組んだ。行政文書をやさしい日本語に翻訳し、言い換えた内容が、当日参加した国際交流センターの外国人会員に通じるか確認しながら取り組んだことで、実践的な演習の場になった。
フレンドシップデー 2025～深めよう、世界との絆、調布から～	8月9日	文化会館 たづくり むらさき ホール	248	国際交流センターの協力の下、インド、インドネシア、サウジアラビア、パキスタン、フィリピン、フランス、ルーマニア、中国、日本の団体に参加してもらい、歌や踊りの披露、文化の紹介等を実施した。

(4) その他の国際交流事業

事業名	実施月日	会場	参加者数 (人)	事業内容
ブルガリア共和国との国際交流	5月21日	神代植物公園		ブルガリア共和国の大統領夫人が神代植物公園を訪問した際、調布市文化協会から、多摩川の草木で染めた糸を使った刺繍「菱挿し」の額や着物を再利用して制作された巾着、ティッシュケースを贈呈し、交流を深めた。

(5) サウジアラビア王国との交流

2002 FIFAワールドカップ日韓大会時に調布市がサウジアラビア王国代表チームのキャンプ地となったことを契機に交流が始まったもの

ア 在日サウジアラビア王国大使館訪問

国際交流と異文化理解を図ることを目的とし、調布市サウディアラビア友好会との共催で実施するもので、小中学生の大使館訪問のための調整を行った。

イ フレンドシップデー 2025～深めよう、世界との絆、調布から～（再掲）

サウジアラビア王国大使館文化部及び調布市サウディアラビア友好会と連携し、サウジア

ラビア王国の文化を紹介し、参加者同士の相互理解と交流を図った。

(6) ウクライナ避難民への支援

ウクライナから避難された方の市内における当面の生活を支援するため、一時金の支給を行ったほか、国際交流センターの協力による日本語学習支援や翻訳・通訳サポート支援等の取組を実施した。また、東京都と連携した情報共有により、ウクライナ避難民の方の交流の場を提供した。

(7) 特定技能外国人との協力体制の構築

特定技能外国人が活動する市内事業所から市に提出される協力確認書に基づき、市から当該外国人に対し、地域イベントや防災訓練等への協力を要請できるもの。外国人専門家相談会等について情報共有を行い、支援や交流につながる取組を実施した。

3 消費生活対策事業 予算科目（款・項・目） 10・35・10〔決算書147ページ〕

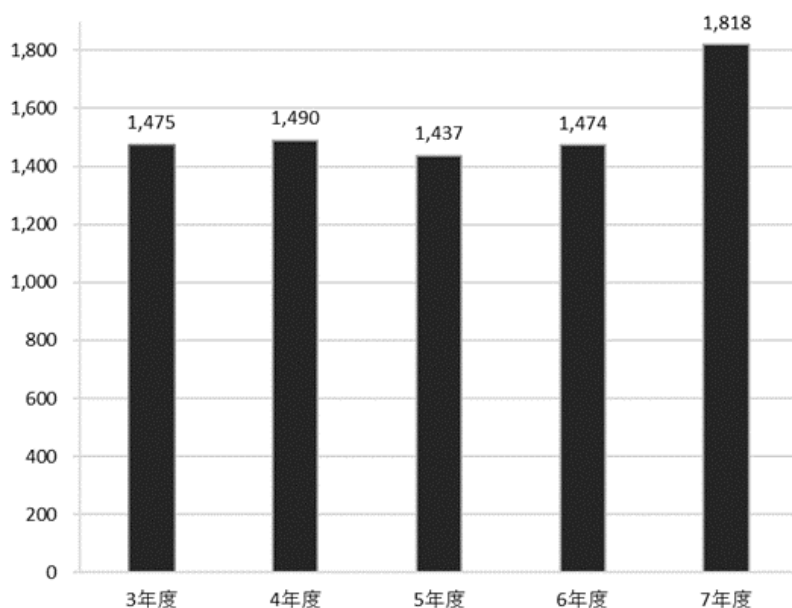
(1) 消費生活相談

市民の消費生活の安定と向上を確保するため、消費生活センターを設置し、専門の資格を有する消費生活相談員が、来所、電話による相談を受け付けるとともに、消費者トラブルの未然防止のため、市報及び市ホームページのコラム執筆や、調布FMへの出演のほか、出前授業等による消費者啓発をするもの

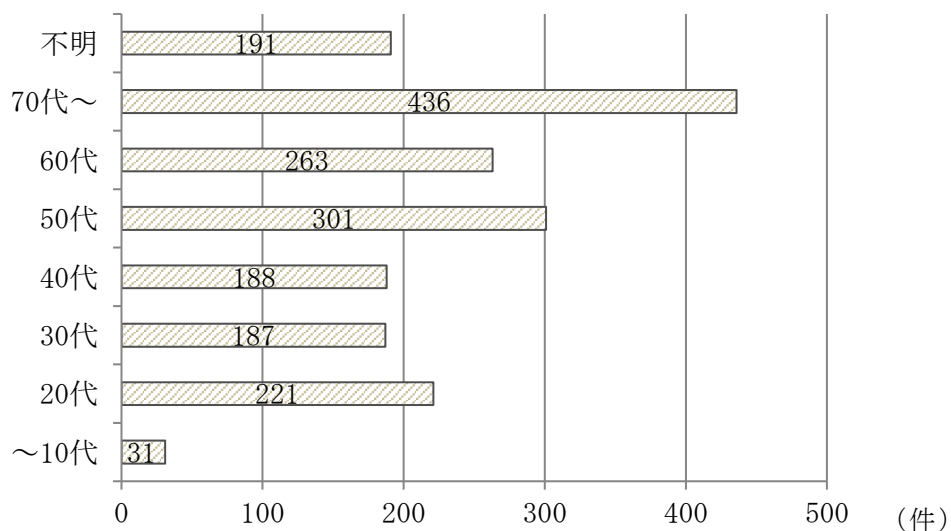
相談員体制 月曜日から金曜日まで3人、第2土曜日午前中2人

ア 年間相談件数の推移

(件)



イ 年代別件数



ウ 処理結果別相談内訳

種類	件数 (件)	割合 (%)
他機関紹介	45	2.47
助言 (自主交渉)	1,545	84.98
その他情報提供	34	1.87
あっせん解決	132	7.26
あっせん不調	17	0.94
処理不能	8	0.44
処理不要	22	1.21
継続	15	0.83
合計	1,818	100.00

※ 「他機関紹介」とは、センターの相談処理業務の範囲外の相談内容で、賃金不払の苦情に対し、労働基準監督署を紹介した事例等

※ 「助言 (自主交渉)」とは、相談員のアドバイス等により、相談者が事業者自ら交渉することで解決したもの

※ 「その他情報提供」とは、センターの相談処理業務の範囲内の相談内容で、あっせん・助言 (自主交渉) に該当しない多重債務に係る一般的な相談先である法テラス等を情報提供した事例等

※ 「あっせん解決」とは、相談員が相談者と事業者の間に入ることで、解決がみられたもの

※ 「あっせん不調」とは、インターネット通販の定期購入等において、事業者があらかじめ定めた返品特約を踏まえて相談者が契約した相談内容で、相談者と事業者との間で解決に至らなかった事例等

※ 「処理不能」とは、相談者に連絡が取れなくなった等の物理的理由で処理できなかったもの

※ 「処理不要」とは、相談者が単にセンターに情報を提供しただけであり、処理を望んでいないもの

※ 「継続」とは、引き続き相談を行っているもの

エ 商品別相談内訳

商品大分類	件数 (件)	割合 (%)
商品一般	141	7.76

食料品	109	5.99
住居品	86	4.73
光熱水品	25	1.37
被服品	127	6.98
保健衛生品	106	5.83
教養娯楽品	145	7.98
車両	24	1.32
土地建物	91	5.01
他の商品	2	0.11
クリーニング	7	0.38
レンタルリース	142	7.81
工事建築	52	2.86
修理補修	28	1.54
管理保管	9	0.5
役務一般	4	0.22
金融保険	89	4.89
運輸通信	117	6.44
教育	11	0.61
教養娯楽	166	9.13
保健福祉	121	6.66
他の役務	148	8.14
内職副業	21	1.15
他の行政	9	0.5
他の相談	38	2.09
合計	1,818	100.00

オ 内容別相談内訳（複数回答）

相談内容分類	件数（件）	割合（％）
安全衛生	57	1.71
品質機能	185	5.57
法規基準	17	0.51
価格料金	311	9.36
計量量目	1	0.03
表示広告	200	6.02
販売方法	794	23.89
契約解約	1,484	44.64
接客対応	254	7.64
包装容器	2	0.06
施設設備	6	0.18
買物相談	4	0.12
生活知識	4	0.12
その他	5	0.15
合計	3,324	100.00

(2) 消費者教育事業

消費者教育の推進に関する法律を踏まえ、広く市民が消費生活に関する様々な知識を習得

し、自主的な判断・行動により、消費生活を営むことができるように各種事業を実施するもの
 ア 夏休み親子消費者講座（開催1回、28人（13組））

事業名	実施月日	会場	参加者数 (人)	事業目的	講師名
実験で楽しく学ぶお天気教室 ー雲って何からできてるの？ー	8月5日	文化会館 たづくり 1001学習室	28	お天気クイズやペットボトルを使用した体験学習（簡易実験）を取り入れ、暮らしを科学的に見る目を養い、サイエンスの分野への関心を深め、気候変動や天気の急変（雷）の際の対処等、学習機会を通じて暮らしの知恵を身につける。	一般社団法人 日本気象予報士会サニーエンジェルス 荒川 知子 氏

イ 消費者講座（開催6回、256人）

事業名	実施月日	会場	参加者数 (人)	事業目的	講師名
消費者講座 「賢く活用！冷凍食品のおいしい食べ方、保存のしかた」	7月4日	文化会館 たづくり 映像シアター	22	日常生活に欠かせない冷凍食品の特性や栄養、購入・保存方法や便利に活用した調理のポイント 他、食品ロス削減にも繋がることなどについて学ぶ機会とする。	一般社団法人 日本冷凍食品協会 三浦 佳子 氏
東京都・調布市共催講座「デジタル終活 ～デジタル遺品の探しかた、しまいかた、残しかた～」	9月11日	文化会館 たづくり 映像シアター	44	デジタル社会で必要な「デジタル資産」について、万に備えて普段からどんな管理をしておけば良いのか、また、遺族の立場では、どのような手順で「デジタル遺品」を探せば良いのかについて学び、デジタル社会で生きる力を育む。	日本デジタル終活協会代表理事 伊勢田 篤史 氏
消費者講座 「お部屋のスッキリ整理収納術～今すぐできるエシカルお片付け～」	10月20日	文化会館 たづくり 映像シアター	70	お部屋の整理収納術などに触れながら、エシカルについて楽しく学べる機会とする。	整理収納アドバイザー 橋本 祐子 氏

消費者講座 「なぜ人はだまされるのか～心理学から見た消費者被害～」	12月17日	文化会館 たづくり 映像シアター	34	消費者の方が悪質商法などにだまされてしまう時の心理状況を学ぶことで、だまされないためにどうすればよいか、また、身近な人を見守るためにどのように対応していけばよいのかを学ぶ。	立正大学大学院 心理学研究科 教授 西田 公昭 氏
消費者講座 「「ひとり死」時代に誰に最期を託すか ～変わる葬儀とお墓のかたち～」	1月30日	文化会館 たづくり 映像シアター	58	ひとりで人生の最期を迎える人が増える中、葬儀の目的、葬儀費用、お墓を買うことの意味やお墓の費用を、死をめぐる現状や法律とともに学び、自分たちにあった形を見つけていく。	一般社団法人 シニア生活文化研究所 代表理事 小谷 みどり 氏
東京都の消費者問題を楽しく学ぶ出前寄席！ 「安心してください」には要注意!!	3月17日	文化会館 たづくり 大会議場	28	消費者に有益な情報、悪質商法の手口や実態、対応策等を題材にし、漫才を通して分かりやすく伝え、消費者被害の未然防止等を図る。	出前寄席 シン東京漫才会 キラーコンテンツ

ウ 出前講座（開催13回、参加者946人）

消費者の自立を支援するため、消費生活に関する知識の普及及び情報の提供等消費者に対する啓発活動を推進するとともに、消費者が生涯にわたって消費生活について学習できるよう支援する。

また、出前講座のうち1回は、成年年齢が引下げられた現在も、継続的な若年層への消費者教育が必要なため、調布市相互友好協力協定を結んでいる電気通信大学の入学ガイダンスで、若者向け消費者被害防止講座「大学生の消費者講座～消費者トラブルにあわないために～」を実施した。

電気通信大学入学ガイダンス

開催日 令和7年4月13日 参加者 会場参加598人

会場 電気通信大学

エ 出前授業（開催3回、参加者756人以上）

消費者教育の推進に関する法律に基づき、市教育委員会と連携し、成年年齢引下げに伴い、早期の消費者教育を図るため、消費者トラブルの未然防止に向け、出前授業を実施した。

(ア) 調布市立上ノ原小学校

開催日 令和7年9月17日

5年生168人、6年生152人及び保護者50人以上

テーマ「お金とネットに強くなろう」

(イ) 調布市立富士見台小学校

開催日 令和7年9月20日

5年生98人、6年生86人、かしわ学級5人及び保護者70人以上

テーマ「お金とネットに強くなろう」

(ウ) 調布市立第六中学校

開催日 令和7年11月28日

1年生127人 テーマ「ネットのトラブル、こんなときどうする？」

オ 調布市消費者団体連合会との連携

消費生活の安定及び向上を図るため、消費者に対する啓発及び教育、消費者被害防止のための活動をするもの

(ア) バス見学会

開催日 令和7年10月21日 参加者24人

見学場所 米倉山次世代エネルギーPR施設きらっと 他

目的 生活に必要なエネルギーについて学ぶ

(イ) 消費者のつどい

「健康な生活を送るためにできること」をテーマに、「介護保険の話とフレイル体操」、「おりがみ講座」、東京都の消費者問題を楽しく学ぶ出前寄席！漫才「安心してください」には要注意!!を実施した。

開催日 令和8年3月17日 参加者28人

会場 文化会館たづくり12階 大会議場

目的 消費生活に役立つ内容の講座を開催して豊かな生活を目指す

(3) 消費者啓発用パンフレット等の作成

消費生活に関する正しい知識の啓発と消費者被害を未然に防止するため、パンフレットや冊子を作成・配布し、啓発に努めるもの

ア 「くらしの豆知識（2026年版）」 1,470部

イ 「生活ひとくちメモ2026」 3,000部

(4) 成年年齢引下げに伴う啓発

成年年齢引下げ啓発チラシ

「18歳から大人！！成年になったら何が変わるの？！」を作成し、市内都立及び私立高校7校の2年生を対象に、1,537枚配布した。

学校名	配布数
東京都立調布北高等学校	246
東京都立調布南高等学校	246
東京都立神代高等学校	328
晃華学園高等学校	148
明治大学付属明治高等学校	294
桐朋女子高等学校	175
ドルトン東京学園高等部	100

(5) 調布市消費者啓発用キャラクター「チー坊」

消費者庁長官から消費者教育推進大使の委嘱を受け、環境フェア内フードドライブ、市内小・中学校出前授業等に参加した。

また、市制施行70周年記念事業として、調布市消費生活センター及び消費者ホットライン188（いやや）の周知啓発のため、70周年記念ロゴを表示した動画を作成した。

(6) 調布市消費者安全確保地域協議会の活動

市民の消費者被害の未然防止及び拡大防止を図るため、市民が安心して生活できるよう、見守りネットワーク会議に参加し、消費者被害防止の啓発を行った。

(7) 食品ロス削減の取組

市内事業者（調布パルコ、トリエ京王調布）と連携しながら、調布市消費者団体連合会及び調布市社会福祉法人地域公益活動連絡会と協力し、フードドライブを年3回実施した。集まった食品は、市内の子ども食堂、フードバンク調布、福祉施設等に配布した。

第1回 令和7年6月18日 集まった食品数 2,513個

第2回 令和7年11月1日（環境フェア内） 集まった食品数 949個

第3回 令和8年2月19日 集まった食品数 1,575個

4 生涯学習推進事業 予算科目（款・項・目）10・35・19〔決算書151ページ〕

市民の自主的な学習活動を支援することを通して、参加と協働のまちづくりを推進し、市民の生涯学習活動への参加促進及び団体活動の活性化を図るもの

(1) 生涯学習情報コーナー運営事務

専門職である調布市生涯学習まちづくり推進員が、市内で活動する各種サークル・団体情報及び講師情報を窓口、電話及びホームページで市民に提供するもの

ア 相談受付時間 午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで

イ 登録数

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
サークル・団体数（団体）	659	642	631
講師数（人）	81	72	72

ウ 相談件数 （単位：件）

令和5年度	令和6年度	令和7年度
863	830	755

エ サークルガイドブックの発行 2,000部

オ 各種媒体を活用した情報発信

(ア) コミュニティFMによる情報提供

生涯学習や市民活動に関する情報を周知することで、市民の生涯学習や市民活動への参加を促進させることを目的として、調布エフエム放送で番組を放送した。

番組名 「生涯学習・市民活動のススメ」

放送日 毎週日曜日 午前11時50分から10分間

放送内容 みんなの広場展示紹介・サークル紹介・生涯学習情報、市民活動支援センター情報

放送回数 52回（年間）

(イ) 生涯学習情報コーナーウェブサイトによる情報提供

地域情報発信の中心的な役割を担う「ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）」との連携を図りながら、生涯学習情報専用ページ「生涯学習情報コーナー」で生涯学習に関する情報提供を行った。

(ウ) 市公式SNSによる情報提供

市公式X、LINE等のSNSを活用し、主に地域デビュー事業等の生涯学習に関する情報発信を行った。

(2) 地域デビュー事業の実施

シニア層、現役世代である50代を含めた年齢層及び地域活動への参加を希望する市民を対象に、地域活動参加のきっかけづくりを支援し、市民のまちづくり活動を推進させることを目的として、地域デビュー推進委員会と連携して各種事業を実施した。

講座名	実施月日	会場	参加者数（人）
調布の魅力再発見 深大寺そばと神代植物公園 徒歩ツアー	4月23日	深大寺周辺 神代植物公園	雨天のため中止
ビギナーのためのクッキング	8月30・31日	文化会館たづくり調理室	延べ 15
ふらっとのぞいてみようinサークルデビュー調布	11月8日	文化会館たづくりむらさきホール	103
調布で踏み出すはじめの一步	2月8日	文化会館たづくり大会議場	63

(3) 生涯学習サークル体験事業の実施

市民が生涯学習の楽しさを知り、地域との関わりを持つ機会を提供することを目的として、新たにサークル活動を始める方への支援や団体活動の更なる活性化に向けた取組を行った。体験者を受け入れるサークルの活動について市報で参加者を募集した。

参加団体 22サークル

参加申請者 58人

(4) 生涯学習出前講座の実施

総講座数 市役所編139講座（子ども向け講座25講座を含む。）

実施状況 124件

(5) 市民が主役のまちづくり大学事業

大学・地域・行政の連携に関する市民の認識を深め、これからの魅力あるまちづくりにおける市民の積極的な参加の促進などを図るもの

ア 相互友好協力協定締結大学定例会の実施

文化、教育、学術、スポーツ等の分野で援助、協力し相互発展を図ることを目的として、相互友好協力協定を締結している地域の7つの大学等と、市との連携事業や各大学等の市民向けの取組に関して定期的に意見交換する場を設けた。

実施年月日 令和7年7月8日

イ 各大学等との連携

電気通信大学との共催により、平成29年度から実施しているサイエンスカフェ C h o f u を全4回開催した。

開催回	実施月日	テーマ	講師	参加者数（人）
第36回	6月7日	江戸時代の測量術とその実践	佐藤 賢一教授（電気通信大学大学院 情報理工学研究科）	33
第37回	10月11日	ゲーム人工知能の歴史：コンピュータ将棋と	保木 邦仁准教授（電気通信大学大学院 情報理工学研究科）	32

		囲碁の躍進		
第38回	12月13日	私たちの暮らしと人間工学	水戸 和幸教授(電気通信大学大学院 情報理工学研究科)	29
第39回	2月14日	動物の動きに学ぶロボット工学～ロボットと「歩く」を考える～	佐藤 隆紀助教(電気通信大学大学院 情報理工学研究科機械知能システム学専攻)	32

ウ 市報ちょうふ「相互友好協力協定締結大学の市民対象の事業紹介」掲載

毎月5日号の市報ちょうふに大学が実施する市民対象事業の紹介記事を掲載した。

また、同内容をホームページ及び生涯学習情報専用ページ「生涯学習情報コーナー」にも掲載した。

(6) みんなの広場運営事務

市民、生涯学習・市民活動団体が、自由に生涯学習活動を行う場を提供するため、文化会館たづくり11階のみんなの広場（打合せや展示スペース）の貸出しをするもの

ア 運営概要

利用時間 午前9時から午後9時30分まで

用途 打合せ・作業、作品展示など

対象 生涯学習・市民活動団体、市民グループ、個人学習

イ 利用状況

(ア) 打合せ・作業等

活動分野 年度		社会福祉	教育・文化・スポーツ	国際交流	まちづくり	環境保全	保健医療	行政	その他	個人学習	合計
利用団体数 (団体)	5	220	1,694	205	79	24	4	46	243		2,515
	6	203	1,672	304	92	62	3	40	164		2,540
	7	269	1,716	363	83	28	7	46	282		2,794
利用人数 (人数)	5	1,260	8,528	599	402	137	14	149	781	418	12,288
	6	1,263	8,496	956	426	343	17	149	474	535	12,659
	7	1,438	8,414	1,141	356	140	24	170	824	499	13,006

(イ) 作品展示

年度		合計
利用団体数 (団体)	5	16
	6	18
	7	20
利用延べ日数 (日)	5	110
	6	125
	7	140

※ 利用延べ日数には、準備のために利用した日を含む。

5 調布市グリーンホール 予算科目（款・項・目）10・35・30〔決算書155ページ〕

グリーンホールは、大小2つのホールを擁し、文化芸術企画の提供と市民文化活動の拠点とし

て使用されているもの。

平成18年度から、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団が指定管理者として管理運営しており、令和元年度からは指定管理期間を新たに10年間とした。

(1) 施設使用状況

2施設、稼働日308日、1施設当たり使用可能単位924単位

区分 年度		大ホール	小ホール	合 計
使用件数 (件)	5	746	757	1,503
	6	791	831	1,622
	7	718	740	1,458
稼働率 (%)	5	80	82	
	6	86	90	
	7	78	80	
来場者数 (人)	5	118,513	28,379	146,892
	6	156,947	39,076	196,023
	7	119,093	32,777	151,870

(2) 施設整備に関する取組

令和6年度に引き続き、新たなグリーンホールの整備及び運営に関する専門的知見を有するコンサルタントからのアドバイザー支援を受け、ホール機能及び規模の検討を行うとともに、市民や施設利用団体等の意見を踏まえ、ホールを核とする新たな施設整備に向けた市の考え方である基本構想を取りまとめるに当たり、専門的な見地から検討・助言をいただくことを目的とした「新たなグリーンホールの整備に向けた専門家検討会議」を開催した。

ア 新たなグリーンホールの整備に向けた専門家検討会議の開催

(ア) 概要 新たなグリーンホールの整備に向けた施設整備の基本構想策定に向けて、施設利用者や広く市民の意見を踏まえ、必要な事項を調査検討するもの

(イ) 委員構成等 建築・設計（1人）、文化政策（1人）、共生社会（1人）、音楽（2人）、映画・映像（1人）、演劇・舞踊（1人）、舞踊・共生社会（1人）、都市計画（1人）、経営・運営（1人）をもって組織 男8人、女2人

イ 開催回数 2回

	実施月日	内容
第2回	7月23日	・調布市文化芸術推進ビジョンについて ・現在のグリーンホールの利用状況について ・新たなグリーンホールに求める機能に関する市民意見について ・新たなグリーンホールの整備に向けた基本的な考え方について ・今後の市民参加について ・意見交換 ・今後の進め方について
第3回	10月8日	・市民参加の結果について ・新たなグリーンホールの整備の考え方について

		・新たなグリーンホールの主な構成と検討の方向性について ・意見交換 ・今後の進め方について
--	--	---

(3) 施設工事・改修状況

- ア 大ホールマニラロープ更新
イ ガス配管更新工事
ウ 大ホール袖幕更新

6 調布市文化会館たづくり 予算科目（款・項・目）10・35・35〔決算書157ページ〕

文化会館たづくりは、文化芸術、コミュニティ活動及び生涯学習の拠点施設として種々の事業を実施しており、市民はもとより大勢の人々に使用されているもの。

平成18年度から、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団が指定管理者として管理運営しており、令和元年度からは指定管理期間を新たに10年間とした。

(1) 入館者等の状況

区分 月		入館者数(人)		使用台数(台)	
			(うち図書館)	駐車場	駐輪場
4		111,895	54,474	3,952	7,972
5		118,059	53,098	4,184	8,615
6		124,242	54,321	4,442	9,483
7		135,202	58,404	4,885	10,392
8		121,577	62,152	4,907	10,382
9		113,873	49,843	4,280	8,893
10		133,819	54,170	4,420	9,427
11		131,862	54,745	4,348	10,162
12		117,895	50,477	4,082	8,268
1		129,020	55,138	4,241	9,348
2		120,802	49,019	3,743	7,667
3		122,084	55,488	4,715	7,988
合 計	5年度	1,465,658	480,424	49,471	111,360
	6年度	1,425,607	495,480	51,032	110,643
	7年度	1,480,330	651,329	52,199	108,597
月平均	5年度	122,138	40,035	4,123	9,280
	6年度	118,801	41,290	4,253	9,220
	7年度	123,361	54,277	4,350	9,050

(2) 施設使用状況

ア ホール系

6施設、稼働日331日、1施設当たり使用可能単位993単位

区分 年度		くすのき ホール	むらさき ホール	大会議場	映像 シアター	ギャラリー		合 計
						南	北	
使用	5	876	961	735	696	840	837	4,945

件数 (件)	6	930	950	747	592	819	789	4,827
	7	902	959	725	579	708	759	4,632
稼働 率 (%)	5	88	96	74	70	84	84	
	6	94	96	75	60	82	79	
	7	91	97	73	58	78	83	

※ みんなの広場の利用状況は、「４（７） みんなの広場運営事務」において掲載。

※ 南北ギャラリーは、改修工事のため令和８年３月４日から３１日までの利用を停止。

両施設の使用可能単位は９１２単位。

イ 諸室系

３４施設、稼働日３３１日、１施設当たり使用可能単位９９３単位

区分 年度		リハーサル 室	音楽練習 室（４室）	研修室	和 室 （３室）	学習室 （小２室）	学習室 （大２室）
使用 件数 (件)	5	930	3,683	758	2,113	1,432	1,564
	6	949	3,741	799	2,102	1,420	1,561
	7	944	3,765	762	2,046	1,457	1,512
稼働 率 (%)	5	93	92	76	71	72	79
	6	96	94	80	71	72	79
	7	95	95	77	69	73	76

区分 年度		調理実習室	談話室	会議室 （小９室）	会議室 （大２室）	茶 室	創作室 （２室）
使用 件数 (件)	5	435	373	7,189	1,496	393	1,113
	6	411	374	7,023	1,480	321	1,197
	7	424	385	7,142	1,488	415	1,183
稼働 率 (%)	5	44	37	80	75	39	56
	6	41	38	79	75	32	60
	7	43	39	80	75	42	60

区分 年度		暗 室	スタジオ	保育室 （３室）	合 計
使用 件数 (件)	5	130	530	596	22,735
	6	201	498	701	22,778
	7	196	555	850	23,124
稼働 率 (%)	5	13	53	20	
	6	20	50	24	
	7	20	56	29	

※ 編集室はビデオ等の編集に使用する場所で、部屋のための貸出しは行っていないため施設使用状況には含めていない。

ウ 個人学習室

（単位：人）

区分 年度		一般学習室	社会人学習室	合 計
合 計	5	96,692	30,175	126,867
	6	100,459	29,344	129,803
	7	101,300	30,162	131,462

エ 図書館 (単位：人)

区分 年度		1階	4階	5階	利用支援 コーナー	視聴覚 資料室	合 計
合 計	5		327,053	132,449	3,054	17,603	480,159
	6	14,502	324,394	138,793	3,141	14,650	495,480
	7	147,520	322,785	159,775	3,061	14,230	647,371
月平均	5		27,254	11,037	255	1,467	40,013
	6	7,251	27,033	11,566	262	1,221	47,333
	7	12,293	26,899	13,315	255	1,186	53,948

※ 資料提供：図書館

※ 1階予約本受取コーナー設置は令和7年2月のため、令和6年度の月平均は2・3月の2か月分の平均

(3) 施設工事・改修状況

- ア 防火シャッター危害防止装置設置
- イ 監視用無停電電源装置設備蓄電池更新
- ウ 地下駐車場精算機システム更新
- エ 東館内装改修設計
- オ 外壁屋上防水改修設計

(4) 設備更新型E S C O事業

省エネルギー効果を見込み、空調熱源の更新及びエレベーター等の改修を行った設備更新型E S C O事業について、令和6年度に引き続き、設備更新後の効果検証を含む省エネルギーサービスの提供を受けた。

省エネルギーサービス提供期間 令和4年5月1日から令和14年3月31日まで

7 文化・コミュニティ振興財団補助（事業） 予算科目（款・項・目）10・35・35
〔決算書157ページ〕

公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団に対し、財団が行う自主事業等に対する補助金を交付するもの

(1) 共催事業 (単位：人)

事業名	実施月日	会場	参加者又は 視聴者数	事業内容
調布国際音楽祭2025	6月21日 ～29日	文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場、武者小路実篤記念館、深大寺、神代植物	延べ 16,586	世界で活躍するアーティストによるコンサートのほか、キッズコンサートや関連企画展示、深大寺本堂でのコンサートなどを開催するもの

		公園、布多天神社、調布パルコ、トリエ京王調布		
ちょうふ彩 咲祭2025	10月4日	文化会館たづくり、市役所前庭、文化会館たづくり北側道路、旧甲州街道	延べ 27,500	「調布よさこい」から名称、開催時期及び内容の変更を行い、誰もが参加できる創造・活動の場をつくるイベントとしてリニューアルした。
映画のまち 調布シネマ フェスティ バル2026	2月6日～ 3月1日	文化会館たづくり、グリーンホール、イオンシネマシアタス調布	延べ 49,328	市内の映画・映像関連企業、団体と連携し、作り手にスポットを当てた映画祭として開催するもの 市民投票と選考委員で選定する「第8回映画のまち調布賞」の授賞式のほか、投票上位作品の上映、関連展示等を行った。 市民投票総数 11,777票 市制施行70周年記念として、名誉市民である水木しげる氏原作の作品上映をはじめ、漫画家・つげ義春氏原作の作品上映や展示企画、調布ゆかりの特撮作品の上映などを実施した。

8 センがわ劇場

予算科目(款・項・目) 10・35・40 [決算書159ページ]

センがわ劇場は、市民の舞台芸術の創造及び発信の拠点、身近に文化芸術に触れる機会を提供する場として使用されているもの。

令和元年度から、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団が指定管理者として管理運営しており、令和6年度からは新たに5年間とした。

(1) 施設使用状況

2施設、ホール、稼働日347日、使用可能単位1,041単位

リハーサル室、稼働日347日、使用可能単位1,041単位

区分 年度		ホール	リハーサル室	合 計
使用件(件)	5	874	864	1,738
	6	961	980	1,941
	7	993	951	1,944
稼働率(%)	5	92	83	
	6	92	94	

	7	95	91
--	---	----	----

- (2) 施設工事・改修状況
エレベーター耐震対策

協 働 推 進 課

1 地域福祉センター利用状況

予算科目（款・項・目） 10・35・15
〔決算書147～149ページ〕

地域住民の福祉、文化の向上及び住民相互の連帯ときずなを深め、豊かな地域社会の形成を図るため、市内10箇所の地域福祉センターを運営するもの
利用状況

(1) 施設別利用人数（延べ数）

（単位：人）

施設 \ 年度	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	集会室	その他	合計	集会室	その他	合計	集会室	その他	合計
金子	20,200	7,162	27,362	19,953	6,688	26,641	20,200	5,772	25,972
西部	16,157	5,755	21,912	12,588	5,852	18,440	12,667	3,811	16,478
調布ヶ丘	10,850	3,009	13,859	23,876	14,207	38,083	25,476	15,459	40,935
染地	19,526	10,603	30,129	18,006	15,853	33,859	18,424	11,997	30,421
緑ヶ丘	21,209	546	21,755	20,233	1,840	22,073	19,788	923	20,711
菊野台	15,512	357	15,869	16,204	1,244	17,448	16,602	437	17,039
富士見	16,464	65	16,529	14,557	1,261	15,818	15,876	115	15,991
下石原	10,727	430	11,157	11,034	462	11,496	10,624	350	10,974
入間	36,525	0	36,525	33,485	0	33,485	30,619	0	30,619
深大寺	17,247	0	17,247	14,240	0	14,240	6,747	0	6,747
合計	184,417	27,927	212,344	184,176	47,407	231,583	177,023	38,864	215,887

※ その他 談話室やスカイウェアルの利用人数

(2) 施設別活動件数

（単位：件）

施設 \ 年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金子	2,228	2,500	2,679
西部	2,059	1,638	1,726
調布ヶ丘	931	2,987	3,438
染地	2,406	1,879	1,813
緑ヶ丘	2,256	2,115	2,137
菊野台	2,223	2,197	2,476
富士見	2,054	1,501	1,699
下石原	1,589	1,666	1,781
入間	3,445	3,621	3,553
深大寺	1,965	1,635	706
合計	21,156	21,739	22,008

2 地域福祉センター定期利用団体利用者懇談会

予算科目（款・項・目） 10・35・15
〔決算書147～149ページ〕

地域福祉センター定期利用団体の交流及び情報共有のため、開催するもの
地域福祉センターごとに年2回開催

3 地域福祉センターの整備 予算科目(款・項・目) 10・35・15
〔決算書147～149ページ〕

調布市公共施設マネジメント計画に基づき、利用者が施設を安全かつ快適に利用できるように、施設改修等を行うもの

施設	内容
西部	調理器具等更新工事、擁壁修繕、空調修繕
緑ヶ丘	擁壁修繕
菊野台	空調修繕
富士見	調理器具等更新工事、自動ドア駆動装置更新修繕
下石原	自動ドア駆動装置更新修繕
入間	空調修繕
深大寺	エレベーター設置ほか改修工事(令和6・7年度で実施)

4 地域福祉センターの利活用促進の取組 予算科目(款・項・目) 10・35・15
〔決算書147～149ページ〕

施設の利活用促進のための取組を行うもの

事業名	実施期間	実施施設	内容	来場者数 (人)
学習室 in サマー	令和7年7月1日 ～8月31日	金子 下石原	学生等の学習スペース及びク ールシェアスポットとして集 会室の一部を開放	延べ 409
学習室 in ウィンター	令和7年12月23 日～令和8年1月 31日	緑ヶ丘 富士見	学生等の学習スペースとして 集会室の一部を開放	延べ 26

5 ふれあいの家利用状況 予算科目(款・項・目) 10・35・15 〔決算書149ページ〕

地域の住民相互の心のふれあいと連携を高め、住み良い地域社会を形成するために、市内17箇所のふれあいの家を運営するもの

利用状況

(1) 施設別利用人数(延べ数) (単位:人)

年度 施設	令和5年度	令和6年度	令和7年度
八雲台	4,508	7,377	14,260
富士見町	3,231	3,225	4,073
仙川	4,674	4,423	5,029
飛田給	3,318	3,665	3,393
布田駅南	12,559	12,842	12,851
東部	1,348	2,600	3,416
野ヶ谷	4,824	6,153	5,477
国領	13,960	14,390	16,370
西部	2,305	2,575	2,503
下布田	8,777	6,267	7,502
国領第二	4,451	5,003	5,155
上石原	4,669	5,848	6,271
佐須	10,384	9,470	9,014

国領駅北	2,607		
小島町	5,781	7,167	7,808
大町	10,101	7,105	9,823
染地	10,637	10,974	6,934
上ノ原	10,428	10,976	4,640
合計	118,562	120,060	124,519

(2) 施設別利用件数 (単位：件)

年度 施設	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
八雲台	409	569	969
富士見町	355	345	350
仙川	584	539	562
飛田給	289	385	310
布田駅南	1,574	1,538	1,504
東部	195	362	471
野ヶ谷	391	436	386
国領	1,409	1,446	1,550
西部	260	280	305
下布田	826	651	853
国領第二	651	722	783
上石原	337	463	490
佐須	775	716	731
国領駅北	422		
小島町	907	1,000	1,038
大町	1,098	765	1,178
染地	930	896	620
上ノ原	1,108	1,237	444
合計	12,520	12,350	12,544

※国領駅北ふれあいの家は、令和 6 年 4 月 1 日から市民活動支援センターの一室として運営

6 ふれあいの家代表者会議 予算科目(款・項・目) 10・35・15 [決算書149ページ]

ふれあいの家の相互の情報共有を図るため、ふれあいの家代表者会議を年 2 回開催するもの
各ふれあいの家運営委員会の会長が出席する。

7 ふれあいの家の整備 予算科目(款・項・目) 10・35・15 [決算書149ページ]

調布市公共施設マネジメント計画に基づき、利用者が施設を安全かつ快適に利用できるように、
施設改修等を行うもの

施設	内容
八雲台	空調設備更新工事
飛田給	内装改修工事
布田駅南	空調及び照明設備更新工事

下布田	照明設備更新工事
上石原	内装、給排水及び電気設備更新工事、屋上防水及び外壁改修工事 (令和7・8年度で実施)
小島町	門扉設置工事
染地	空調及び照明設備更新工事
上ノ原	外壁、屋上防水、給排水及び電気設備改修工事

8 ふじみ交流プラザ利用状況 予算科目(款・項・目) 10・35・15 [決算書149ページ]

コミュニティ機能を有した集会室を貸し出し、地域交流の促進に寄与するために、ふじみ交流プラザを運営するもの

利用状況(集会室)

(1) 施設利用人数(延べ数) (単位:人)

令和5年度	令和6年度	令和7年度
7,491	13,506	13,969

(2) 施設利用件数 (単位:件)

令和5年度	令和6年度	令和7年度
1,300	1,548	2,072

9 ふじみ交流プラザの利用促進の取組

予算科目(款・項・目) 10・35・15
[決算書149ページ]

ブランチ調布との連携によるイベントの開催や公的利用を通じて、集会室の認知度を向上させるとともに、利用者の利便性向上の取組を図ることで、利用を促進するもの

(1) イベントの開催

ア 市主催・共催事業(ふじみ交流プラザで開催)

事業名	実施日	内容	来場者数 (人)
ふじみアート&フードキャンプ2025 (市民サービス公社と共催)	令和7年6月7日	ワークショップ、音楽ライブ、飲食物販売、レクリエーション等	156
学習室 in サマー	令和7年7月1日 ～8月31日	学生等の学習スペース及びクールシェアスポットとして集会室の一部を開放	延べ 85
ふじみでひんやり	令和7年8月14日、 17日、21日、23日、 28日、30日・31日	集会室の一部を使ったクールシェア事業	延べ 284
学習室 in ウィンター	令和7年12月23日 ～令和8年1月31日	学生等の学習スペースとして集会室の一部を開放	延べ 45

イ ブランチ調布協議会(F-Harmony)主催の主な事業(ブランチ調布で開催)

(ア) 奥深大寺まちのハレの日

奥深大寺エリアの魅力を伝えるファミリー向けイベント

(イ) 地域教育プロジェクト

施設周辺地域の親子のための教育イベント

(ウ) コモパキッズ

地域の子どもたちや大人のための学校・家庭以外の第3の居場所づくり

(2) 利便性向上の取組

施設備品（可動式鏡、食器等）の購入

10 コミュニティ推進協力員

予算科目（款・項・目）10・35・18〔決算書149ページ〕

市民に対する地域活動の必要性の周知や地区協議会の設立及び運営支援をはじめ、良好な地域コミュニティの形成を図るため、地域活動の実態や課題を把握し、地域活動に精通した市民をコミュニティ推進協力員として依頼しているもの

(1) 人数 4人（男2人、女2人）

(2) 任期 2年

(3) 活動内容

ア コミュニティ推進連絡会への出席

イ 地区協議会未設立地区における設立支援

ウ 自治会支援策への助言・提案（加入促進、運営支援、設立支援）

11 地区協議会の推進

予算科目（款・項・目）10・35・18

〔決算書149～151ページ〕

地域コミュニティの活性化を図り、地域の連帯感を高めるとともに、地域の課題を地域全体で考え解決していくための組織として、地区協議会の設立及び運営を支援するもの

(1) 市主催事業への参加

ア 調布市防災教育の日の協力

イ 地域勉強会への参加

ウ まち活フェスタへの参加

エ 市制施行70周年記念事業「K I K K A K E カフェ」への参加

(2) 地区協議会共通の活動内容

ア 総会・役員会・理事会・運営委員会の開催

イ 広報誌の発行

ウ 防災訓練の実施

(3) 各地区協議会の活動内容

地区協議会名及び設立年月	主な活動
石原小学校地区協議会 平成11年2月	・花いっぱい運動 ・どんぐり林公園の落ち葉だめ整備 ・合同防犯パトロールへの協力
第三小学校地区まちづくり協議会 平成12年10月	・秋の交通安全運動街頭活動への参加 ・防犯巡回活動 ・近藤勇生誕地まつりへの協力・参加
緑ヶ丘・仙川まちづくり協議会 平成13年6月	・緑ヶ丘うたごえサロン・緑ヶ丘コンサート ・仙川鯉のぼり流し ・桜まつり
飛田給小学校地区協議会 平成15年2月	・地域安全講演会 ・飛田給駅舎内ミニコンサート ・飛田給駅前クリスマスイルミネーション
上ノ原まちづくりの会 平成16年5月	・花いっぱい運動及び美化大作戦 ・上ノ原地域のパトロール活動 ・学校地域連絡会
八雲台小学校地区協議会 平成17年6月	・八雲台小学校花壇の花植え ・地域住民大運動会への協力・参加 ・古武術あそび(歩行)・まち歩き

こくりょう・みんなの広場 平成 19 年 4 月	・宿題やるとこ遊ぶとこ ・ラジオ体操 ・防災体験ツアー
若葉学校地区協議会 平成 21 年 3 月	・防犯パトロール ・若葉の杜の音楽会 ・若葉縁日
いっしょうふれあいネットワーク 平成 21 年 4 月	・ラジオ体操 ・第一小学校地域住民運動会 ・講演会「いま、子どもたちの育ちと学びを考える」
富士見台地区協議会 平成 22 年 3 月	・防犯夜間パトロール ・防災用井戸を用いた水出し訓練
ちょうわ地区協議会 平成 23 年 3 月	・サマーフェスタ ・野川の生き物観察会 ・ラジオ体操
布田小地区ハッピータウン協議会 平成 23 年 7 月	・街歩きによる地域の安全対策 ・こども食堂への協力 ・防犯パトロール
きずな(滝坂小地区協議会) 平成 24 年 3 月	・年末夜間パトロール ・絵手紙教室 ・530(ゴミゼロ)運動
すぎもり地区協議会 平成 26 年 2 月	・染地ボランティアまつりへの参加 ・地域運動会への参加 ・ペット同伴避難訓練
北ノ台まちづくりネットワーク 平成 27 年 2 月	・北ノ台ふれあい朝市(夏・秋) ・ふれあいサロン ・ふれあいピンポン
多摩川地区協議会 平成 29 年 3 月	・スマホサロン ・防災フェス ・地域の夏祭りへの参加
染地小地区協議会 令和元年 8 月	・みんなのおまつり ・い〜サロン
かしわの地区協議会 令和 5 年 7 月	・防災訓練 ・かしぼん寺子屋(親子向け防災ワークショップ)
二小地区ネットワーク 令和 7 年 6 月	・防災訓練

(4) 地区協議会連絡会

各地区協議会の会長等が集い、地区協議会活動の協議・情報交換を目的に年 4 回開催するもの

令和 7 年度は「風水害時における地域の防災課題とその対策」について意見交換をしたほか、9 月に防災施設への視察を行い、災害対策の知識を深めるとともに、地区協議会同士の交流を図った。

(5) 地区協議会の設立支援

地区協議会未設立の深大寺小学校地区においては、令和 8 年 3 月に深大寺地区では初めてとなる「地区協議会説明会」を開催し、自治会や学校関係団体等に対し、地区協議会の概要や既設地区協議会の取組の説明を行うとともに意見交換を実施した。

(6) 地域勉強会の開催

各地区協議会や地区協議会未設立地区から参加者を募り、テーマに沿った意見交換と情報共有を目的とした交流会を開催するもの

令和 7 年度は、全国における近年の災害の傾向等を学ぶとともに、地域で取り組んでいる防災訓練の課題等について参加者同士で意見交換を行い、アイデアを出し合いながら地域間で交流を図った。

- ア 開催日 令和8年3月15日
- イ 講師 特定非営利活動法人日本防災士会 山本 健一郎氏
- ウ 参加者 31人
- エ 内容 防災訓練の充実に向けたアイデアづくり

(7) 地区協議会活動紹介展示

地区協議会制度の周知を図るため、活動内容を紹介する展示を実施した。

会場 市役所総合案内前

開催期間 令和8年2月9日から同月17日まで

12 自治会活動への支援 予算科目(款・項・目) 10・35・18 [決算書151ページ]

加入促進、設立支援、運営支援の3つの応援メニューにより自治会を支援するもの

市との協働により、地域コミュニティの活性化に取り組む調布市自治会連合協議会の活動に対し、必要な補助金を交付するもの

(1) 自治会数 325自治会

(2) 自治会加入世帯数 4万1,104世帯

(3) 自治会掲示板

- ア 新設 7箇所
- イ 修繕 4箇所
- ウ 移設・撤去 4箇所

(4) 調布市自治会連合協議会

- ア 総会・理事会・役員会の開催 年23回
- イ 市との情報交換会の実施 年3回
- ウ 新春懇親会の開催
- エ コミュニティ推進事業
 - (ア) 企画事業(自治会運営ガイドブックの改訂等)
 - (イ) 安全対策事業(安全対策セミナーの開催等)
 - (ウ) 地域事業(味の素スタジアム感謝デー、福祉まつりへの参加、ポニーとふれあう会等)
 - (エ) 広報事業(年2回の広報誌の発行、自治会活性化セミナーの実施等)

(5) 「自治会といっしょに！」キャンペーンの実施

調布市自治会連合協議会と市が協働で、11月を中心に自治会勉強会や自治会活動のPRを行うキャンペーン等を実施した。

- ア 市報ちょうふ11月5日号、ポスター等を活用した広報活動の実施
- イ 市庁舎の総合案内前スペースを活用した自治会加入促進のPR展示
- ウ 調布市文化会館たづくりで自治会勉強会の開催
- エ 図書館展示スペースを活用した自治会関連書籍の紹介

(6) 調布市自治会活性化事業補助制度の新設

令和7年度から運営支援の新たな取組として、住民の交流につながるお祭りや防災訓練などのイベントのほか、物品の購入、運営のデジタル化に要する費用を補助し、自治会を支援するもの

- ア 申込団体数 15団体
- イ 交付決定団体数 6団体
- ウ 内容

- (ア) 自治会PRイベント事業 5団体（七夕会、AED取り扱い実践訓練、消防訓練等）
 (イ) 自治会PR用物品購入事業 1団体（自治会PR用ビブス購入）
- (7) 伴走支援サポート事業の活用
 東京都つながり創生財団が新たな自治会支援の取組として令和7年度に開始した伴走支援サポート事業を活用し、自治会運営を支援するもの
 ア 支援団体 つつじヶ丘自治会（全64世帯）
 イ 事業 自治会へのコンサルタント派遣
 ウ 実施内容
 (ア) イベント名 「地域のつながりと防災を考える」
 (イ) 講師 特定非営利活動法人M－p l u g 富川 万美氏
 (ウ) 開催日 令和8年1月25日
 (エ) 場所 金子地域福祉センター
 (オ) 参加者数 17人

13 地域活動情報紙「じょいなす」の発行

予算科目（款・項・目）10・35・18

〔決算書151ページ〕

地区協議会等の地域コミュニティ活動、NPO等の市民活動、サークル等の生涯学習活動等の様々な地域活動の広報・普及のために、効果的な情報発信の媒体として発行するもの

- (1) 発行回数 1回（令和7年10月）
 (2) 発行部数 13万2,350部
 (3) 紙面 タブロイド判4ページ（4色刷り）
 (4) 配布方法 全戸配布、各公共施設への配架、市内高校の全生徒への配布

14 ちょうふ地域コミュニティサイトによる情報提供

予算科目（款・項・目）10・35・18

〔決算書151ページ〕

市民活動の更なる活性化を図るため、「ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）」として、平成29年4月から、地域情報発信の中心的な役割を担うサイトとして運用しているもの
 令和7年度は、地区協議会の活動を紹介するコラムや動画を公開し、地域活動について知ってもらう機会を増やすとともに、地域活動情報紙「じょいなす」との連携等、効果的な情報発信に努めた。また、夏・秋イベント特集、市制施行70周年記念特集、若者応援特集の公開を含むサイト内容の充実に取り組んだ。

- (1) サイト全体アクセス件数 (単位：件)

区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
アクセス件数	141,062	173,922	186,748

- (2) X（旧Twitter）

ちょみっと更新情報や地域活動情報等を発信した。

- ア アカウント名 c h o f u _ c h o m m i t
 イ ツイート数 146件
 ウ フォロワー数 1,019人（令和8年3月31日現在）

15 市民参加プログラムの推進

予算科目（款・項・目）10・35・18〔決算書151ページ〕

調布市自治の理念と市政運営に関する基本条例（平成25年4月施行）に規定した参加と協働によるまちづくりを推進するため、行政経営部と連携した職員研修の実施等の取組を行うもの

(1) アドバイザーの活用

学識経験者をアドバイザーとし、市民参加と協働の推進及び地域コミュニティの醸成に関する会議を行った。

ア 学識経験者 法政大学教授 名和田 是彦氏

イ 会議 1 回

(2) 職員研修及び市民参加推進研修の実施

ア 新任研修（新入職員を対象）

地域で活動する協働パートナーを講師として招き、市民との協働についてイメージを持つとともに、地域活動の実情、市民の多様な考えや視点を知る機会とした。

(ア) 実施日 令和 7 年 4 月 9 日

(イ) 講師 平澤 和哉氏

(ウ) 受講者数 5 5 人

イ 市民参加推進研修の実施（係長職以下を対象）

調布市の市民参加と協働の取組に関する理解の定着を図るとともに、様々な分野で活動する市民参加者とのグループワークを通じ、職員の市民参加意識の向上を図った。

(ア) 実施日 令和 8 年 3 月 1 9 日

(イ) 講師 高見 秀太郎氏

(ウ) 受講者数 4 5 人（うち職員 3 5 人、市民参加者 1 0 人）

(3) 市民向け講座の実施

人材育成を通じて市民の自発的な地域活動の促進を図るため、地域人材養成講座を実施した。

ア 団体の強みを活かし協力者・活動資金を増やそう

N P O 向けの財源の種類や特徴、それらを獲得するための基本を学ぶとともに、自団体の強みを再確認し、アピールする力を磨くことで団体の自立を目指す講座

(ア) 実施日 令和 8 年 2 月 1 4 日

(イ) 講師 森 玲子氏

(ウ) 受講者数 2 1 人

イ みんなで考えよう 伝わるチラシの作り方

団体の発信力向上を目指し、強調したい内容が伝わるチラシデザインのコツやポイントを学ぶ講座

(ア) 実施日 令和 8 年 2 月 2 3 日

(イ) 講師 いぬい かずと氏

(ウ) 受講者数 2 4 人

(4) 深大寺まちづくり情報コーナー

地域の身近な課題に地域住民が主体的に参加し、課題解決に向けて取り組むための地域拠点として、平成 2 2 年 8 月、行政資料及びまちづくり関係資料の閲覧や軽作業が行える「深大寺まちづくり情報コーナー」を深大寺地域福祉センターに設置するもの

深大寺地域福祉センターのエレベーター設置工事に合わせ、情報コーナーを多目的利用ができるオープンスペースとしてリニューアルし、行政情報の提供機能は、近隣の図書館深大寺分館に集約した。

16 市制施行 7 0 周年記念事業 予算科目（款・項・目） 1 0 ・ 3 5 ・ 1 8 [決算書 1 5 1 ページ]

市民主体の取組の促進につながる、調布の将来について考えるワールドカフェ形式の市民交流

事業を開催した。

- (1) 名称 K I K K A K E カフェ～調布のこと、みんなで、話そう。～
- (2) 実施日 令和7年11月29日
- (3) 会場 調布市グリーンホール小ホール
- (4) 参加者 87人
- (5) 事業内容
 - ア 60周年からの市制の振り返り
 - イ パネリストトークセッション
 - ※パネリスト 高見 秀太郎氏、平澤 和哉氏、西村 達也氏
 - ※ファシリテーター 林田 暢明氏
 - ウ 市民活動団体によるクラシックライブ
 - エ ワールドカフェ

17 市民活動支援センター運営事業

予算科目(款・項・目) 10・35・18
〔決算書151ページ〕

様々な分野で自主的な社会貢献活動を行っている個人や団体を総合的に支援し、それらの活動を相互に交流・連携するための拠点施設として市民活動支援センターを設置するもの

市民活動支援センター実施事業等

(1) 市民活動支援センター運営委員会の開催

- ア 概要 市民参加型の市民活動支援を行うため、様々な分野で活動する市民による運営委員会を設置し、市民活動支援センター事業についての検討、協議を行うもの
- イ 委員構成 学識経験者(1人)、企業(1人)、市民活動団体(3人)、ボランティア(5人)、市民(3人)、関係機関(2人)、市役所(1人)、市民活動支援センター(1人)をもって組織 男11人、女6人
- ウ 開催回数 全8回

(2) えんがわフェスタ

地域でのつながりや仲間づくりを目的として、地域の課題からテーマを定めて市民活動団体や市民が交流する場を創出するもの

- ア 名称 えんがわフェスタ2026
- イ 開催日 令和8年2月28日
- ウ 参加人数 約100人
- エ 事業内容

「見つかる!私の「推し活」 ～Meet your favorites in Chofu～」と称し、寄付文化の醸成をテーマに、えんがわファンダ助成団体の活動報告会やブース出展のほか、ミニ学習会、参加者による交流会等を実施した。

(3) 調布まち活フェスタ

市民活動の活性化を図ることを目的として、市民活動団体が日頃の活動をPRし、準備段階を含め相互に交流を図り、多くの市民が自由に参加できる事業を実施するもの

- ア 名称 第12回調布まち活フェスタ
- イ 開催日 令和7年10月19日
- ウ 来場者数 約800人
- エ 事業内容

市民活動・地域活動の活性化を図るために、多世代の誰もが楽しめる交流イベントとして

実行委員会が企画。市内活動団体によるステージ発表や室内展示、ワークショップ等を通じて各団体が活動紹介を行った。

(4) 情報の収集・提供

ア えんがわだよりの発行

ボランティア・NPO情報を提供するため、6回発行した。全面カラーで印刷し、写真を多く掲載する等、デザインを工夫して発行した。

イ 市民活動支援センターホームページの運用及び活用促進

(ア) 公開団体数 209団体

(イ) サイト全体アクセス数 11万4,743件

ウ 資料コーナーの充実

ボランティアやNPO関連を中心に幅広い分野のチラシ等の受入れ、雑誌の定期購読、閲覧用図書・報告書類の収集、視聴覚資料の設置等により多くの情報を収集、提供した。

(5) スペース・設備の貸出し

市民活動支援センター施設利用

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
来館者数(人)	41,451	54,430	65,661
利用者数(人)	29,093	33,491	35,227
相談件数(件)	925	995	1,356

(6) 市民活動を支援するための講座等開催

ア 災害ボランティアコーディネーター養成講座

イ 災害ボランティアセンターICT活用訓練

ウ NPO法人設立個別相談会

エ 食に関するボランティア講座

(7) コミュニティルームの管理運営

国領駅北ふれあいの家の廃止に伴い、令和6年4月1日から、市民活動支援センターの一室に位置付け、地域活動等の場として継続して利用可能とするため管理運営を行うもの

	令和6年度	令和7年度
利用件数(件)	661	570
利用人数(人)	4,816	4,348

18 いやしとふれあいの旅事業 予算科目(款・項・目) 10・35・18 [決算書151ページ]

市民の保養と心身の健康の増進に寄与するため、旅行業者と事業協力協定を締結し、宿泊費等の割引や高齢者や障害者等に対して宿泊費の一部助成、バスツアーを実施するもの

(1) 事業協力協定者

さくらツーリスト株式会社

(2) 対象宿泊施設

市民の優待対象施設として、上半期14施設、下半期14施設を指定

年度	利用者数(単位:人)	
	市民優待宿泊事業利用者	助成事業利用者(延べ数)
5	9	12
6	6	9

7	4	4
---	---	---

(3) 日帰りバスツアー

実施回数 8回

- ア 花じゅうたん秩父の芝桜&つつじまつり 発酵コース料理
令和7年4月24日 30人参加
- イ ふじのはな物語とちょっと贅沢なホテルランチ
令和7年5月16日 34人参加
- ウ もも食べ放題と野木町ひまわり畑 おしゃれランチの旅
令和7年7月18日 27人参加
- エ 涼をもとめて昇仙峡・シャインマスカット狩り
令和7年9月11日 30人参加
- オ 清水港クルーズ・20種類寿司食べ放題と蓬莱橋
令和7年10月17日 35人参加
- カ 鹿島神宮初詣、佐原自由散策といちご狩り・洋食コースに舌鼓
令和8年1月23日 36人参加
- キ 梅まつり・熱海自由散策&大人気ホテルランチハーフブッフェ
令和8年2月27日 21人参加
- ク 隅田川ランチクルーズと築地のお買い物
令和8年3月24日 39人参加

多様性社会・男女共同参画推進課

1 市民プラザあくろす管理運営

予算科目（款・項・目） 10・35・23

〔決算書153ページ〕

男女共同参画推進センター、産業労働支援センター及び市民活動支援センターの三つの機能で構成する多様な市民活動の拠点施設として設置し、指定管理者制度を導入し運営するもの

(1) 施設利用状況

ア 月別利用者数（来館者数）

（単位：人）

区分 月	あくろす諸室	男女共同参画 推進センター	産業労働支援 センター	市民活動支援 センター	月別計
4月	4,695	1,267	422	3,211	9,595
5月	4,505	1,018	446	3,608	9,577
6月	5,132	3,351	449	8,893	17,825
7月	5,158	1,802	435	11,336	18,731
8月	3,865	1,128	441	3,307	8,741
9月	4,733	1,209	484	3,664	10,090
10月	4,981	1,236	499	4,520	11,236
11月	5,333	1,020	445	3,984	10,782
12月	4,645	1,002	485	3,410	9,542
1月	4,781	1,133	422	3,648	9,984
2月	5,344	1,178	433	12,667	19,622
3月	5,554	1,382	451	3,413	10,800
計	58,726	16,726	5,412	65,661	146,525

イ あくろす諸室月別利用者数

（単位：人）

区分 月	会議室 1	会議室 2	研修室 1	研修室 2	研修室 3	研修室 4	研修室 5
4月	834	439	295	411	564	103	162
5月	738	410	328	471	479	112	260
6月	751	379	352	434	600	133	229
7月	843	486	322	489	563	120	175
8月	692	330	267	392	454	100	126
9月	850	464	289	438	523	97	226
10月	905	492	334	514	603	118	174
11月	855	551	394	494	721	127	212
12月	815	475	295	353	447	106	167
1月	896	512	299	473	415	116	188
2月	739	503	257	521	548	126	209
3月	694	441	327	413	527	127	202
計	9,612	5,482	3,759	5,403	6,444	1,385	2,330
区分 月	和室	調理室	保育室	ホール 1	ホール 2	月別計	
4月	284	161	33	711	698	4,695	

5月	252	176	20	653	606	4,505
6月	224	107	6	975	942	5,132
7月	264	186	78	818	814	5,158
8月	233	59	7	635	570	3,865
9月	206	107	25	826	682	4,733
10月	272	132	55	761	621	4,981
11月	263	176	27	774	739	5,333
12月	292	175	141	729	650	4,645
1月	198	153	90	707	734	4,781
2月	254	202	68	1,047	870	5,344
3月	331	114	134	1,267	977	5,554
計	3,073	1,748	684	9,903	8,903	58,726

ウ 月別利用率

(単位：％)

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
会議室 1	60.2	63.8	67.6	62.6	54.4	68.2	71.3
会議室 2	56.0	55.6	59.9	62.6	46.7	57.3	63.8
研修室 1	39.5	40.5	52.5	49.2	34.0	40.8	51.3
研修室 2	45.9	49.2	49.6	56.7	39.8	49.9	65.4
研修室 3	44.8	44.6	51.5	62.1	50.1	50.4	63.1
研修室 4	49.6	44.1	48.0	48.2	43.0	40.8	51.0
研修室 5	41.4	46.2	55.7	38.2	31.0	40.6	46.7
和室	35.0	38.2	37.9	35.6	38.2	37.1	46.9
調理室	12.5	15.4	16.4	18.7	5.3	11.4	15.6
保育室	18.6	19.7	35.3	24.9	18.6	27.6	22.8
ホール 1	21.2	21.0	41.6	38.7	16.2	21.8	26.2
ホール 2	26.5	23.1	41.4	41.3	25.2	27.6	31.5
諸室平均	37.6	38.5	46.5	44.9	33.5	39.5	46.3
スモール オフィス	71.4	77.1	85.7	85.7	85.7	94.1	85.7
全体平均	50.1	52.7	60.9	59.9	52.8	59.6	60.8
月 区分	11月	12月	1月	2月	3月	計	
会議室 1	72.9	68.4	79.5	68.9	62.3	66.6	
会議室 2	64.5	56.4	57.8	70.4	59.0	59.1	
研修室 1	56.0	40.2	46.2	55.0	47.2	46.0	
研修室 2	72.1	51.6	51.9	58.6	49.0	53.3	
研修室 3	62.6	40.7	54.1	63.0	47.2	52.8	
研修室 4	58.4	42.7	52.7	48.8	51.0	48.2	
研修室 5	47.5	47.3	52.1	53.8	47.4	45.5	
和室	41.6	48.4	35.3	44.4	45.9	40.4	
調理室	16.2	21.4	15.1	28.1	13.3	15.7	

保育室	28.1	29.6	26.5	35.5	24.9	25.9
ホール1	24.9	33.9	35.3	33.1	31.0	28.7
ホール2	27.1	34.8	35.9	36.4	53.3	33.7
諸室平均	47.7	42.9	45.2	49.7	44.3	43.0
スモール オフィス	85.7	85.7	85.7	71.4	71.4	82.2
全体平均	61.7	58.7	60.1	57.7	54.3	57.4

※ 諸室の各月における利用率は、諸室ごとの月間の貸出可能時間と利用時間との比率

諸室の合計の利用率は、諸室ごとの年間の貸出可能時間と利用時間との比率

(2) 調布市市民プラザあくろす運営連絡会

ア 概要 市民プラザあくろすの円滑な運営及び連携を図るため、男女共同参画推進センター、産業労働支援センター、市民活動支援センター及び指定管理者により設置するもの

イ 委員構成等 各センター職員（6人）及び指定管理者職員（5人）をもって組織 男8人、女3人

ウ 開催回数 12回

(3) 施設改修状況

ア バリアフリートイレカーテンレール修繕

イ 点字タイルカーペット修繕

(4) 市民プラザあくろす20周年記録誌の発行

令和7年2月に市民プラザあくろす開館20周年を迎えたことから、記録誌を150部発行した。

2 多様性社会・男女共同参画推進事業

予算科目（款・項・目）10・35・25

〔決算書153～155ページ〕

男女共同参画社会の実現を目指し、「調布市男女共同参画推進プラン」に基づき総合的・計画的に男女共同参画推進のための事業及び多様な性に関する理解促進・啓発・相談に関する事業を実施するもの

(1) 市の審議会や委員会における女性の参画状況

ア 基準日 令和7年4月1日

イ 市の審議会や委員会における女性の割合

		5年度	6年度	7年度
委員全体	委員総数(人)	1,150	1,202	1,143
	女性委員の総数(人)	394	372	370
	女性の割合(%)	34.3	30.9	32.4
委員のうち 市職員	委員総数(人)	395	402	355
	女性委員の総数(人)	92	73	70
	女性の割合(%)	23.3	18.2	19.7
市職員を除く 委員	委員総数(人)	755	800	788
	女性委員の総数(人)	302	299	300
	女性の割合(%)	40.0	37.4	38.1

※ この表における「市職員」とは、特別職（市長、副市長及び教育長をいう。）及び一般職の職員をいう。

(2) 主催事業

ア 講座等

男女共同参画社会の実現を目指し、意識啓発のための講座等を実施した。

事業名	実施日	会場	テーマ・内容	講師	参加者数 (保育数) (人)
生きるのがしんどい女の子たち ～若年女性の困難と貧困、格差～	令和7年 8月29日	市民プラザあくろす 研修室3	若年女性の貧困や生きづらさについてケースを基に実情を知り、支援について考えるもの	杉田 真衣氏 (東京都立大学人文社会学部人間社会学科教育学教室准教授)	24 (2)
不思議なパートナーと暮らすコッ ～カサンドラかなと思ったあなたへ～	令和8年 1月17日	市民プラザあくろす 研修室3	発達障害を理解し、よりよい夫婦関係を築いていくためのきっかけとするもの	櫻田 万里氏 (NPO法人アスペルガーアラウンド理事長)	14 (2)
夫婦で考えていく、これからの介護 かかえこまない、仕事と介護の両立術	令和8年 2月14日	市民プラザあくろす ホール	地域や専門機関のサポートを受けながら、離職せずに仕事と介護を両立していくための方法を学ぶもの	川内 潤氏 (NPO法人となりのかいご代表理事)	9 (1)
教えて、女性のからだのケア 調布の医師が教えるからだとの向き合い方	令和8年 2月20日	市民プラザあくろす ホール	女性の体のしくみやライフステージに応じた健康課題とその対処法、医療とのつながり方などを学ぶもの	金子 英介氏 (金子レディースクリニック院長)	27
西洋ジェンダー史から考える「男らしさ」「女らしさ」	令和8年 2月27日	市民プラザあくろす 研修室3	固定的な性別役割分担意識や男女の二分化が時代によって変容していることを知り、今後について考えるもの	弓削 尚子氏 (早稲田大学法学学術院教授)	15

イ 展示

名称	実施期間	テーマ・内容	場 所
ジェンダーギャップに関する展示	令和7年10月27日～31日	男女共同参画意識を啓発するため、日本における最新のジェンダーギャップ指数や世界の男女格差ランキング一覧を展示	本庁2階エントランスホール
	通年		男女共同参画推進センター内
「発見!ジェンダー」パネル展	令和8年3月3日～13日	暮らしや社会に潜むジェンダー問題をイラストにした「発見!ジェンダー」パネル(公益社団法人日本女性学習財団作成)を	本庁2階エントランスホール

	令和8年3月14日	展示	文化会館たづくりくすのきホール
--	-----------	----	-----------------

(3) 男女共同参画推進センター通信「しえいくはんず」の発行

男女共同参画に係る情報を広く市民に周知するため、広報紙を3,000部発行し、市内公共施設等で配布した。また、調布市ホームページに掲載した。

号	テーマ	特 集 内 容
57	自分らしいこれからの働き方 ワーク・ライフ・バランスと女性活躍の今とこれから	ワーク・ライフ・バランスや女性活躍推進に関する制度や市内事業者の取組を紹介し、性別にかかわらず誰もが自分らしく働くことができる社会につなげるもの。

(4) 図書・資料コーナーの運営

男女共同参画推進センター内に図書等を配架し、利用者の閲覧・貸出しに供することで、男女共同参画に関わる知識を深められるようにした。

ア 図書・資料コーナー

図書の購入 147冊（寄贈を含む。雑誌、行政資料等を含む蔵書数 2,602冊）

新規貸出登録者数 84人（貸出登録者数 264人）

貸出状況 延べ430人 570冊

イ 図書の展示

伝えたいテーマの図書を男女共同参画推進センター等に展示した。

実施期間	テーマ
令和7年5月15日～6月30日	多様な性に関連する図書を展示
令和7年6月1日～30日	新着図書を展示。そのほか、男女共同参画推進フォーラムしえいくはんず2025の中で開催する講演会のテーマに併せて、DVや虐待に関連する図書や、防災に関連する図書を展示
令和7年8月15日～31日	若年女性の困難をテーマにした講座に併せて、貧困や格差に関連する図書・チラシ等を展示
令和7年9月1日～10月31日	新着図書を展示
令和7年10月15日～31日	多様な性をテーマにした講座に併せて、関連する図書・チラシ等を展示
令和7年11月1日～12月1日	貸出件数の多い図書のほか、パープルリボン・プロジェクトinちょうふの一環でDVと性暴力に関連する図書を展示
令和7年12月1日～28日	ほっとサロン(「シングルマザーズcafé」、「わたらしい未来を描こう!」、「親がまず知る“性教育”」)のテーマに併せて、関連する図書を展示
令和8年1月5日～2月28日	夫婦関係、介護、西洋ジェンダー史をテーマにした講座に併せて、関連する図書・チラシ等を展示
令和8年3月1日～31日	新着図書を展示
令和8年3月1日～31日	国際女性デーに併せて、男女共同参画に関連する図書を展示

令和8年3月15日～31日	新生活スタートに併せて、多様な生活習慣に関連する図書を展示
通年	季節に併せた絵本の展示、寄贈絵本の展示

(5) 市民参加事業「男女共同参画推進フォーラムしえいくはんず2025」

参加団体を公募し、7団体による実行委員会及び4団体の協力により、市民プラザあくろす及び国領駅前広場で開催した。市制施行70周年を記念し、開催日を3日間に拡大して実施した。期間中の参加者は、スタッフを含め延べ1,487人（保育1人）であった。また、「男女共同参画推進フォーラムしえいくはんず2025記録集」を200部発行し、男女共同参画推進センター内の図書・情報コーナーに配架した。

ア 開催日 令和7年6月20日から同月22日まで

イ テーマ 十人十色の価値観で調布を彩る

ウ 内容

(7) 実行委員会企画

事業名	実施日	テーマ・内容	講師	参加者数 (保育数) (人)
それって自分のせい？ ～ひとはなぜ自分を責めてしまうのか～	令和7年 6月20日	DVや虐待の被害者が「自分が悪かった」と自責化するからくりと、自分を責めないための方法を学ぶもの	信田 さよ子氏(公益社団法人日本公認心理師協会会長)	73
防災最前線 2025 ワク★ドキ ワークショップ	令和7年 6月21日	防災について楽しく学び、自分事として捉え、防災を非日常ではなく、日常生活の一部の視点で考えるもの	富川 万美氏 (NPO法人 M-plus理事)	21 (1)
シネサロン	令和7年 6月21日	男女共同参画推進に関連する映画「ズートピア」の上映会		19
	令和7年 6月22日	男女共同参画推進に関連する映画「燃えあがる女性記者たち」の上映会と意見交換会		8
福引	令和7年 6月21・22日	出展者の各ブース等に設置したスタンプを押した人に福引でプレゼントが当たるもの		264
いまのきもちは？	令和7年 6月21・22日	「プンブン」、「ドキドキ」、「もやもや」、「ウキウキ」、「しょんぼり」、「ワクワク」の六つの区分からシールを選び貼ってもらうことにより今の気持ちを伝えてもらうもの		

(イ) 参加団体企画

事業名	実施日	テーマ・内容	団体名	参加者数 (保育数) (人)
LGBTQのパネル展 とにじいろお話し会	令和7年 6月21・22日	LGBTQに関するパネル・絵本・かるた等の展示と「お話し会」を行うもの	(一社)調布 LGBT&アライ の会	88
ケアラー(家族や 身近な人を介護 する人)を知ろう	令和7年 6月21・22日	様々なケアラーの普及啓発を目的 としたパネル・書籍の展示や相談 窓口の紹介	(公財)調布ゆ うあい福祉公 社	89
調布と狛江の障 がい者のアート 展とワークショ ップ	令和7年 6月22日	障がい者のアート展と「段ボール 迷路」を工作するワークショップ	調布美術研究 所	71
足と靴の悩み解 決相談	令和7年 6月22日	足・靴・歩行の悩みや課題を聞き 取り、助言・提案するもの	フットの会	18
子どもの本を楽 しむ会	令和7年 6月22日	幼児から小学生向けに絵本や紙芝 居の読み語りをを行うもの	ちょうふ読み 語りの会	17
作って楽しむ工 作教室	令和7年 6月22日	カラフルなバスボムやスライム作 りのワークショップを行うもの	こどもアート くらぶ	120
暮らしの工夫、家 族みんなででき ることから始め よう	令和7年 6月22日	食のこと、家計のこと、住のこと、 ライフプランの作成などをパネル や体験で紹介するもの	東京第三友の 会調布最寄	42
中高生が考える 男女共同参画	令和7年 6月22日	中高生が制作した男女共同参画に 関するポスター展示と女子スポー ツ選手のユニフォームの問題を考 えるワークショップを行うもの	晃華学園中学 校高等学校	56
調布さくらウイ ンドオーケスト ラ吹奏楽演奏	令和7年 6月22日	調布さくらウインドオーケストラ 有志による吹奏楽の演奏	調布さくらウ インドオーケ ストラ吹奏楽 有志	210
混声合唱団七福 神ミニコンサー ト	令和7年 6月22日	混声合唱団七福神による様々なジ ャンルの曲の合唱	混声合唱団七 福神	137
モダンバレエ PienaのKidsパフ ォーマンス	令和7年 6月22日	モダンバレエPienaの子どもたち によるパフォーマンスの披露	モダンバレエ Piena	254

(ウ) 連携企画

事業名	実施日	テーマ・内容	場所
-----	-----	--------	----

図書フェア	令和7年 5月28日～ 6月22日	男女共同参画推進フォーラムし えいくはんず2025に関連した図 書の展示	中央図書館 国領分館
レインボーライ トアップ	令和7年 6月7日～30 日	文化会館たづくり壁面を6色のレ インボーでライトアップするも の	文化会館たづ くり

(6) 一時保育事業

講座・講演会又は男女共同参画推進フォーラムの事業開催時に、1歳以上就学前の幼児を連れて参加した保護者のため、別室で一時保育を行った。

	5年度	6年度	7年度
保育延べ人数(人)	11	14	10

(7) 相談事業

男女共同参画の視点に立ち、生活、心・健康のこと、家庭における暴力の問題、仕事や再就職などの社会環境や家族の形態の変化により生じる様々な悩みについて女性又は男性の相談員が相談に応じ、相談者自身が解決の糸口を見いだし、性別にとらわれない自由な生き方を選択できるよう支援した。

ア 女性の生きかた相談

〈利用状況：予約制面接・電話相談〉

	5年度	6年度	7年度
相談枠設定件数(件)	403	410	415
相談件数(件)	287	308	224
利用率(%)	71.2	75.1	54.0

〈利用状況：予約不要電話相談〉

	5年度	6年度	7年度
相談件数(件)	89	72	87

〈相談内容内訳〉

(単位：件)

区 分	5年度	6年度	7年度
自分自身の生き方	337(63)	334(45)	128(4)
夫婦関係	104(6)	163(8)	132(10)
家族・親族の人間関係	212(55)	174(41)	111(42)
その他の人間関係	100(19)	79(14)	54(23)
健康	95(19)	66(15)	26(1)
暮らしのこと	92(20)	58(17)	19(6)
暴力	59(8)	57(5)	81(13)
その他	26(13)	16(5)	6(1)
合 計	1,025(203)	947(150)	557(100)

※ 相談内容内訳件数は、面接相談と電話相談を合計した件数で、括弧内はその内電話相談で受けた件数。一人で複数の相談内容があるため、相談件数とは一致しない。

イ 女性のための法律相談

〈利用状況：予約制面接・電話相談〉

	5年度	6年度	7年度
--	-----	-----	-----

相談枠設定件数(件)	154	156	156
相談件数(件)	73	117	117
利用率(%)	47.4	75.0	75.0

〈相談内容内訳〉

(単位：件)

区 分	5 年度	6 年度	7 年度
夫婦関係(離婚等)	54	94	86
家族・親族の人間関係(相続等)	10	15	7
その他の人間関係(人権侵害等)	2	1	3
暮らしのこと(金銭貸借等)	4	5	2
暴力	14	33	35
その他	5	2	15
合 計	89	150	148

※ 相談内容内訳件数は、一人で複数の相談内容があるため、相談件数とは一致しない。

ウ 女性のヘルスケア相談（思春期～更年期）

〈利用状況：予約制面接・電話相談〉

	5 年度	6 年度	7 年度
相談枠設定件数(件)	33	33	33
相談件数(件)	10	16	20
利用率(%)	30.3	48.5	60.6

〈相談内容内訳〉

(単位：件)

区 分	5 年度	6 年度	7 年度
体の不調	8	8	11
性・妊娠・出産	1	1	1
不妊について	0	0	0
心に関して	4	7	14
暴力	0	0	8
その他	1	0	1
合 計	14	16	35

※ 相談内容内訳件数は、一人で複数の相談内容があるため、相談件数とは一致しない。

エ 女性のための仕事&生活サポート相談

〈利用状況：予約制面接・電話相談〉

	5 年度	6 年度	7 年度
相談枠設定件数(件)	55	55	46
相談件数(件)	34	30	29
利用率(%)	61.8	54.5	63.0

〈相談内容内訳〉

(単位：件)

区 分	5 年度	6 年度	7 年度
就職活動	2	2	1
適職探し	4	3	1
転職希望	5	6	1
ワーク・ライフ・バランス	6	8	3

労働条件・労働環境	0	0	0
職場の人間関係	3	0	0
セクハラ・パワハラ	0	0	0
暴力	0	3	2
その他	17	14	23
合 計	37	36	31

※ 相談内容内訳件数は、一人で複数の相談内容があるため、相談件数とは一致しない。

オ 働く女性の人生相談

〈利用状況：予約制面接・電話相談〉

	5 年度	6 年度	7 年度
相談枠設定件数(件)	45	48	48
相談件数(件)	28	24	34
利用率(%)	62.2	50.0	70.8

〈相談内容内訳〉

(単位：件)

区 分	5 年度	6 年度	7 年度
自分自身の生き方	20	19	32
夫婦関係	4	1	3
家族・親族の人間関係	9	4	5
その他の人間関係	5	4	8
健康	1	3	8
暮らしのこと	0	1	4
暴力	2	0	0
その他	22	21	24
合 計	63	53	84

※ 相談内容内訳件数は、一人で複数の相談内容があるため、相談件数とは一致しない。

カ 男性のための相談

〈利用状況：予約制面接・電話相談〉

	5 年度	6 年度	7 年度
相談枠設定件数(件)	38	42	42
相談件数(件)	17	26	35
利用率(%)	44.7	61.9	83.3

〈相談内容内訳〉

(単位：件)

区 分	5 年度	6 年度	7 年度
自分自身の生き方	4	16	21
夫婦関係	9	4	9
家族・親族の人間関係	2	3	4
その他の人間関係	1	5	7
健康	0	0	1
暮らしのこと	0	0	1

暴力	3	0	1
その他	4	1	1
合 計	23	29	45

※ 相談内容内訳件数は、一人で複数の相談内容があるため、相談件数とは一致しない。

キ 暴力に関する相談内容分類

市民相談課（家庭相談）、子ども育成課（ひとり親家庭等相談）及び多様性社会・男女共同参画推進課が受けた相談のうち、暴力に関する相談内容をまとめたもの

令和5年度

(単位:件)

誰から受けているか 暴力の内容	配偶者又は 交際相手		親		子ども・兄弟・親族		知人		見知らぬ人		合 計	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
身 体 的 暴 力	4	101	1	0	1	3	0	0	0	0	6	104
精 神 的 暴 力	3	238	17	15	5	12	3	0	0	0	28	265
性 的 暴 力	1	11	0	1	0	0	0	0	0	0	1	12
経 済 的 暴 力	0	64	0	6	0	0	0	0	0	0	0	70
合 計	8	414	18	22	6	15	3	0	0	0	35	451

令和6年度

(単位:件)

誰から受けているか 暴力の内容	配偶者又は 交際相手		親		子ども・兄弟・親族		知人		見知らぬ人		合 計	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
身 体 的 暴 力	2	80	2	9	1	4	0	0	0	0	5	93
精 神 的 暴 力	0	264	4	20	2	6	0	2	0	0	6	292
性 的 暴 力	0	31	0	0	0	0	0	1	0	0	0	32
経 済 的 暴 力	0	48	0	12	0	0	0	0	0	0	0	60
合 計	2	423	6	41	3	10	0	3	0	0	11	477

令和7年度

(単位:件)

誰から受けているか 暴力の内容	配偶者又は 交際相手		親		子ども・兄弟・親族		知人		見知らぬ人		合 計	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
身 体 的 暴 力	1	116	6	17	2	5	0	0	0	0	9	138
精 神 的 暴 力	1	181	34	18	3	6	0	1	0	0	38	206
性 的 暴 力	1	9	0	0	0	1	1	1	0	0	2	11
経 済 的 暴 力	0	61	2	4	0	1	0	0	0	0	2	66
合 計	3	367	42	39	5	13	1	2	0	0	51	421

※ 暴力の内容と受けている相手について、一人で複数の内容があるため、件数は重複している。

※ 「配偶者」には、法律婚だけでなく事実婚や現在離婚している関係も含む。

ク 相談事業に伴う一時保育事業

1歳以上就学前の幼児のいる相談者のため、別室で一時保育を行った。

	5年度	6年度	7年度
保育利用相談件数(件)	4	10	11

保育延べ人数(人)	4	10	12
-----------	---	----	----

ケ グループ相談（事業名：ほっとサロンしえいくはんず）

相談員の進行のもと、仕事や子育てのこと、家族や家庭のこと、身体のことなどの同じ悩みを持つ者が集まり、少人数で話し合うもの

(ア) 開催回数 8回

(イ) 参加人数 延べ40人（保育数 延べ8人）

実施日	テーマ	参加者数 (保育数) (人)
令和7年 5月28日	産後のからだを知ろう！～骨盤トレーニングで「こころ」と「からだ」を整えよう	4 (2)
令和7年 7月19日	パパの子育てサロン 子どもが喜ぶ絵本を楽しみながら、パパ達と子育てのことを話し合ってみませんか？	4 (2)
令和7年 9月19日	わたらしい未来を考えよう 女性のライフステージに応じたキャリアデザイン	6
令和7年 9月24日	更年期と上手に付き合う	7
令和7年 12月20日	シングルマザーズcafe	3
令和8年 1月16日	わたらしい未来を描こう！ 女性のライフステージに応じたキャリアデザイン	2 (1)
令和8年 1月28日	親がまず知る“性教育”～乳幼児編～	8 (3)
令和8年 3月24日	人生後半戦が面白い！ ミドルシニアの人生の楽しみ方	6

コ 女性のための支援事業

相談支援の一環として、様々な理由で生理用品を用意することが困難な方に対して、女性のための相談事業のチラシとともに生理用品を配布した。

配布数 36セット（昼用・夜用）

(8) 団体・グループ活動支援事業

市民の男女共同参画意識の啓発・普及や女性の活躍の推進に関する事業を行う市民活動団体の支援を行うもの

令和7年度における調布市男女共同参画推進活動費補助金の申請件数 1件

(9) 調布市男女共同参画推進センター運営委員会の運営

ア 概要

(ア) 男女共同参画推進センターの円滑な運営及び男女共同参画社会の実現に向けた事業について検討するもの

(イ) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律第27条の規定による協議を行う場として、地域における女性の活躍について議論するもの

(ウ) 調布市男女共同参画推進プランに基づく事業等の実施状況について議論するもの

イ 委員構成等 有識者（3人）、団体推薦者（2人）、公募市民（3人）及び指定管理者（1人）を

もって組織 男4人、女5人

ウ 開催回数 4回（令和7年5月13日、同年7月31日、同年9月29日及び令和8年3月25日に開催）

(10) 女性活躍推進事業

ア 女性活躍推進に関する講座等

事業名	実施日	会場	テーマ・内容	講師	参加者数 (保育数) (人)
しごと応援キャラバンin調布(東京しごとセンター多摩と共催)	令和7年 9月9日	調布クレ ストンホ テル ク レストン ルーム	女性の多様な就労ニーズを支援するために就職活動のノウハウを提供するセミナーを実施するもの	鈴木 真木 子氏（国家 資格キャリ アコンサル タント）	49
子育て女性向け再就職イベント(東京しごとセンター多摩と共催)	令和7年 9月18日	調布クレ ストンホ テル ク ラウンル ーム	子育てと仕事を両立して自分らしく活躍するために、「働く」に向けての一步を踏み出すヒントを得るためのセミナー及び企業交流会	松澤 利栄 子氏（国家 資格キャリ アコンサル タント）	55
女性のための起業セミナー(産業労働支援センター、日本政策金融公庫三鷹支店及び多摩信用金庫と共催)	令和8年 2月20日	市民プラ ザあくろ す ホー ル	起業前後の女性に向けて、事業づくりの基本となる「誰に・何を・どう届けるか」を整理し創業の最初の一歩を明確にすることを目的とするもの	伊藤 明子 氏(TOKYO創 業ステーシ ョン TAMA TAMAプラン コンサルタ ント)	22
市制施行70周年記念講演会&パネルディスカッション 「自分らしい これからの働き方」	令和8年 3月14日	文化会館 たづくり くすのき ホール	ワーク・ライフ・バランスと女性活躍についての講演と、市内事業者や市の取組についてのパネルディスカッションを通し、すべての人が自分らしく働くための職場や家庭での助け合いを考えるもの	小室 淑恵 氏（株式会 社ワーク・ ライフバラ ンス 代表 取締役社 長） 巴山 一済 氏（巴山建 設株式会社 代表取締役 社長） 大槻 昌美 氏（非営利	89 (3)

				型株式会社 Polaris 共同代表) 本田 尚美 (調布市副 市長)	
--	--	--	--	--	--

イ 女性活躍推進に伴う啓発

(7) 「えるぼし認定」等女性活躍推進に係る認定制度の周知

市ホームページに、「えるぼし認定」「くるみん認定」「なでしこ銘柄」の国の認定制度について掲載した。また、厚生労働省作成「女性活躍推進法に基づくえるぼし認定・プラチナえるぼし認定のご案内」及び「くるみん認定・トライくるみん認定・プラチナくるみん認定」を商工会内に配架した。

※ 「えるぼし認定」とは、厚生労働省が実施している認定制度であり、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、一定基準を満たし、女性の活躍促進に関する状況などが優良な企業を認定するもの

※ 「くるみん認定」とは、厚生労働省が実施している認定制度であり、次世代育成支援対策推進法に基づき、仕事と家庭の両立を支援する環境が整備されている企業を認定するもの

※ 「なでしこ銘柄」とは、「女性活躍推進」に優れた上場企業を、平成24年度から経済産業省と東京証券取引所が共同で選定し、「中長期の企業価値向上」を重視する投資家にとって魅力ある銘柄として紹介しているもの

(4) イエローライトアップ

国際女性デーのシンボルであるミモザにちなみ、文化会館たづくり、調布駅前広場及び市民プラザあくろす3階において、令和8年3月8日から同月14日までイエローのライトアップを実施した。

(11) 調布市男女共同参画推進プランの推進

ア 調布市男女共同参画推進プラン推進協議会の運営

(7) 概要 「調布市男女共同参画推進プラン」を推進し、男女共同参画の総合的かつ効果的な推進を図るため、同プランの四つの基本目標ごとに位置付けた17の重点事業について、庁内各部署が組織横断的に連携しながら協議検討するもの

(4) 委員構成等 市職員(12人)をもって組織 男6人、女6人

(7) 開催回数 1回(令和7年6月27日に開催)

イ 調布市男女共同参画推進プラン実施状況報告書の作成

令和6年度に実施した男女共同参画に向けた取組の状況を取りまとめ、市ホームページに掲載した。

(12) 調布市男女共同参画に関する意識調査の実施

次期調布市男女共同参画推進プランの策定に向けた基礎資料とするため、「調布市男女共同参画に関する意識調査」を実施した。調査結果は、報告書として取りまとめ、市ホームページに掲載した。

ア 調査対象

(7) 調布市男女共同参画に関する市民意識調査 住民基本台帳から無作為抽出した16歳以上の市民3,000人

(4) 調布市男女共同参画に関する事業所意識調査 市内100事業所

イ 調査方法 郵送による調査票の配付・郵送又はインターネットによる回収

ウ 調査期間 令和7年11月20日から同年12月17日まで

エ 回収率

(7) 市民意識調査 39.7%

(4) 事業所意識調査 43.0%

(13) 配偶者暴力防止事業

ア 配偶者暴力防止及び被害者支援に関する講座・講演会

事業名	実施日	会場	テーマ・内容	講師	参加者数 (保育数) (人)
DV、誹謗中傷、性被害の実情と法的基礎知識～法律は知っている人しか守ってくれない～	令和7年 11月15日	市民プラザあくろすホール	法律を知ること、生活の中で起こる暴力等のトラブルについて自分を責めることなく対応する方法を学ぶもの	上谷 さくら氏(桜みらい法律事務所 弁護士)	13 (1)
デートDV出前講座	令和7年 4月13日	電気通信大学	大学1年生を対象に、デートDVについて学び、意識の醸成を図るもの	高橋 郁子氏(弁護士)	598
	令和8年 3月12日	第八中学校	中学3年生を対象に、デートDVについて学び、意識の醸成を図るもの	秋山 俊氏(弁護士)	100
	令和8年 3月13日	第五中学校		荒木 万由子氏(弁護士)	225

イ 調布市配偶者暴力防止等対策ネットワーク会議の開催

(7) 概要 配偶者からの暴力防止及び被害者支援に関する対策を推進し、被害者の支援等に携わる関係機関相互の連携強化を図るもの

(4) 委員構成等 市職員(6人)、関係機関委員(8人)をもって組織 男5人、女9人

(5) 開催回数 1回(令和7年10月29日に開催)

ウ 調布市配偶者暴力防止等対策・困難な問題を抱える女性への支援に関するネットワーク会議の設置

配偶者からの暴力への対策及び困難な問題を抱える女性への支援に関する関係機関相互の連携強化を図るとともに、当該支援を適切かつ円滑に行うため、「調布市配偶者暴力防止等対策ネットワーク会議」を改め、新たに「調布市配偶者暴力防止等対策・困難な問題を抱える女性への支援に関するネットワーク会議」を設置

(7) 設置年月日 令和8年1月1日

(4) 設置根拠法令等

a 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律第5条の2第2項に定める協議会

b 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律第15条第2項に定める支援調整会議

エ パープルリボン・プロジェクト in ちょうふの実施

毎年11月12日から同月25日までの国の「女性に対する暴力をなくす運動」期間にちなんで、様々なイベントを実施した。

(7) パープルリボンの着用

女性に対する暴力根絶運動の国際的なシンボルマークであるパープルリボンを、令和7年11月1日から同月28日までの間、市の職員等が着用することで、暴力を許さない意識を共有するとともに、暴力根絶に向けた市の姿勢を示した。

(イ) パネルの展示

- a 内容 総合福祉センターのウインドウ美術館にDV及びデートDV防止に関するパネルを展示し、男女共同参画推進センター内にDV及び性暴力防止に関するパネルを展示した。
- b 期間 令和7年11月1日から同月30日まで

(ウ) DVと性暴力関係の図書展示

- a 内容 男女共同参画推進センター内の図書・情報コーナーに「DV・性暴力」に関するセンター蔵書を展示した。
- b 期間 令和7年11月1日から同月30日まで

(エ) パープルライトアップ

- a 内容 文化会館たづくりでパープルライトアップを実施した。また、調布駅前広場及び市民プラザあくろす3階でパープルとオレンジのライトアップを実施した。
- b 期間 文化会館たづくり 令和7年11月1日から同月9日まで
調布駅前広場 令和7年11月25日から同月30日まで
市民プラザあくろす3階 令和7年11月1日から同月30日まで

(オ) ワークショップ

- a 内容 暴力のない社会に向けて、一人一人が考える機会となるよう、メッセージを記入したカードを展示中のツリーに飾るワークショップと、紙で作った花をリボンの形に貼るワークショップを実施した。
- b 期間 令和7年11月1日から同月30日まで

(カ) 農業まつりでのポスター掲示等

- a 内容 パープルリボン・プロジェクトを広く市民に周知し、DV防止を啓発するため、農業まつりにおいてポスターやパネルの展示、チラシの配布等を実施した。
- b 期間 令和7年11月15日・16日

(キ) DV防止啓発のためのティッシュ配布

- a 内容 DV防止をより広く啓発するとともに、相談窓口を周知するため、パープルリボン及び女性のための相談カードを入れたポケットティッシュを配布した。
- b 実施日 国領駅前広場 令和7年11月12日
農業まつり 令和7年11月15日

オ 青少年ステーションCAPS館内におけるデートDV啓発動画の配信

青少年ステーションCAPS館内において内閣府作成のデートDV啓発動画「付き合ったらこうして当然?!」を配信した。

(14) 多様性社会推進事業

ア パートナリシップ宣誓制度

(7) 概要

多様な性的指向・性自認の方の生活上の不便の軽減を図り、多様な生き方・暮らし方ができる社会の形成に向け、パートナーシップ関係にある2者がパートナーシップ関係にある旨を宣誓したことを市が証明するもの

(イ) 調布市パートナーシップ宣誓制度受理証交付組数 3組

イ L G B T Qに関する職員向け研修

事業名	実施日	会場	テーマ・内容	講師	参加者数 (人)
-----	-----	----	--------	----	-------------

多様な性ってなんだろう？～すべての人にとって安心・安全な地域づくり～	令和8年 1月28日	文化会館 たづくり 12 階 大 会議場	多様な性に関する基礎的な知識を学び、窓口や職場での対応を想定したグループワークを行い、理解を深めるもの	認定特定非営利活動法人 ReBit	40
------------------------------------	---------------	-------------------------------	---	----------------------	----

ウ LGBTQに関する市民向け講座

事業名	実施日	会場	テーマ・内容	講師	参加者数 (人)
もう傷つけない、傷つかない。多様な性から考える今	令和7年 10月31日	市民プラザあくろす 研修室3	LGBTQの誤解や無意識の思い込みを解消し、理解を深め、共生社会について考えるもの	森山 至貴氏 (早稲田大学文学学術院教授)	10
LGBTQフレンドリーな社会を目指して～カナダ旅行から考える～	令和8年 3月19日	市民プラザあくろす 研修室3	講師の実体験やカナダでの経験を通して、多様性を認め合う社会を考えるもの	水上 文氏 (文筆家)	10

エ 相談事業

性的指向又は性自認に起因する悩み、疑問又は不安を抱える者に対し、専門家による適切な助言及び援助を行うことにより、相談者自身が解決の糸口を見いだし、生活上の不便の軽減につなげるもの

(7) 多様な性に関する相談

〈利用状況：予約制面接・電話相談〉

	5 年度	6 年度	7 年度
相談枠設定件数(件)	28	31	28
相談件数(件)	8	9	9
利用率(%)	28.6	29.0	32.1

※ 令和5年7月から実施

〈相談内容内訳〉

(単位：件)

区 分	5 年度	6 年度	7 年度
性別の違和感	8	8	5
性的指向	4	4	5
人間関係の悩み	4	6	5
家族・親族の関係	7	1	8
カミングアウトのこと	3	3	2
差別・ハラスメント等	3	4	4
行政等のサービスのこと	1	4	2
暴力	0	2	2
その他	1	3	1
合 計	31	35	34

※ 相談内容内訳件数は、一人で複数の相談内容があるため、相談件数とは一致しない。

- (イ) グループ相談（LGBTQ+のためのグループ相談「ちょうふNIJ i ルーム」）の実施
相談員（専門家）の進行のもと、LGBTQやそうかもしれないと感じている方、その家族等、
同じ悩みを持つ者が集まり、少人数で話し合うもの

実施日	参加者数(人)
令和7年5月17日	2
令和7年8月20日	6
令和7年11月15日	5
令和8年2月18日	1

産 業 振 興 課

1 就労支援セミナー等の開催

予算科目（款・項・目） 25・05・05

〔決算書289ページ〕

(1) 就職面接会・労働セミナーの開催

就労に向けた機会の提供や労働法関連知識の啓発、労働トラブルの事前回避を図るため、就職面接会や各種セミナー等を実施するもの

ハローワーク府中、厚生労働省東京労働局、東京都労働相談情報センター多摩事務所、公益財団法人東京しごと財団、東京都産業労働局と連携し、調布市市民プラザあくろすや調布市文化会館たづくり等で、セミナーや就職面接会を開催した。

ア ハローワーク府中との共催事業

セミナー名	開催日	参加者数(人)	備考
ミニ面接会	令和7年4月18日 ほか 計11回	56	参加企業延べ11社
仕事と家庭の両立をめ ざす方のための就職活 動支援セミナー	令和7年6月26日	26	一時保育利用者0人
仕事と家庭の両立をめ ざす方のための就職活 動支援セミナー	令和7年12月18日	11	一時保育利用者0人
子育てしながら働きた い方のためのセミナー (パソコン講習)	令和7年7月8日～ 11日 ほか 計4回	31	一時保育利用者6人
子育てしながら働きた い方のためのセミナー (ビジネスマナー&メイ クアップセミナー)	令和7年9月11日	9	一時保育利用者3人
子育てしながら働きた い方のためのセミナー (ビジネスマナー&メイ クアップセミナー)	令和8年3月9日	11	一時保育利用者1人

イ 厚生労働省東京労働局との共催事業

就職支援セミナー

令和7年5月22日 ほか 計10回 参加者延べ304人

ウ 東京都労働相談情報センター多摩事務所との共催事業

令和7年度労働者向けセミナー

令和8年3月6日 ほか 計2回 参加者延べ85人

エ 公益財団法人東京しごと財団との共催事業

(ア) しごたま就職面接会 in 調布

令和7年10月16日面接対策セミナー 参加者49人

令和7年10月17日就職面接会 参加者52人

(イ) しごたま就職面接会 i n 武蔵野

令和 8 年 2 月 2 0 日 参加者 7 7 人

(ウ) しごたま就職面接会 i n 八王子

令和 7 年 7 月 1 1 日 参加者 1 4 2 人

(エ) 令和 7 年度シニア就業支援キャラバン事業（シニアおしごとフェア i n 調布市）

令和 8 年 2 月 4 日 参加者 1 2 6 人

オ 東京都産業労働局との共催事業

令和 7 年度 女性デジタルカレッジ事業（入門コース）W o r d ・ E x c e l 基礎科

令和 7 年 7 月 2 2 日から令和 8 年 2 月 6 日まで 参加者 4 0 人（一時保育利用者 1 人）

(2) 街頭労働相談

労働問題全般についての意識啓発を図るため、労働法に関する知識や、情報の提供を行い、資料の配布や説明及び相談会を実施するもの

三鷹労働基準監督署、ハローワーク府中、府中年金事務所、多摩職業能力開発センター府中校、公益財団法人東京しごと財団、東京都労働相談情報センター多摩事務所と連携し、例年、相談会を調布駅前広場で実施している。

年度	来場者数(人)	相談件数(件)
※5		
※6	1, 328	32
※7		

※ 調布駅前広場の工事に伴い、令和 5 年度及び令和 7 年度は町田市及び立川市で実施

※ 調布駅前広場の工事に伴い、令和 6 年度は仙川駅前で実施

2 勤労者福利厚生の充実 予算科目（款・項・目）2 5 ・ 0 5 ・ 0 5 〔決算書 2 8 9 ページ〕

市内中小企業で働く勤労者の福利厚生 of 充実を図るため、調布市勤労者互助会の事業費等の補助を行うもの

調布市勤労者互助会への補助

勤労者の福利厚生 of 充実と従業員 of 定着化を図るため、勤労者互助会補助金を交付した。

補助金額 1 4 , 9 2 2 , 0 0 0 円

年度	勤労者互助会事業所数(箇所)	勤労者互助会会員数(人)
5	497	3, 360
6	502	3, 410
7	515	3, 537

(各年度 3 月 3 1 日時点)

3 雇用対策（ハローワーク府中等との連携事業） 予算科目（款・項・目）2 5 ・ 0 5 ・ 0 5

〔決算書 2 8 9 ページ〕

就労を支援するため、相談員が就労相談、情報提供等を実施するもの

(1) ハローワーク府中 調布国領しごと情報広場

年度	来所者数 (人)	新規求職申込件数 (件)	紹介件数 (件)	就職件数	
				(件)	うち市内在住者(人)
5	15, 122	3, 654	4, 515	874	530

	(2, 221)	(817)	(532)	(237)	(148)
6	13, 832 (2, 469)	3, 544 (813)	4, 115 (551)	843 (241)	573 (158)
7	14, 189 (2, 131)	3, 661 (637)	4, 569 (484)	836 (226)	547 (138)

(括弧内は、マザーズコーナー利用による内数。平日の午前9時から午後5時まで実施)

(2) マザーズコーナーにおける面接用スーツ等の貸出事業

(単位：人)

年度	貸出人数	内採用者数
5	31	25
6	31	25
7	27	22

(3) 高齢者雇用促進事業

シニア世代これからの生き方・働き方セミナー

令和7年5月22日 参加者39人

令和7年7月24日 参加者39人 2回合計 78人

4 地域若者サポートステーション事業

予算科目(款・項・目) 25・05・05

[決算書289ページ]

厚生労働省の委託事業として、受託団体の特定非営利活動法人育て上げネットが、若者の職業的自立支援として実施するもの

ニートやひきこもり、高校中退者や大卒の進路未決定者、未就労者や仕事が長続きしない方など、働くことに悩みを抱えている15歳から49歳までの若者の就労や自立に向けた支援を行った。また、働くことに不安を抱えている子どもを持つ保護者からの相談にも対応した。

年度	来所者数(人)	相談件数(件)	新規登録者数(人)	進路決定者数(人)
5	1, 182	1, 647	165(78)	104(46)
6	1, 196	1, 456	129(78)	111(59)
7	1, 148	1, 432	160(81)	122(60)

(括弧内は、市内在住者数)

(1) 職場体験

若者の職業的自立支援を目的として、ちょうふ若者サポートステーションとともに、職場体験事業の実施を支援した。受付業務、物販準備、調理、一般事務等の体験を通じて、参加者の仕事に対する不安や疑問を軽減し、令和7年度は、16人中8人の就労につなげた。

年度	実施場所	対象者	体験人数 (延べ人数)
5	市内事業所等 計11箇所	15歳～49歳	21
6	市内事業所等 計7箇所	15歳～49歳	18
7	市内事業所等 計8箇所	15歳～49歳	16

(2) 保護者セミナー「大学中退からの6年 母が迎えた3つの転機」

実施日 令和7年12月6日

参加人数 39人(オンライン参加 25人を含む。)

ひきこもり経験を持つ子供の保護者によるトークセッション。セミナー参加者は保護者としての経験や課題を共有し、今後の支援や関わり方について理解を深める機会になった。今セミナーをきっかけに、2人の保護者がサポステの保護者相談へつながった。

5 商工業振興 予算科目（款・項・目）35・05・10 [決算書297～299ページ]

地域経済の活性化を図るため、市内事業者、商店会及び調布市商工会等の取組や事業の支援を行うもの

(1) 中小企業事業資金融資あっせん事業

市内の中小企業が、事業経営に必要な事業資金を有利な条件で受けられるよう、取扱金融機関に融資のあっせんを行うもの

市ホームページで融資に関する情報提供を行うほか、パンフレットを窓口等に備えるとともに、金融機関を通じて宣伝普及に努めた。

新型コロナウイルスの流行により、経営に影響を受けている市内事業者を対象に、緊急措置として、既存の融資あっせん制度の拡充を令和2年度から継続し、対象要件の緩和や申請口数の増、当初3年間の利子補給及び信用保証料の全額補助等を実施した。

また、令和5年度からは、物価高騰により、経営に影響を受けている市内事業者も当該拡充内容の対象とした。

ア 取扱金融機関

銀行10支店、信用金庫12支店

イ 貸付利率

金融機関と利用者の間で締結する融資契約の融資実行日の長期プライムレート利率。2分の1を市が負担し、事業者の負担軽減を図った（制度拡充対象分を除く）。

ウ 拡充内容

申請口数増（2口→3口）、利子補給補助（融資利率の2分の1→当初3年間全額）、信用保証料補助（2分の1→全額）、据置期間（最長6箇月→12箇月）

年度	件数(件)	金額(円)
5	3,487 (1,435)	48,100,076 (31,166,942)
6	3,538 (1,431)	48,638,448 (26,566,602)
7	3,554 (1,385)	52,414,924 (24,426,546)

※ 利子の補助は、上期と下期に分けて交付。件数は上期と下期の交付件数の合計（括弧内は制度拡充対象分）。

エ 信用保証料の補助により、事業者の負担軽減を図った。

年度	件数(件)	金額(円)
5	256 (101)	28,250,993 (15,630,289)
6	282 (68)	25,829,246 (8,663,327)
7	269	26,046,058

	(61)	(8, 880, 725)
--	------	---------------

※ 括弧内は制度拡充対象分

オ 貸付状況

(ア) 当該年度内の融資実行件数合計 ((イ)法人+(ウ)個人)

年度	件数(件)	金額(千円)
5	335 (100)	1, 971, 550 (635, 910)
6	303 (64)	1, 802, 980 (370, 400)
7	296 (67)	1, 642, 009 (411, 029)

※ 括弧内は制度拡充対象分

(イ) 法人

区分	5 年度		6 年度		7 年度	
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)
運転資金	120	818, 300	105	712, 620	102	613, 600
設備資金	16	104, 260	18	132, 390	23	98, 490
併用資金	7	55, 600	15	135, 000	10	45, 250
開業資金	4	15, 650	22	124, 500	20	124, 350
制度拡充 対象分	79	569, 410	48	327, 400	58	451, 029
合計	226	1, 563, 220	208	1, 431, 910	213	1, 332, 719

(ウ) 個人

区分	5 年度		6 年度		7 年度	
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)
運転資金	45	152, 470	40	154, 700	36	103, 500
設備資金	26	105, 710	18	105, 430	20	78, 990
併用資金	5	38, 020	6	24, 800	4	32, 900
開業資金	12	45, 630	15	43, 140	9	32, 000
制度拡充 対象分	21	66, 500	16	43, 000	14	61, 900
合計	109	408, 330	95	371, 070	83	309, 290

※ 併用資金：運転資金と設備資金を同時に融資あつせんする制度

カ 調布市中小企業事業資金融資あつせん制度説明会

開催日 令和 8 年 3 月 6 日

取扱金融機関 2 2 店舗に対し、調布市中小企業事業資金融資あつせん制度の改正、注意事項や諸手続の情報共有を図った。

(2) セーフティネット保証及び危機関連保証制度の認定事務

全国的に業況の悪化している指定業種に属し、経営の安定に支障が生じている等の中小企業

者が、信用保証協会の一般保証枠とは別枠で保証を受ける際に、中小企業信用保険法第2条第5項及び第6項の規定により、市が認定を行うもの

年度	認定件数(件)
5	83
6	24
7	5

(3) 調布市商工会への支援

市内の商工業の発展と振興を図ることを目的として、調布市商工会事業を補助するもの

市内飲食・小売・サービス業の周知機会の確保及び消費喚起を図ることを目的に、市内の対象店舗で利用できるプレミアム付き商品券を販売する「バイ調布チケット事業」のほか、商工業者による物品販売・PR等を行う「調布市商工まつり」等の市内の商工業発展等に寄与する取組を実施した。

年度	補助金額(円)
5	61,376,930
6	63,126,841
7	57,649,280

(4) 公衆浴場施設整備補助及びイベント支援

市内公衆浴場は、深大湯、梅の湯、神代湯及び鶴の湯の4か所（令和7年4月1日時点）

ア 施設整備補助

公衆浴場が市民の保健衛生の確保に果たす社会的役割を考慮し、存続に向けた経営支援により、市民生活の向上に寄与することを目的に、施設整備に要する経費の一部を補助するもの

年度	浴場名	改修内容	補助金額(円)
5	深大湯	ハイブラブロワー取替工事	136,000
	梅の湯	歩行浴ジェットポンプ及びヘアーキャッチャー交換工事 ほか1件	338,000
	神代湯	耐震対応施設什器製作取付工事	400,000
	鶴の湯	脱衣場エアコン交換工事	400,000
	合計		1,274,000
6	深大湯	露天中継ポンプ及びカラン部品取替工事	192,000
	梅の湯	ジェットポンプ及びヘアーキャッチャー交換等工事 ほか1件	400,000
	神代湯	汚雑排水槽排水ポンプ交換工事	400,000
	鶴の湯	サウナ設備取替工事及び男女洗い場鏡取替工事	400,000
	合計		1,392,000
7	深大湯	男女露天風呂東屋改修工事	536,000
	梅の湯	トイレ工事 ほか3件	600,000
	神代湯	ラインポンプ取替工事 ほか1件	600,000
	鶴の湯	サウナ設備等設置工事	600,000
	合計		2,336,000

イ イベント支援

公衆浴場の活性化を目的に、それに資するイベント等を支援するもの

過去３年実績なし

(5) 政策課題対応型商店街事業

東京都が直面する行政課題の解決につながる商店街の取組を支援するため、その経費の一部を補助するもの

過去３年実績なし

※ 政策課題対応型事業とは、環境負荷の低減や防災・防犯、国際化への対応等、都が直面する行政課題の解決につながる商店街等の取組を支援するものである。

《環境》街路灯のＬＥＤランプへの交換、ＬＥＤ街路灯設置等

《防災・防犯》アーケード、アーチの撤去、耐震調査・補強、民間交番の設置等

《福祉》バリアフリートイレの設置、おむつ替え等のスペース・設備の設置等

《物流》共同荷捌きスペース・付帯施設の設置

《国際化対応》外国人観光客受入れのための施設・設備の設置

《買物弱者支援事業》宅配サービス、送迎サービス、移動販売等

《再エネ・省エネ》街路灯のＬＥＤランプへの交換等

(6) 商店街街路灯等維持・撤去事業

商店会が所有する街路灯等の電気料金、維持及び撤去に係る経費の一部を補助するもの

年度	街路灯等の電気料金		街路灯等の維持		
	商店会数	補助金額(円)	商店会名	内容	補助金額(円)
5	20	3,290,000	つつじヶ丘商店会	街路灯撤去工事	105,000
			柴崎駅商店会	街路灯撤去工事	88,000
6	20	3,207,000	上布田商栄会	街路灯撤去工事	150,000
7	19	3,497,000	-	-	-

※ 補助対象商店会 １９商店会

調布銀座商栄会協同組合、西調布一番街、若葉商友会、柴崎駅商店会、上布田商栄会、西調布振興会、つつじヶ丘商店会、天神通り商店会、仙川商店街協同組合、調布百店街、富士見街商店会、上の原商店会、小島商栄会、深大寺通り商店会、梅の湯商店会、不動商店会、調布中央商店会、布田南商店会、野ヶ谷中央商店会

(7) 商店街チャレンジ戦略支援事業

調布市商店街チャレンジ戦略支援事業補助金交付要綱に基づき、イベント事業及び活性化事業を実施する地域の商店街等に対し、必要な補助をすることにより、中小商業の経営の安定と発展及び地域経済の活性化に寄与することを目的とするもの

ア 商店会数

年度	商店会数
5	26
6	26
7	26

イ イベント事業

年度	商店会数	事業数	補助金額(円)
5	15	23	13,486,000

6	12	20	12,968,000
7	12	20	12,949,000

ウ イベント一覧

実施月	商店会名	イベント名
6	国領商盛会	サマーフェスティバル in 国領 2025 中元大 売出し「夏まつり抽せん会」と「第 37 回国 領駅前盆踊り大会」
7	つつじヶ丘商店会 天神通り商店会 調布銀座商栄会協同組合 深大寺そば組合	つつじヶ丘ふれあい夏まつり 天神通り七夕祭り 納涼夕市 深大寺夕涼み謎解き 2025
8	仙川商店街協同組合 柴崎駅商店会 不動商店会	おらほせんがわ夏祭り 柴崎駅周辺ぶいぶい納涼 Bon 祭り ハッピーまつり
9	上布田商栄会 天神通り商店会	2025 年度 上布田商栄会 福引大会 & 謎解き 天神通り子供神輿
10	仙川商店街協同組合 調布中央商店会 深大寺表参道商店会 布田南商店会	ハッピーハロウィンせんがわ 調布中央商店会スタンプセール 青空へそ市 布田南商店会感謝祭
11	国領商盛会 つつじヶ丘商店会 柴崎駅商店会 不動商店会 深大寺そば組合	X'mas フェスティバル in 国領 2025 歳末大売 出し「クリスマス抽せん会」と「イルミネー ション」 歳末福引感謝セール 第 20 回柴崎駅周辺クリスマスイブ☆イブ祭 り イルミネーション 第 44 回 深大寺そばまつり
1	調布銀座商栄会協同組合	調布銀座雪まつり

エ 活性化事業

年度	商店会名	内容	補助金額(円)
5	富士見街商店会 調布銀座商栄会協同組合	アーチ看板改装 電飾案内看板設置	1,319,000 539,000
	合計		1,858,000
6	調布銀座商栄会協同組合 天神通り商店会	LED 街路灯頭部改装 街路灯建て替え工事	5,269,000 4,620,000
	合計		9,889,000
7	天神通り商店会	街路灯建て替え工事	3,226,000
	合計		3,226,000

(8) 地域産業振興事業

ア まちゼミ

調布まちゼミ実行委員会が企画し、商店会の店舗など市内のお店が講師となり、専門知識やプロならではのコツを受講者（客）へ無料で提供する、少人数制ゼミの開催を引き続き支援した。

年度	店舗数	講座数	参加者数 (人)	補助金額 (円)
5	15	23	155	184,000
6	29	38	255	242,000
7	43	55	204	170,000

イ 半券サービス事業

調布駅前から盛り上げる会（通称：エキモリ会）が企画し、調布駅前商店街が中心となって実施している半券サービス事業について、調布駅周辺の回遊性の向上のため、引き続き支援した。

年度	事業名	補助金額(円)
5	半券サービス事業	500,000
6	半券サービス事業・参加店マップ作成	500,000
7	半券サービス事業	500,000

ウ ゲゲゲ忌連携事業

ゲゲゲ忌の期間に合わせて、調布駅前商店街が独自に実施している連携事業について、調布駅周辺の商店会への集客及び回遊性の向上のため、引き続き支援した。

年度	事業名	補助金額(円)
6	「だるま絵」ポスター作成事業	68,000
7	「だるま絵」ポスター及び街路灯フラッグ作成・設置事業	493,000

(9) 市内商業活性化の取組

ア 市内商店会活性化の支援

市内の26商店会について、調布市商工会と連携し、各商店会の特性と現状の把握、課題を抽出し、商店会活性化に向けて支援した。

イ 調布CMの制作

城西国際大学メディア学部の学生が地域との協働の取組をテーマに、授業の一環として、市内商店会と連携し、商店会をPRするコマーシャルを制作するもの

年度	商店会名
5	上布田商栄会、深大寺表参道商店会、調布銀座商栄会協同組合、つつじヶ丘商店会、天神通り商店会
6	富士見街商店会、布田南商店会、西調布一番街
7	柴崎駅商店会、布田南商店会、神代団地商店会

ウ 地域経済対策会議

市内経済の状況について、市内事業者の意見を伺い、実情を把握するとともに、行政（国・東京都・調布市）が実施している支援策を事業者・行政間で情報共有し、地域経済の活性化に向けた市独自の事業者支援策、消費喚起策の検討を行うもの

(ア) 第1回

a 開催日 令和7年6月19日

- b 構成等出席者 調布市商工会 8 人、市内金融機関 3 人、市 2 人
- c 議題
 - (a) 事業者支援策等の取組状況について
 - (b) 市内事業者の現状について
- (イ) 第 2 回
 - a 開催日 令和 7 年 9 月 1 2 日
 - b 構成等出席者 調布市商工会 9 人、市内金融機関 1 人、市 2 人
 - c 議題
 - (a) 事業者支援策等の取組状況について
 - (b) 市内事業者の現状について
- (ウ) 第 3 回
 - a 開催日 令和 8 年 3 月 1 2 日
 - b 構成等出席者 調布市商工会 8 人、市内金融機関 3 人、市 2 人
 - c 議題
 - (a) 事業者支援策等の取組状況について
 - (b) 今後の事業者支援の取組について
 - (c) 市内事業者の現状について

6 調布市プレミアム付デジタル商品券事業

予算科目（款・項・目） 35・05・11

〔決算書 299 ページ〕

調布市商工会が実施する、プレミアム付 P a y P a y デジタル商品券事業（調布市プレミアム付デジタル商品券事業）を支援するもの

なお、令和 7 年度は、令和 8 年度の事業実施に向け商品券販売に係るシステム費、広報費、運営に係る人件費等の事務費について商工会への補助を行った。

補助金額 4, 996, 200 円（事務費）

※令和 8 年度については、令和 7 年度予算の繰越明許として実施

(1) 対象者

商品券購入日時時点で 18 歳以上の市民で、P a y P a y アプリでの本人確認が完了している方

(2) 商品券概要

一口 6, 500 円分の商品券を 5, 000 円で販売（プレミアム率 30%）

ア 発行口数：20 万口

イ 商品券購入期間：令和 8 年 5 月 28 日から 6 月 30 日まで

ウ 商品券利用期間：令和 8 年 5 月 28 日から 9 月 30 日まで

7 調布市市内事業者物価高騰支援事業（繰越明許事業）

予算科目（款・項・目） 35・05・11

〔決算書 299 ページ〕

調布市商工会が実施する、物価高騰の影響を受ける市内事業者を対象とした燃料費、電気料金及びガス料金に対する補助事業を支援するもの

なお、令和 5 年度から同事業を実施しており、本事業は第 3 弾となる。

補助金額 301,447,314円（うち事務費 21,375,314円）

※ 第2回申請受付分。第1回申請受付分は令和6年度予算として実施

(1) 対象者

以下の全てに該当する事業者

ア 調布市内に事務所又は事業所を有する事業者（法人又は個人事業主）であること

イ 令和6年4月から令和7年3月までの期間に事業用途として燃料、電気、ガスを使用していること

ウ 申請時点で事業を営んでおり、今後も事業継続の意思があること

(2) 補助対象経費

令和6年4月から令和7年3月までの期間に事業用途として使用した燃料費、電気料金、ガス料金のうち、任意の1か月分を6倍した金額（半年分としてみなすため）

(3) 補助額

補助対象経費の20%（1,000円未満の端数は切捨て）又は補助上限額のいずれか低い額

(4) 補助限度額

法人：30万円 個人事業主：10万円

(5) 申請受付期間

ア 第1回申請受付期間 令和7年3月3日から同月19日まで

イ 第2回申請受付期間 令和7年3月20日から同年5月30日まで

(6) 交付実績

ア 第1回申請受付分（令和6年度予算）

	法人	個人事業主	総計
給付件数(件)	57	43	100
給付金額(円)	7,233,000	2,694,000	9,927,000

イ 第2回申請受付分

	法人	個人事業主	総計
給付件数(件)	1,408	1,565	2,973
給付金額(円)	208,466,000	71,606,000	280,072,000

8 調布市市内事業者物価高騰支援事業

予算科目（款・項・目）35・05・11

〔決算書299ページ〕

調布市商工会が実施する、長引く物価高騰の影響を受ける市内事業者を対象とした燃料費、電気料金及びガス料金に対する補助事業を支援するもの

第2回申請受付分（令和6年度予算繰越明許事業）のうち、申請受付期間において、当初予算額を超える申請があったため、市内事業者に対する支援の機会をより確保することを目的に、市内事業者への補助金原資分として、調布市商工会へ追加補助を行った。

補助金額 7,732,000円

交付実績

	法人	個人事業主	総計
給付件数(件)	45	47	92

給付金額(円)	5,827,000	1,905,000	7,732,000
---------	-----------	-----------	-----------

9 産業労働支援センター事業

予算科目（款・項・目） 35・05・13

〔決算書299ページ〕

創業を志す人や経営課題を解消したい人を支援するため、創業経営相談や各種セミナーの開催、インキュベーション施設（スモールオフィス）の運営を行うもの

(1) 創業等相談・テーマ別個別相談・融資個別相談の実施

ア 創業等相談

創業時の資金、販路、法律、税務等の相談から、創業間もない時の融資、労務、マーケティング等の様々な疑問・質問に対して、中小企業診断士等の資格を有する調布市経営アドバイザーが相談に対応した。

相談件数 874件

イ テーマ別個別相談

経営に役立つテーマとして、毎月の「労務相談」、「女性起業相談」等のほか、シニア向けの創業準備相談会も開催した。

相談件数 264件

ウ 融資個別相談

日本政策金融公庫三鷹支店の協力を得て、毎月開催した。

相談件数 9件

エ 多摩信用金庫相談員による創業経営相談

毎週水曜日に、様々な経営課題の解決を目的とした創業経営相談として、個別相談を実施した。

相談件数 85件

オ e-プロジェクト（特定創業支援等事業）

産業競争力強化法に基づく地域における創業の促進を目的として、創業に必要な経営、財務、人材育成、販路開拓に関する知識を習得したと認める者に、習得を証する証明書を発行した。

証明書発行件数 44件

カ 事業承継個別相談

東京都多摩地域事業承継・引継ぎ支援センターの協力を得て実施した。

相談件数 1件

キ 事業者向け税務相談

東京税理士会武蔵府中支部と連携し、事業者向けの個別相談を実施した。

相談件数 22件

(2) セミナー・講演会の実施

創業・経営における考え方や準備・手順等に関するテーマで、セミナー・講演会を実施した。

講師 調布市経営アドバイザー、外部講師等

会場 調布市市民プラザあくろす

	実施日	実施時間	テーマ	参加者数 (人)
--	-----	------	-----	-------------

1	令和7年5月17日 ～7月26日(全6回)	午前9時30分 ～午後4時30分	絶対創活塾(第29期)	8
2	令和7年8月23日	午後1時 ～4時30分	実践ネットショップセミナー	10
3	令和7年9月6日 ～11月22日(全6回)	午前9時30分 ～午後4時30分	絶対創活塾(第30期)	7
4	令和8年2月7日	午前10時 ～午後5時	簿記知識なしでも1日で経営分析できるセミナー	10
5	令和8年2月17日	午後3時～4時	人材育成関連セミナー	3
6	令和8年2月20日	午前10時 ～正午	女性のための起業セミナー	22
セミナー・講演会等の実施件数		6件	参加者合計人数	60

(3) 創業支援施設入居者の募集及び審査の実施

産業労働支援センター内に設置している創業支援施設スモールオフィスの入居者を市報等で募集し、審査・選考した。

募集部屋 スモールオフィス2号室及び7号室

入居審査 令和7年4月25日

応募者 3社

入居決定者 2社

号室	企業名	事業内容
2	(株)深澤事務所 WFM コンサルティング	労務コンサルタント等
7	(株)Imagnetor	製造業

募集部屋 スモールオフィス3号室

入居審査 令和7年8月19日

応募者 1社

入居決定者 1社

号室	企業名	事業内容
6	個人	行政書士

(4) 創業チャレンジ支援事業実施

市内にある空き店舗等を活用して創業しようとする人又は創業して間もない人に対して、店舗賃借料の月額2分の1、1箇月当たり上限で7.5万円を補助して市内創業支援を行うもの希望者を市報等で募集し、審査・選考した。

審査日 令和7年5月22日

応募者 13人

補助対象者 8人

(富士見町：ページル販売、布田：飲食店2件、国領町：飲食店2件、下石原：エステ、仙川町：飲食店2件)

(5) 見本市等出展支援事業

見本市等に出展し、販路開拓、販路拡大を目指す市内の中小企業等を支援するため、見本市

等の出展費用の一部の補助を行うもの

年度	交付事業所数	見本市名	補助金額(円)
5	1	2023 地球温暖化防止展	100,000
6	申請なし		
7	3	第 54 回国際電子回路産業展 JPCA	37,000
		Show 2025 PLUG IN Editorial	63,000
		インテリアライフスタイル	100,000

(6) 金融機関と連携した中小企業支援事業

中小企業等に対するきめ細かな支援策を有する金融機関と連携し、調布市における中小企業等の振興及び地域経済の活性化を図るもの

ア 多摩信用金庫との連携事業

平成 24 年 2 月 20 日「中小企業等支援に関する包括協定」締結

多摩信用金庫調布支店及び調布北口支店において、店頭にて情報提供を実施した。あわせて、産業労働支援センター内に設置している広報スタンド等を活用し、信用金庫が実施するセミナーや各種情報等を市民へ周知した。

イ 三井住友銀行との連携事業

平成 26 年 3 月 25 日「中小企業等支援に関する包括協定」締結

ウ りそな銀行との連携事業

平成 26 年 3 月 27 日「中小企業等支援に関する包括協定」締結

りそな銀行調布支店において、広報スタンド等を活用し、市からの情報提供を行った。あわせて、産業労働支援センター内に設置しているりそな銀行の広報スタンド等を活用し、銀行からの各種情報等を市民に周知した。

エ みずほ銀行及びみずほ信託銀行との連携事業

平成 26 年 5 月 27 日「中小企業等支援に関する包括協定」締結

みずほ銀行調布支店及び調布仙川支店において、広報スタンド等を活用し、市からの情報提供を行った。あわせて、産業労働支援センター内に設置しているみずほ銀行の広報スタンド等を活用し、銀行からの各種情報等を市民に周知した。

オ 昭和信用金庫との連携事業

昭和信用金庫多摩川支店及びつつじが丘支店において、広報スタンド等を活用し、市からの情報提供を実施した。あわせて、産業労働支援センター内に設置している昭和信用金庫の広報スタンド等を活用し、各種情報等を市民に周知した。

カ 西武信用金庫との連携事業

平成 27 年 9 月 17 日「中小企業等支援に関する包括協定」締結

(ア) 広報スタンドを活用した情報提供

西武信用金庫柴崎駅前支店において、広報スタンド等を活用し、市からの情報提供を実施した。あわせて、産業労働支援センター内に設置している西武信用金庫の広報スタンド等を活用し、信用金庫からの各種情報等を市民に周知した。

(イ) ビジネスフェアの開催

開催日 令和 7 年 11 月 26 日

中小企業のビジネスチャンス拡大を目的とする多業種企業による企業展示・マッチン

グ会。令和7年度は新宿住友ビル三角広場で展示会及びセミナー等を開催した。

(7) 特定創業支援機関連絡会議

開催日 令和8年3月16日（書面開催）

創業支援事業計画に基づく、調布市における特定創業支援事業者4者（多摩信用金庫、日本政策金融公庫、調布市商工会、調布市）で、市内における創業・経営支援について情報共有を図った。

(8) 先端設備等導入計画の認定

中小企業等経営強化法第52条第4項の規定により、2件を認定した。

10 観光に関すること

予算科目（款・項・目）35・05・15

〔決算書299～301ページ〕

(1) 調布花火

ふるさと調布の風物詩として親しまれている花火を実施することにより、市民にうるおいと憩いの場を提供し、併せて調布の観光振興及び市内消費の活性化に寄与することを目的として調布市花火実行委員会の活動を支援した。

市制施行70周年になぞった8号玉の70連発打上げや、「昭和100年」をテーマに音楽と花火がコラボレートした「ハナビリュージュン」、全国の花火職人からの祝意を込めた特別な花火玉を打上げる「匠の花火玉」を目玉として、調布ならではのプログラムで花火を盛り上げた。

補助金額 47,576,000円

ア 第40回調布花火

- (ア) 開催日時 令和7年9月20日 午後6時15分から午後7時15分まで
- (イ) 打上場所 調布市多摩川河川敷（二ヶ領上河原堰堤付近中州）
- (ウ) 総打上数 約1万発
- (エ) 打上号数 最大8号玉
- (オ) 来場者 約32万人
- (カ) 主催 調布市花火実行委員会
- (キ) 共催 調布市・調布市観光協会

イ 第40回調布花火フォトコンテスト

- (ア) 応募作品 132点
- (イ) 展示期間 令和7年12月9日から同月15日まで
- (ウ) 展示場所 文化会館たづくり11階 みんなの広場

(2) 「映画のまち調布」の推進

ア 調布市主催イベント

(ア) 調布市制施行70周年記念第19回高校生フィルムコンテスト in 映画のまち調布

高校生が制作した映画・映像作品のコンテストで、将来の映画産業で活躍する人材が輩出されることを目的に開催した。市制施行70周年を記念として、高校生らしいチームワークが伝わる作品を「市制施行70周年記念賞」として表彰した。受賞校には、副賞として市制施行70周年記念「ガチャラ」オリジナルボトル等を進呈した。

- a 日時 令和7年11月1日 午後2時から午後6時まで
- b 会場 文化会館たづくり東館2階 くすのきホール
- c 来場者数 約110人

d 審査員

- (a) 映画のまち調布 シネマフェスティバル2026 実行委員長 佐伯 知紀
- (b) 録音監督 藤林 繁
- (c) プロデューサー 天馬 少京
- (d) 編集技師 日下部 元孝
- (e) イオンシネマ シアタス調布 総支配人 羽藤 司

e 司会 高寺 成紀

f 受賞作品・受賞者

- (a) 最優秀作品賞 「私情メカニズム」 成城学園高等学校メディアアート部3年生
- (b) 優秀作品賞 「REVENGE HEROES」
成城学園高等学校メディアアート部2年生
- (c) 市制施行70周年記念賞 「IF NOTE 魔法のノートを手に入れたので学校生活無双します。」 調布南高等学校3年C組
- (d) 審査員特別賞 「スイートピー」 三鷹中等教育学校3年生
- (e) 演技賞 調布南高等学校3年E組「調南桜」の出演者

g 副賞

- (a) 最優秀作品賞 トロフィー、「イオンシネマ シアタス調布」映画無料鑑賞券、「映画のまち調布 シネマフェスティバル2027」での作品上映、市制施行70周年記念「ガチャラ」オリジナルボトル
- (b) 優秀作品賞 トロフィー
- (c) 市制施行70周年記念賞 トロフィー、市制施行70周年記念「ガチャラ」オリジナルボトル
- (d) 審査員特別賞 トロフィー
- (e) 演技賞 トロフィー、「イオンシネマ シアタス調布」映画無料鑑賞券

h 出品数

全5校、13作品

- (a) 調布南高等学校（調布市） 6作品
- (b) 明治大学付属明治高等学校（調布市） 1作品
- (c) 明星学園高等学校（三鷹市） 3作品
- (d) 三鷹中等教育学校（三鷹市） 1作品
- (e) 成城学園高等学校（世田谷区） 2作品

(イ) 映画のまち調布 シネマフェスティバル2026

映画制作の技術を未来につなげる映画祭。映画制作の技術スタッフや監督によるトークショー付きの映画上映会、展示、ワークショップ等、様々なイベントを開催した。「人気投票×映画技術者」の選考で受賞者を決定する「第8回映画のまち調布賞」授賞式では、市民投票で候補作品を選定のうえ、撮影・照明・録音・美術・編集の各部門において、その部門のプロで構成された選考委員会での審査により、それぞれ受賞作品を決定し、「映画のつくり手」を表彰した。

a 第8回映画のまち調布賞

市民による投票と選考委員会で受賞者を決定する、主に映画制作の現場を支える技術者へ贈る映画賞。イオンシネマ シアタス調布のエントランスを含む、市内各所に投票箱を設置するとともに、投票促進のためのキャンペーンを実施した。作品賞には、「はたら

く細胞」が選ばれた。

- (a) 投票期間 令和6年11月22日から令和7年9月3日まで
- (b) 投票対象 市内在住・在勤・在学の方、イオンシネマ シアタス調布来場者
- (c) 対象作品 令和6年9月1日から令和7年8月31日までに国内の商業映画劇場において、有料で公開された日本映画
- (d) 賞の種類 技術部門各賞（撮影賞／照明賞／録音賞／美術賞／編集賞）、作品賞、特別賞
- (e) 投票総数 11,777票
- (f) 有効投票作品数 201作品

b 高校生フィルムコンテスト・調布ジュニア映画塾上映会

「第19回高校生フィルムコンテスト上映会 in 映画のまち調布」上映審査会の最優秀作品賞受賞作品と「第16回調布ジュニア映画塾」にて制作した映画作品の上映会を実施した。

- (a) 日程 令和8年2月23日
- (b) 会場 文化会館たづくり東館8階 映像シアター
- (c) 上映作品
 - ①「第19回高校生フィルムコンテスト上映会 in 映画のまち調布」最優秀作品賞受賞作品「私情メカニズム」
 - ②「第16回調布ジュニア映画塾」制作作品「洗脑中」
- (d) 参加費 無料
- (e) 来場者数 70人

c 「映画のまち調布」みんなのワークショップ

映画・映像業界のプロ監修の下、撮影・照明・録音・美術・演出の各チームに分かれて、特設セットの中で、短編映画の撮影体験ができるワークショップを開催した。

ワークショップの後半2日間は、一般の方にも撮影の様子を公開した。

- (a) 日程 令和8年2月22日・23日、同月28日、同年3月1日
- (b) 会場 文化会館たづくり東館1階 むらさきホール
- (c) 参加人数 19人
- (d) 見学者数 740人

イ 調布市共催イベント

(ア) 第56回「照明まつり」

映画・映像分野における「照明」技術の認知度向上を目的とした、優れた照明技術を持つドラマ・映画・CM等の映像作品の授賞式及び会員企業による最新照明機材の展示会を実施するもの

- a 日程 令和7年6月4日
- b 会場 グリーンホール 大ホール
- c 来場者数 170人
- d 参加費 無料
- e 主催 協同組合日本映画・テレビ照明協会

(イ) 第16回調布ジュニア映画塾

中学生を対象に、プロの映画監督が、脚本から撮影、編集までを指導する映画づくりのワークショップ。脚本、監督、助監督、撮影、録音、照明、編集、俳優などの役割を、受

講者が交代で担当しながら短編映画を制作し、完成した作品の上映会を実施した。

a 日程 制作活動期間 令和7年7月27日から同年8月11日まで（8日間）

上映会 令和7年9月27日

b 会場 文化会館たづくり東館 会議室、8階映像シアター ほか

c 受講者数 15人

d 参加費 無料

e 作品名 「洗脑中」

f 主催 調布市観光協会

(ウ) 「みる」子どもたちと映画寺子屋上映会

育児等で忙しく、ゆっくり外出ができない保護者と子どもを対象に、市民団体が開催する上映会

映画鑑賞を通じて映画に親しみ、子どもたちの映画デビューを支援するとともに、同じ環境の親同士が集うことで、新たなつながりをつくることを目的とする。

a 会場 文化会館たづくり東館12階 大会議場

b 参加費 無料

c 主催 子どもたちと映画寺子屋

	開催日	上映作品
第50回	令和7年5月7日	「やさしいライオン」
第51回	令和7年7月1日	※申込者がいなかったため中止
第52回	令和7年9月8日	「おこんじょうるり」
第53回	令和7年11月10日	※申込者がいなかったため中止
第54回	令和8年1月9日	「南無一病息災」

(エ) ちょうふ親子映画上映会

子どもたちの映画デビューの場となり、親子で楽しめる映画上映会と上映会に合わせた子ども向けのワークショップを実施した。

a 映画上映会

(a) 日程 令和8年2月22日

(b) 時間 ①午前10時半から午後零時45分まで

②午後1時半から午後3時45分まで

(c) 会場 グリーンホール 大ホール

(d) 上映作品 「おまえうまそうだな」

(e) 来場者数等 事前申込み

第1部900人 第2部700人

合計1,600人

(f) 主催 調布市観光協会

(g) 協力 子どもたちと映画寺子屋

b ワorkshop

(a) 日程 令和8年2月22日

(b) 時間 午前10時から午後4時まで

(c) 会場 グリーンホール 小ホール

(d) 内容 えいがのもと、ソーマトロップをつくってみよう！

きょうりゅうクッキーにいろをぬってみよう！

ティラノサウルスをつくってみよう！

あかいみをつけよう！

(e) 来場者数 450人

(f) 主催 調布市観光協会

(g) 協力 子どもたちと映画寺子屋

ウ その他事業

(ア) 映画・ドラマ等ロケ支援（フィルムコミッション事業）

「映画のまち調布」を積極的に推進するため、施設の使用手続等の窓口として、映画・ドラマ・CM等の撮影依頼を受け、公共施設等を撮影場所として提供することで、円滑な撮影が行われるよう支援した。

（単位：件）

年度	ロケ支援問合せ	ロケ支援実績
5	489	94
6	586	100
7	511	129

内容別ロケ支援実績

（単位：件）

内容		令和5年度	令和6年度	令和7年度
映画	商業映画	13	14	10
	非商業映画	13	16	15
	小計	26	30	25
テレビ	ドラマ	27	26	26
	バラエティ	8	11	19
	報道・情報番組	1	1	11
	その他番組（通販等）	2	3	2
	小計	38	41	58
CM		17	9	9
ウェブ配信ドラマ		7	9	15
ミュージックビデオ		1	6	16
スチール		3	0	3
その他		2	5	3
合計		94	100	129

(イ) 「映画のまち調布」PR映像「ガチョシアター」

イオンシネマ シアタス調布のプレアド（映画上映前の広告）による「映画のまち調布」のPRとして、「映画のまち調布」応援キャラクター「ガチョラ」を活用した動画を制作し、上映するもの

a 作品 「応援キャラクターはつらいよ！編」

b 上映開始日 令和7年4月4日

(ウ) 調布市「映画のまち調布」の推進に関する市民活動補助金

映画・映像関連企業が約40社集積する調布市の特性を生かし、市民等が実施する「映画・映像をつくる・楽しむ・学ぶ」機会となる活動に、100,000円を上限として補

助金を交付するもの

補助金額 126,000円

a 補助件数 2件(2団体)

b 補助対象事業名

	団体名	事業名	補助金額(円)
1	子どもたちと映画 寺子屋	「みる」子どもたちと映画寺子屋上映 会	26,000
2	こまち映画制作プ ロジェクトチーム (さくら子育てス テーション)	スマホで撮る『大好きな調布』子ども がつくる映像ワークショップ	100,000

(エ) イオンシネマ シアタス調布 プレアド上映

イオンシネマ シアタス調布の全11スクリーンにおいて、映画上映前の30秒間の広告
上映(プレアド)として、調布市の魅力発信映像を上映した。

期 間	内 容
令和7年4月11日～7月3日	「ガチョシアター 応援キャラクターはつらい よ!編」
令和7年7月4日～9月18日	「第40回調布花火」
令和7年9月19日～10月2日	「ガチョシアター 応援キャラクターはつらい よ!編」
令和7年10月3日～16日	「ゲゲゲ忌 2025 第1弾」
令和7年10月17日～11月6日	「ガチョシアター 応援キャラクターはつらい よ!編」
令和7年11月7日～20日	「ゲゲゲ忌 2025 第2弾」
令和7年11月21日 ～令和8年1月15日	「ガチョシアター 応援キャラクターはつらい よ!編」
令和8年1月16日～2月19日	「映画のまち調布シネマフェスティバル 2026」
令和8年2月20日～3月12日	「ガチョシアター 応援キャラクターはつらい よ!編」
令和8年3月13日～26日	「第14回調布CM第1弾」
令和8年3月27日～31日	「第14回調布CM第2弾」

(オ) 「映画のまち調布」紹介パンフレットの作成

「映画のまち調布」の施策やイベント、市内の映画・映像関連企業を紹介するパンフレ
ットを作成した。

a 発行日 令和8年3月31日

b 部数 6,000部

c 配布場所 産業振興課、市内公共施設等

(3) 調布市観光協会事業費補助金

歴史と映画のまち・文化芸術・スポーツ等の特色を有する調布市の観光事業の振興を図り、
産業の発展及び文化の向上に寄与することを目的として、調布市観光協会の活動を支援するも

の

補助金額 25,847,000円

ア 調布市観光協会 主催事業

	事業名	実施日	概要
1	深大寺観光案内所の運営・調布市観光ボランティアガイド活動	通年	調布市観光ボランティアガイドが、深大寺観光案内所を活動拠点として、多くの来訪者に対し、深大寺周辺及び調布市に関する案内や、深大寺周辺の無料ガイドツアーを実施するもの ガイド登録者数(令和8年3月31日時点) 39人 観光案内所利用者数(令和8年3月31日時点) 67,011人 ガイド件数(令和8年3月31日時点) 144件 ガイド利用者数(令和8年3月31日時点) 1,473人
2	調布観光写真の収集・提供	通年	調布の四季や各種イベントの開催時の写真撮影を行い、雑誌、新聞等の情報媒体からの依頼に対して、市内観光スポットの写真を提供
3	情報発信事業	通年	調布市を訪れる人へ観光情報を提供するため、ホームページやFacebook、X、Instagramを活用し、広く情報を発信
4	観光関連のパンフレットの頒布	通年	調布の魅力を発信するため、調布市観光マップ、深大寺散策マップ、深大寺さんぽ、深大寺周辺散策マップ(深大寺そば組合・深大寺奉賛会加盟店の御案内)等の観光関連パンフレットを頒布
5	ガチャラの出演等による「映画のまち調布」のPR	通年	平成29年8月27日に「映画のまち調布」応援キャラクターに任命された「ガチャラ」が様々なイベントに出演したほか、ガチャラをプリントしたステンレスボトルやアクリルスタンド等を作成
6	映画・ドラマ等ロケ支援(フィルムコミッション事業)	通年	(2)「映画のまち調布」の推進参照
7	市庁舎内における俳優等のサインの展示	通年	調布市と連携して、「映画のまち調布」の取組を広く周知するため、市庁舎2階エレベーター横壁面において、調布市が撮影支

			援を行った映画・ドラマ等に出演した俳優等のサインを展示
8	無料公衆無線 LAN (Wi-Fi) の環境整備	令和 7 年 6 月 2 日～令和 8 年 2 月 20 日	調布市外国人観光客等受入環境整備事業補助金を活用し、外国人観光客等の移動・滞在を支える情報取得及び発信の利便性を図るため、調布市内の飲食店を中心とした店舗等に無料公衆無線 LAN (Wi-Fi) の整備補助を実施したほか、調布駅前広場への無料公衆無線 LAN (Wi-Fi) の新規整備や、深大寺 Free Wi-Fi の機器更新を実施
9	「調布謎とき街めぐり」	令和 7 年 10 月 22 日～令和 8 年 2 月 12 日	「映画のまち調布」を推進する取組の一環として、過去に市内で撮影された映画等の「ロケ地」に加え、市内観光地を 1 日で回ることができる謎解きラリーを開催 参加者数：920 人
10	Chofu 70 th Anniversary FES (市制施行 70 周年記念イベント)	令和 7 年 10 月 26 日	市制施行 70 周年記念式典に合わせて、調布駅周辺で様々な催しを実施。雨天のため屋内での開催となったものの、「映画のまち調布」の PR を図り、映画やテレビで使った戦国時代や江戸時代のセットを再現し、甲冑の着付け体験や弓矢・居合切り体験を実施
11	「調布 Viva!Bravo!!」の発行	令和 7 年 11 月 20 日	市制施行 70 周年を記念して、地域に密着した観光情報や飲食店情報をまとめた観光冊子「調布 Viva!Bravo!!」を発行。市民のみならず、全国から多くの方が調布を訪れる大型イベントや市役所窓口等で配布し、市の知名度の向上及び誘客の促進を実施
12	第 41 回調布七福神めぐり	令和 8 年 1 月 7 日	市内 7 寺院の七福神を徒歩で回る新年の縁起行事。7 寺院のほか、深大寺のそば店、野川等市内の魅力ある観光スポットや自然を満喫するもの 参加者数 49 人
13	ちょうふ親子映画上映会	令和 8 年 2 月 22	(2)「映画のまち調布」の推進参照
14	調布市観光マップ改訂	令和 8 年 3 月	(6)観光情報紙の発行参照
15	深大寺散策マップ改訂	令和 8 年 3 月	(6)観光情報紙の発行参照

16	深大寺城跡で和を楽しもう。	令和 8 年 3 月 20 日	(4) 古刹・深大寺を核とする魅力の発信参照
----	---------------	-----------------	------------------------

イ 調布市観光協会 共催事業

	事業名	実施日	概要
1	「映画のまち調布」の推進	通年	(2)「映画のまち調布」の推進参照
2	街路灯バナーフラッグの掲示	通年	調布市と連携し「水木マンガの生まれた街 調布」や、「映画のまち調布」デザインのバナーフラッグを市内商店街、調布駅前広場等に掲示
3	古刹・深大寺を核とする魅力の発信	通年	(4) 古刹・深大寺を核とする魅力の発信参照
4	「水木マンガの生まれた街 調布」の推進	通年	(5)「水木マンガの生まれた街 調布」の推進参照
5	調布市観光 PR(多摩・都庁)	都庁：令和 7 年 7 月 17 日～31 日 多摩：令和 7 年 8 月 1 日～31 日	東京観光情報センター都庁及び多摩にて、調布市の観光PRを実施
6	第 40 回調布花火	令和 7 年 9 月 20 日	(1)調布花火参照
7	第 18 回境港妖怪検定	令和 7 年 10 月 5 日	調布市名誉市民・水木しげる氏の妖怪考察を通して、妖怪についての理解度をはかる検定試験。鳥取・境港会場と調布会場の 2 か所で開催 受験者数 270 人(うち合格者 149 人) ※ 調布会場(初級・中級)のみ 主催 境港商工会議所・境港市観光協会
8	ゲゲゲ忌 2025	令和 7 年 11 月 18 日～30 日	(5)「水木マンガの生まれた街 調布」の推進参照
9	第 40 回調布花火 フォトコンテスト	令和 7 年 12 月 9～15 日	(1)調布花火参照
10	京王線沿線 5 市(調布市・府中市・日野市・多摩市・稲城市)合同観光 PR	東京観光情報センター 都庁：令和 7 年 12 月 15 日～28 日 東京観光情報センター	(10)多様な主体と連携した観光情報の発信事業参照

		多摩： 令和 8 年 1 月 1 日～31 日	
11	深大寺城跡史跡講義	令和 8 年 3 月 20 日	(4) 古刹・深大寺を核とする魅力の発信参照

ウ 調布市観光協会 後援・協力事業

主に市内で行われる観光振興や市内経済の活性化に資するイベント等に対し、後援や協力を行うことで、市内回遊性の向上や市内経済の活性化を図った。

(単位：件)

年度	後援事業	協力事業
5	18	19
6	18	19
7	13	19

(4) 古刹・深大寺を核とする魅力の発信

深大寺だるま市や深大寺そばまつり等、古刹・深大寺を核とするイベントや、都立神代植物公園主催の各種イベントの開催を支援するとともに、調布市観光ボランティアガイド事業の支援等を実施し、深大寺地域の魅力を発信した。

ア 調布市観光ボランティアガイド事業

深大寺観光案内所を運営し、深大寺周辺及び調布市に関する情報を来訪者に案内するとともに、深大寺周辺の無料ガイドツアーを実施した。

登録ガイド人数 39人（令和 8 年 3 月 31 日時点）

(単位：人)

年度	観光案内所利用者数	無料ガイドツアー利用者数
5	47,141	1,914
6	45,865	1,513
7	67,011	1,473

※ 新型コロナウイルスの影響で令和 2 年 2 月 29 日から休止していた深大寺周辺の無料ガイドツアーを令和 4 年 6 月から再開。また、令和 6 年 2 月から深大寺周辺の定期ガイドツアー（毎月第 1・3 土曜日）を再開

イ 深大寺城跡で和を楽しもう。

子どもから大人まで楽しめる甲冑体験、ワークショップ（だるま作り・縁日コーナー）の各ブースを設け、「国指定史跡深大寺城跡」を舞台に、「和」を体験できるイベントを開催。あわせて、留学生・外国人・帰国子女・その他海外とネットワークがある人を対象に、深大寺ガイドや野点体験ができるツアーも実施。

(ア) 開催日 令和 8 年 3 月 20 日

(イ) 会場 深大寺城跡及び深大寺周辺

ウ 深大寺城跡史跡講義

戦国時代前期に築かれた扇谷上杉家の城「国指定史跡深大寺城跡」についての講義・見学会を開催した。

(ア) 開催日 令和 8 年 3 月 20 日

(イ) 会場 都立神代植物公園植物会館

- (ウ) 参加者数 18人
 - (エ) 講師 生田周治（郷土博物館）
 - (オ) 主催 公益財団法人東京都公園協会、都立神代植物公園
 - (カ) 共催 調布市観光協会
- (5) 「水木マンガの生まれた街 調布」の推進
- 平成27年11月30日に逝去された調布市名誉市民・水木しげる氏の功績を称え、「ゲゲゲ忌」をはじめとする「水木マンガの生まれた街 調布」を推進する事業を行った。
- ア ゲゲゲ忌2025
- 調布市名誉市民・水木しげる氏の命日である11月30日「ゲゲゲ忌」を中心に、水木しげる氏ゆかりの地を巡るスタンプラリーや調布市役所前庭等でのイベント、アニメ特別上映会等、広く市民等が水木しげる氏を偲ぶ様々なイベントを開催した。
- 開催日 令和7年11月18日から同月30日まで
- (ア) 「ゲゲゲのスタンプラリー」の開催

市内12か所にスタンプを設置し、6個以上集めた方に参加賞（ステッカー）、12個全て集めた方に達成賞（カレンダー）を贈呈した。

 - a 開催期間 令和7年11月18日から同月30日まで
 - b 参加者数 約25,000人
 - c 参加賞達成者数 約15,000人
 - d 達成賞達成者数 約9,000人
 - (イ) 「ゲゲゲ横丁・ゲゲゲの森」の開催

調布市役所前庭等で、「ゲゲゲ忌2025」限定商品の先行販売やキャラクターグリーティング・キャラクターステージ、鳥取県PRステージ、鳥取県物産展、境港市のカニ汁販売、妖怪迷路、鬼太郎バルーンの展示等のイベントを開催した。

また、市制施行70周年を記念した特別ステージを実施し、俳優の永尾柚乃さんが登壇した。

 - a 開催日 令和7年11月22日・23日
 - b 来場者数 約50,000人
 - c 協力 東映アニメーション株式会社、鳥取県、境港市、株式会社ジョイント
 - (ウ) 「ゲゲゲ忌2025 アニメ特別上映会」の開催

水木しげるさん原作のアニメの上映、豪華キャスト・制作スタッフ等によるトークショー付きの特別上映会を開催した。

 - a 開催期間 令和7年11月21日から同月24日まで、同月29日及び30日
 - b 場所 イオンシネマ シアタス調布、調布市文化会館たづくり くすのきホール
 - c 来場者数 1,844人
 - d 協力 東映アニメーション株式会社、イオンシネマ シアタス調布、鳥取県、株式会社ジョイント
 - (エ) 市制施行70周年×ゲゲゲ忌記念オリジナルノベルティの作成

市内の協力店舗のうち、対象店舗で一定金額以上の買物をしたスタンプラリー参加者にノベルティ（缶バッジ・サコッシュ）を配布。
 - (オ) 「ゲゲゲ忌コスプレイベント～調布市ブリガドーン計画～」の開催

期間中、水木キャラクターのコスプレ参加者に記念品を配付した。令和7年11月22日・23日は、「ゲゲゲ横丁・ゲゲゲの森」内でゲゲゲの鬼太郎の着ぐるみとの記念

撮影会やコスプレ参加者の集合写真の撮影を実施した。

参加者数 約 1, 9 0 0 人

(カ) 京王電鉄株式会社との連携

京王電鉄株式会社、株式会社水木プロダクションの協力の下、ゲゲゲ忌 2 0 2 5 限定駅名キーホルダーの販売、京王線車両への記念ヘッドマーク掲出等の連携事業を実施した。

(キ) その他開催期間中の取組

- a 献花台の設置 調布市文化会館たづくり 1 階
- b 市職員等による鬼太郎ちゃんちゃんこの着用
- c 市職員によるゲゲゲ忌ネームストラップの着用
- d 市立小・中学校、公立保育園における水木キャラクターや水木しげる氏にちなんだ給食の取組
- e 水木しげる氏特集コーナーの設置 調布市文化会館たづくり内市立中央図書館
- f 市制施行 7 0 周年記念令和 7 年議場コンサート
- g 市内商店会や企業で水木しげる氏を偲んだ独自の取組
- h ゲゲゲ忌限定特別御朱印の頒布（主催 布多天神社）
- i 鳥取県 P R コーナーの設置 調布市文化会館たづくり 1 階
- j 調布駅前商店街にてゲゲゲ忌応援ポスター及びフラック掲出

(ク) 河童の三平上映会

令和 3 年 1 2 月に上演された「演劇集団円」の舞台「河童の三平」の上映イベントを実施した。市制施行 7 0 周年記念事業として、市民を無料で招待した。

日程：令和 7 年 1 1 月 2 1 日、2 8 日

当日参加人数：延べ 1 3 0 人 ※事前申込で各日 1 0 0 人が当選

イ 水木キャラクターを活用した「水木マンガの生まれた街 調布」の推進事業

株式会社水木プロダクションの協力の下、庁用封筒や刊行物、職員名刺、各種イベントチラシのほか、住民票等証明用紙の改ざん・偽造防止加工、ふるさと納税返戻品などに水木キャラクターや「水木マンガの生まれた街 調布」ロゴを活用した。

ウ 生誕 1 0 4 年 水木しげる生誕祭

水木しげる氏の生誕 1 0 4 年を記念したセレモニーが、鳥取県境港市にある境港市民交流センター みなとテラスで行われた。同会場エントランスにおいて出店し、調布市の観光 P R を実施

(ア) 開催日 令和 8 年 3 月 7 日

(イ) 会場 境港市民交流センター みなとテラス

(ウ) 主催 鳥取県、境港市

エ アニメツーリズム

一般社団法人アニメツーリズム協会が発表した「訪れてみたい日本のアニメ聖地 8 8」2 0 2 6 年版の一つに「水木マンガの生まれた街」として、調布市が 1 0 年連続で選出された。

また、「ゲゲゲの鬼太郎」の聖地としても、8 年連続で選出された。

(6) 観光情報紙の発行

ア 調布市観光マップ改訂

市内の観光スポットを巡るコースを紹介しているマップの観光情報を更新するもの

(ア) 発行部数

日本語版 13,000部 英語版 4,000部

中国語（繁体字・簡体字）版 各2,000部 韓国語版 1,000部

(イ) 発行月 令和8年3月

イ 深大寺散策マップ改訂

深大寺の由来や寺宝、深大寺周辺の観光スポット等を紹介するマップの情報を更新するもの

(ア) 発行部数

日本語版 50,000部

(イ) 発行月 令和8年3月

(7) 調布市外国人観光客等受入環境整備事業

外国人観光客等の移動・滞在を支えるため、公益財団法人東京観光財団の区市町村観光インフラ整備支援補助金を活用した調布市外国人観光客等受入環境整備事業補助金により、多言語対応の強化及び情報通信技術の活用を図ることを目的として、調布市観光協会事業の支援を行うもの

ア 補助金額 5,351,000円

イ 実施事業

(ア) 深大寺周辺散策マップ多言語版作成事業

(イ) 調布市内Wi-Fi接続環境整備事業

(ウ) 調布駅前FreeWi-Fi接続環境整備事業

(エ) 深大寺FreeWi-Fi更新事業

(8) 調布市観光PR事業

市内観光資源のPRを積極的に行うことで、観光振興を図るとともに、地域での雇用機会を創出・拡大することを目的とするもの

委託金額 7,068,940円

ア 調布市観光案内所「ぬくもりステーション」の運営

調布駅前広場に調布市観光案内所「ぬくもりステーション」を設置し、市内の観光案内、調布駅周辺の交通誘導案内、調布市や調布市観光協会、地元商店会のイベント等のリーフレット・チラシの配架、ポスターの掲示等、来訪者に情報を発信するもの

※ 調布駅前広場の工事に伴い、令和5年7月1日から調布駅改札外コンコースへ移転

(ア) 開所日時 土・日・祝日・その他市が指定する日 午前9時から午後4時まで

(イ) 観光案内所利用者数 延べ30,000人（うち、外国人145人）

イ インターネットやSNS等を活用した観光情報の発信

インターネット、SNS（X、Facebook、Instagram等）を活用して市内観光名所、イベントの案内等の情報を発信した。

ウ 市内イベント等での観光案内

市内イベント等で観光情報紙の配付、イベントのPR等を実施した。

(9) インバウンド対策の推進事業

調布市の観光施設情報等を多言語（10か国語）化したウェブサイト「Guidoor」を活用し、ICTを活用した情報発信による観光振興及び地域経済活性化の促進を図った。

(10) 多様な主体と連携した観光情報の発信事業

ア 京王線沿線5市（調布市・府中市・日野市・多摩市・稲城市）合同観光PR

東京観光情報センター東京都庁及び東京観光情報センター多摩において、観光関連パンフ

レットの配架、観光スポットの案内等、多摩地域の魅力を５市合同でＰＲした。

(ア) 東京観光情報センター東京都庁

開催期間 令和７年１２月１５日から同月２８日まで

(イ) 東京観光情報センター多摩

開催期間 令和８年１月１日から同月３１日まで

イ むさしの・ガーデン紀行連絡協議会

国土交通省に登録された庭園間交流連携促進計画「むさしの・ガーデン紀行」の実現のため、関連機関の相互交流、情報交換等を行うもの

(ア) 第１回 定例会

a 開催日 令和７年７月３１日

b 時間 午後２時から午後４時まで

c 場所 武蔵野プレイス

d 事務局 一般社団法人武蔵野コッツウォルズ

(イ) 第２回 定例会

a 開催日 令和８年２月１３日

b 時間 午後１時３０分から午後２時４５分まで

c 場所 武蔵野スイングホール

d 事務局 一般社団法人武蔵野コッツウォルズ

農 政 課

1 農業振興対策費

予算科目（款・項・目） 30・05・15

〔決算書291・293ページ〕

(1) 農業用水路しゅんせつ事業

田んぼの保全に必要な農業用水を確保するため、田植えの時期に実施する農業用水路の維持作業や軽微な補修に対し助成するもの

助成水利組合 5組合 162,200円

(2) マインズ農業協同組合補助金

マインズ農業協同組合の調布地区及び神代地区管内の組合員である農業生産者で構成する農業生産団体が行う、生産技術向上のための講習、研修等の事業に対し補助するもの

助成農業生産団体 5団体 300,000円

(3) 都市農業育成対策事業

農業経営の向上に寄与することを目的に、認定農業者又は農業経営に意欲のある農業者が行うビニールハウスの整備や農業用機械導入等、農業経営の向上に資する事業に対し助成するもの

26農業者 8,289,000円

(4) 市内産農産物消費拡大事業費

ア 調布市農産物直売所マップ作成事業

市内農業者の直売所では、地場で生産された新鮮な農産物を身近に手に入れることができるため、直売所マップをリニューアルして直売所の近隣に住んでいる市民等に利用していただくことで地産地消を促進した。

発行部数 10,000部

配架場所 市内公共施設、JAマインズ支店、東京都庁等

イ 調布産野菜カレー製作事業

市制施行70周年の記念品として、調布産ミニトマトを使用したレトルトカレーを製作し、市制施行70周年記念式典やイベント等で配布することで地産地消を促進した。

ウ 調布市農業まつり農産物展示品評会特賞受賞者シール作成事業

東京都知事賞、調布市長賞、調布市議会議長賞、調布市農業まつり実行委員会会長賞を上位4賞とし市制施行70周年記念ロゴ入りの受賞者シールを贈呈し、受賞した生産者が自ら栽培し、袋詰めした農産物にシールを貼って出荷いただくなど、市民へのPR等に活用いただくことで地産地消を促進した。

2 都市農業確立対策事業

予算科目（款・項・目） 30・05・15

〔決算書293・295ページ〕

(1) 市民農園事業費

市民の皆さんが農作業を通して自然に親しみ、野菜づくりを楽しみながら、農業に対する理解を深めるなど、多様な目的で利用していただくため、市民農園を開設・運営した。

13農園（587区画）

令和8年3月31日時点

農園名	所在地	面積別区画数(区画)
-----	-----	------------

		15 m ²	21 m ²
下石原市民農園	下石原2丁目7番地1	38	1
八雲台市民農園	八雲台2丁目30番地6	70	6
深大寺南町市民農園	深大寺南町5丁目4番地2	18	2
入間町市民農園	入間町1丁目3番地16	44	3
小島町市民農園	小島町3丁目73番地2	41	3
深大寺東町市民農園	深大寺東町3丁目9番地15	40	2
深大寺北町市民農園	深大寺北町6丁目14番地11	49	
布田市民農園	布田6丁目8番地25	39	2
上石原市民農園	上石原2丁目45番地4	39	
下石原第2市民農園	下石原3丁目12番地4	71	6
若葉町市民農園	若葉町2丁目6番地8	57	1
東つつじヶ丘市民農園	東つつじヶ丘2丁目13番地5	34	
深大寺南町第3市民農園	深大寺南町4丁目31番地3	21	
合 計		561	26

(2) 学童農園事業費

学童を対象に体験学習（授業）のための農園を設置し、学校における食育の取組を推進した。

ア 米づくり農園1箇所1校

布田小学校（染地1丁目17番地2、3）

	作業日	内容等	参加人数(人)	
			児童	教員
第1回	令和7年6月4日	田植え	161	8
第2回	令和7年10月3日	稲刈り、稲干し	161	8

イ 野菜づくり農園3箇所3校

布田小学校（布田6丁目8番地13）

	作業日	内容等	参加人数(人)	
			児童	教員
第1回	令和7年4月17日	枝豆・とうもろこしの種まき	69	3
第2回	令和7年7月8日	枝豆・とうもろこしの収穫	69	3
第3回	令和7年9月8日	白菜・大根の種まき	69	3
第4回	令和7年12月4日	白菜・大根の収穫	69	3

上ノ原小学校（深大寺東町3丁目4番地1）

	作業日	内容等	参加人数(人)	
			児童	教員
第1回	令和7年4月30日	枝豆の種まき	122	5
第2回	令和7年7月9日	枝豆の収穫	116	5
第3回	令和7年9月26日	大根の種まき	121	5
第4回	令和7年12月18日	大根の収穫	120	5

第三小学校（上石原2丁目45番地4）

	作業日	内容等	参加人数(人)	
			児童	教員
第1回	令和7年4月25日	枝豆の種まき	102	4
第2回	令和7年7月8日	枝豆の収穫	102	4
第3回	令和7年9月9日	白菜・大根の種まき	102	4
第4回	令和7年11月26日	白菜・大根の収穫	102	4

滝坂小学校（東つつじヶ丘2丁目13番地6）

	作業日	内容等	参加人数(人)	
			児童	教員
第1回	令和7年9月24日	大根の種まき	90	5
第2回	令和7年12月9日	大根の収穫	88	5

(3) ふれあい農園事業費

市民が家族とともに気軽に農業体験や市内農業者との交流を楽しんでいただき、都市農業への理解促進を図る。

ふれあい体験農園（国領町4丁目59番地5）

	開催日	内容等	参加世帯数(世帯)
第1回	令和7年5月11日	枝豆・とうもろこしの種まき	40
第2回	令和7年7月19日	枝豆・とうもろこしの収穫	40
第3回	令和7年9月13日	白菜・大根の種まき	40
第4回	令和7年12月6日	白菜・大根の収穫	40

(4) 農業まつり運営費

市民と農業者とのふれあいを促進し、農家の生産意欲及び技術力の向上を図るため、第47回調布市農業まつりを開催した。

開催日 令和7年11月15日・16日

会場 調布市役所庁舎前庭

内容 農産物展示品評会（葉菜類ほか307点）、農産物即売、木島平村特産物即売、野菜の宝船展示、J Aマインズ調布女性部出店（豚汁）、J Aマインズ神代女性部出店（焼きそば）等

延べ参加団体数 13団体（木島平村を含む）

(5) 農業マルシェ開催費

まちのにぎわいや農家とのふれあいの場の創出を目的として、市内農産物の採れたて野菜や花の直売、フード・カフェを楽しむことができる「マルシェ ドゥ 調布」を開催し、市内農産物等のPRや市民が集える憩いの場の提供及び多くの市民が市内農産物にふれられる機会の創出につなげた。なお、10月開催は市制施行70周年記念式典にあわせて開催した。

開催日 令和7年6月28日・29日及び同年10月25日・26日

会場 トリエ京王調布C館及びB館の北側及び南側

内容 野菜及び花の直売、ジャズバンドによる演奏、飲食店等の出店

(6) 市内産野菜直売事業補助金

新鮮で安心な市内産野菜を中心に直売を行う市内産農産物普及事業を実施した団体に対し、助成した。

ア 調布市農産物直売会

販売場所 マインズショップ調布サウスゲートビル店、キッチンコート西調布店、コープ調布染地店、クイーンズ伊勢丹国分寺店

団体助成 200,000円

イ 神代農産物直売会

販売場所 神代農産物直売所うまいんず、クイーンズ伊勢丹仙川店・武蔵境店・品川店、いなげや調布仙川店

団体助成 200,000円

(7) 市内農業者物価高騰支援事業費

価格高騰による市内販売農家の負担軽減を図るため、農協と連携し、購入を予定していた農業用肥料のうち、希望する農業用肥料の支給を予算（繰越明許費）の範囲内で行った。

配付数 109件 2,205袋

(8) 観光農園事業補助金

観光農園を実施する農家に対し、「調布市内の生産物である旨を表示した袋、箱等の梱包容器作成事業」等に係る経費の一部を助成することにより、市民の利用と交流を促進するとともに、生産物及び流通環境の改善並びに農園経営の向上に寄与した。

4農園 308,400円

(9) 農業体験ファーム事業費

ア 野菜の農業体験ファーム

野菜の農業体験ファームの管理運営に対し1区画当たり10,000円を限度として助成し、都市農地の保全・活用を図るとともに、市民が利用できる農園を確保するもの

農園名	場所	面積(㎡)	区画数(区画)
国領元気村	国領町7丁目8番地1ほか	1,137	36
深大寺ときめきの郷	深大寺東町4丁目30番地5ほか	1,000	34
あい菜飛田の里	飛田給1丁目48番地4ほか	1,295	48
国領5丁目の畑	国領町5丁目60番地3	1,522	60
入間ふれあい農園	入間町1丁目25番地7ほか	1,303	28
chofu みらい farm	飛田給1丁目18番地1	1,693	40
合 計			246

イ 田んぼの農業体験ファーム

田んぼの農業体験ファームの管理運営に対し年額30,000円を助成し、都市農地の保全・活用を図るとともに、市民が利用できる農園を確保するもの

農園名	場所	面積(㎡)	参加数(組)
SATOYAMA BASE JINDAIJI	深大寺南町1丁目24番地1ほか	1,407	200
合 計			200

(10) 都市農地保全事業費

未来に残す東京の農地プロジェクト

農地の持つ防災や環境保全などの多面的機能をより発揮させることや、地域住民に配慮した生産基盤整備、宅地等から農地を創出することなどにより、貴重な都市農地の保全を図る事業に対し補助するもの

2農業者 農業用井戸(1件)、土留めフェンス(1件)

(11) 農業経営強靱化事業費

東京農業をけん引する認定農業者等の意欲ある経営体に対して、生産性の高い農業を展開するための施設整備や農業機械の導入を支援し、東京農業を魅力ある産業に育成するもの

1 農業者 太陽光パネル、蓄電池、農業用電化機器類

3 有機農業推進事業費

予算科目（款・項・目） 3 0 ・ 0 5 ・ 1 5

〔決算書 2 9 5 ページ〕

(1) 有機農業推進事業費

環境保全型農業を推進するため、希望する販売農家に対して、環境に優しい有機質肥料（牛糞、鶏糞等）を配付し、環境の保全と新鮮で安全安心な農産物の生産・供給に対して支援するもの

配付数 1 0 8 件 2, 9 2 1 袋

ス ポ ー ツ 振 興 課

1 スポーツ推進委員会 予算科目（款・項・目）50・30・05〔決算書423ページ〕

市民スポーツの振興を図るため、指導及び助言を行うもの

- (1) 委員構成等 学校長及び学校開放運営委員長推薦の市立小学校関係者20人、調布市レクリエーション研究会員1人をもって組織 男17人、女4人

委嘱期間 令和6年4月1日から令和8年3月31日まで ※ 2年ごとに改選

パラスポーツ指導員 中級2人、初級2人

- (2) 定例会 12回（原則毎月第2木曜日）

- (3) 研修会

研修名	開催日	備考
宿泊研修・第40回木島平村民スポーツフェスティバル参加	令和7年6月14・15日	長野県木島平村
スポーツ推進委員三市交流会	令和7年7月19日	調布市・武蔵野市・三鷹市 3市で持ち回り開催(令和7年度の担当市は、調布市)
東京都スポーツ推進委員研修会 広域地区別研修会 (第9ブロック)	令和7年9月13日	調布市・小金井市・国分寺市・狛江市・三鷹市・武蔵野市・府中市 7市で持ち回り開催(令和7年度の担当市は、国分寺市)
全国スポーツ推進委員研究協議会 長野大会	令和7年11月13・14日	全国のスポーツ推進委員が一堂に会し、資質向上を図るもの (令和7年度は長野県で開催され、4人参加)

- (4) 主管事業等

事業名	開催日	参加者数等
ニュースポーツ出前講座		
ニュースポーツ交流会	令和7年10月18日	32チーム、約220人
障害当事者の運動機会創出事業「からだをうごかすぞう」 ※ 調布市障害者スポーツの振興における協議体の取組の一環として実施	令和7年11月8日	69人
小学生ドッジビー大会	令和8年2月23日	53チーム、約800人

- (5) 協力事業等

(単位：人)

事業名	開催日	協力推進委員の数
調和 SHC 倶楽部こども祭り	令和7年4月29日	3
小学校授業内でのニュースポーツ講習（ドッジビー・スポーツ鬼ごっこ）	令和7年6月21日	5
	令和7年7月24日	6
	令和7年8月26日	3
	令和7年9月11日	6

	令和 7 年 9 月 15 日	4
	令和 7 年 9 月 23 日	4
	令和 7 年 9 月 28 日	5
	令和 7 年 10 月 11 日	2
	令和 7 年 11 月 1 日	4
	令和 7 年 11 月 17 日	6
	令和 7 年 12 月 1 日	5
	令和 7 年 12 月 3 日	3
第一小健全育成企画『夏休みたけなわ 体育館で遊ぼう！』	令和 7 年 8 月 19 日	5
第 43 回調布市民スポーツまつり	令和 7 年 10 月 11 日	13
染地小地域 みんなのスポーツ&秋まつり	令和 7 年 10 月 26 日	6
三笑祭	令和 7 年 11 月 1 日	7
2025 パラスポーツ・ボッチャ交流会 in 調布	令和 7 年 11 月 23 日	6
第 9 回学童クラブ交流ドッジビー大会	令和 8 年 1 月 12 日	12
東京都市町村ボッチャ大会	令和 8 年 1 月 24 日	1
調布市民駅伝競走大会	令和 8 年 1 月 25 日	16
たまごわまつり	令和 8 年 3 月 1 日	5
合 計		127

2 スポーツ推進審議会 予算科目（款・項・目）50・30・05〔決算書423ページ〕

市長の諮問に応じて、スポーツの推進に関する重要事項について調査審議し答申するとともに、これらの事項について市長に建議するもの

- (1) 委員構成等 有識者 3 人、学識経験者 4 人、関係機関からの推薦者 3 人をもって組織
男 7 人、女 3 人

委嘱期間 令和 7 年 10 月 1 日から令和 9 年 9 月 30 日まで ※ 2 年ごとに改選

- (2) 審議会

回	開催日	審議内容等
1	令和 7 年 8 月 25 日	・調布市民西調布体育館機能移転に関する基本構想について ・調布市民プールのあり方に関する検討の状況について ・FC 東京との包括連携協定の締結及び調布基地跡地留保地の活用について ・部活動地域連携・地域移行に関する検討状況について ・デフリンピックに関する取組について
2	令和 8 年 2 月 18 日	・会長の選出(互選)及び副会長の指名 ・部活動地域連携・地域移行に関する検討状況について ・東京 2025 デフリンピックに関する取組について ・調布基地跡地留保地の活用について ・調布市民プールのあり方に関する検討の状況について ・スポーツ施設再配置に関する検討について

3 調布市総合体育館

予算科目（款・項・目）50・30・05

昭和 6 0 年 1 0 月に都立神代植物公園隣接地域に建設され、大・小体育室、トレーニング室、室内温水プール及び会議室等を擁し、市内スポーツ活動の拠点として活用しているもの

平成 1 8 年度から、公益社団法人調布市スポーツ協会（旧公益社団法人調布市体育協会）が指定管理者として管理・運営を行っている。

また、スポーツ協会プログラム（セブンプログラム）事業として、施設を効果的に活用するとともに、利用者の運動の習慣化のきっかけづくり等を目的としたプログラムを多数実施している。

※ スポーツ協会プログラム（セブンプログラム）①健康増進、②ジュニアスポーツ、③スキルアップ、④障害者、⑤指導者養成、⑥インフォメーション、⑦地域コミュニティ

(1) 開館日数 3 4 0 日（定期・年末年始休館 2 5 日間）

(2) 管理運営状況

（単位：件、人）

施設	主な用途	使用者区分		利用件数		
				5 年度	6 年度	7 年度
大 ・ 小 体育室	大体育室 ・バスケットボール 2 面 ・バレーボール 3 面等 小体育室 ・卓球 8 面 ・ダンス体操等	団 体	(件数)	(1, 695)	(1, 684)	(1, 754)
			人数	38, 261	38, 257	43, 493
		個人		20, 296	23, 434	26, 609
		総体プログラム		16, 289	19, 170	19, 002
		小 計		74, 846	80, 861	89, 104
ト レ ー ニ ン グ 室	・器具 31 種類 ・各種プログラムの実施	個人		16, 691	22, 046	26, 377
屋 内 プ ー ル	・25 メートル 6 コース ・水深 1.1～1.4m	団 体	(件数)	(0)	(793)	(897)
			人数	0	10, 869	12, 397
		個 人	子ども	0	3, 446	4, 184
			大人	0	21, 867	29, 199
		総体プログラム		0	3, 414	4, 242
小 計		0	39, 596	50, 022		
会議室	・ダンス体操 ・会議、研修等	団 体	(件数)	(572)	(561)	(581)
			人数	6, 893	6, 483	6, 489
		総体プログラム		2, 255	2, 602	2, 538
小 計		9, 148	9, 085	9, 027		
合 計				100, 685	151, 588	174, 530

(3) 駐車場等利用状況

（単位：台）

区 分	利用対象者	利用台数		
		5 年度	6 年度	7 年度
第 1 駐車場(総合体育館敷地内)	市内在住 65 歳以上の利用者、障害者、一時利用者	10, 497 (738)	16, 547 (1, 001)	18, 299 (1, 136)
第 2 駐車場(神代植物公園第二駐車場)	上記以外の利用者	8, 022	10, 215	12, 432
バイク		2, 334	4, 377	4, 433

合 計	21,591	32,140	36,300
-----	--------	--------	--------

※ 平成25年10月2日から、第1駐車場（無料）、第2駐車場（有料）の供用を開始

※ 第1駐車場の括弧内件数は、当該駐車場が満車のため第2駐車場に無料駐車をした数

4 スポーツ協会補助（事業）

予算科目（款・項・目）50・30・05

〔決算書423ページ〕

公益社団法人調布市スポーツ協会に対し、市が主催する大会の運営委託、スポーツ協会が行う自主事業等に対する補助金を交付するもの

(1) 各種大会

（単位：人）

事業名	実施日	参加者数等
第65回調布市民スポーツ大会		
・総合開会式	オンライン配信	-
・夏季大会(水泳競技)	令和7年8月31日	147
・秋季大会(26競技)	令和7年8月～12月	延べ7,411
・冬季大会(スキー競技)	令和8年2月7・8日	62
	小 計	7,620
第43回調布市民スポーツまつり	令和7年10月11日	3,500
EURO SPORTS Presents gol.CUP (第23回調布フットサル大会)	令和7年12月20日	21チーム、210
第70回調布市民駅伝競走大会	令和8年1月25日	305チーム、1,504
CHOFU ドリームプロジェクト バス ケットボールチャレンジ	令和7年8月9日	145
合 計		12,979

(2) リフレッシュ体操スクール事業

健康増進や体力維持等のため、体を動かすきっかけづくりのためのリフレッシュ健康体操事業を実施した。

（単位：回、人）

コース	会場	曜日	時間	実施回数	定員各期	期間	応募人数	応募倍率	延べ参加者数
かんたん体操	A1 石原小学校ふれあい健康ルーム	火曜	13:00～14:15	15	20	5～8月	34	1.70	244
				14		9～12月	31	1.55	238
				13		1～3月	33	1.65	219
	A2 大町スポーツ施設会議室	火曜	10:00～11:15	16	25	5～8月	44	1.76	296
				16		9～12月	39	1.56	326
				13		1～3月	38	1.52	274
	A3 健康活動ひろば	月曜	9:15～10:30	13	20	5～8月	47	2.35	207
				13		9～12月	51	2.55	217
				11		1～3月	45	2.25	178
	A4 緑ヶ丘地域福祉センター	木曜	10:00～11:15	17	20	5～8月	28	1.40	278
				17		9～12月	26	1.30	285
				12		1～3月	27	1.35	195
	A5 健康活動ひろば	月曜	10:45～12:00	13	20	5～8月	66	3.30	202
				13		9～12月	59	2.95	238
				11		1～3月	64	3.20	190

	A6		木曜	9:15 ～ 10:30	17	30	5～8月	52	1.73	415	
					12		9～12月	41	1.37	306	
					12		1～3月	50	1.67	318	
	A7		木曜	10:45 ～ 12:00	17	30	5～8月	62	2.07	408	
					12		9～12月	57	1.90	302	
					12		1～3月	61	2.03	295	
チ ェ ア 体 操	B1	石原小学校 ふれあい健康 ルーム	火曜	10:00 ～ 11:30	15	20	5～8月	48	2.40	228	
					14		9～12月	45	2.25	240	
					13		1～3月	34	1.70	223	
	B2		火曜	15:00 ～ 16:30	15	20	5～8月	33	1.65	205	
					14		9～12月	24	1.20	232	
					13		1～3月	29	1.45	194	
	B3	大町スポーツ施設 体育館	火曜	13:00 ～ 14:30	16	60	5～8月	62	1.03	715	
					16		9～12月	55	0.92	717	
					13		1～3月	57	0.95	641	
	B4		水曜	10:00 ～ 11:30	17	60	5～8月	83	1.38	823	
					17		9～12月	66	1.10	861	
					10		1～3月	72	1.20	509	
ビ ギ ナ ー エ ク サ サ イ ズ	C1	健康活動 ひろば	月曜	10:00 ～ 11:30	13	30	5～8月	109	3.63	295	
					11		9～12月	83	2.77	280	
					11		1～3月	83	2.77	301	
	C2		月曜	15:00 ～ 16:30	13	30	5～8月	71	2.37	325	
					11		9～12月	64	2.13	266	
					11		1～3月	57	1.90	298	
	C3	大町スポーツ施設 体育館	水曜	13:00 ～ 14:30	17	60	5～8月	83	1.38	804	
					17		9～12月	80	1.33	784	
					10		1～3月	69	1.15	490	
	C4		健康活動 ひろば	水曜	10:00 ～ 11:30	17	30	5～8月	98	3.27	352
						14		9～12月	95	3.17	313
						11		1～3月	81	2.70	276
	C5	木曜		11:00 ～ 12:30	15	20	5～8月	75	3.75	255	
					15		9～12月	73	3.65	226	
					11		1～3月	69	3.45	164	
メ ン ズ エ ク サ サ イ ズ	D1	京王アリーナ TOKYO	火曜	10:00 ～ 11:30	12	80	5～8月	57	0.71	555	
					9		9～12月	56	0.70	424	
					9		1～3月	49	0.61	399	
	D2	健康活動 ひろば	木曜	13:00 ～ 14:30	17	30	5～8月	56	1.87	413	
					12		9～12月	54	1.80	247	
					12		1～3月	46	1.53	311	
コ ア ト レ ー ニ ン	E1	健康活動 ひろば	月曜	13:00 ～ 14:30	14	30	5～8月	94	3.13	293	
					11		9～12月	71	2.37	291	
					11		1～3月	82	2.73	256	
	E2	入間地域福祉センター	月曜	10:00 ～ 11:30	10	20	5～8月	62	3.10	172	
					10		9～12月	52	2.60	171	
					9		1～3月	54	2.70	161	
	E3	京王アリー	火	15:00	12	80	5～8月	111	1.39	758	

グ		ナ TOKYO	曜	～	9		9～12 月	106	1. 33	605
				16:30	9		1～3 月	92	1. 15	598
	E4	健 康 活 動 ひろば	水 曜	15:00	17	30	5～8 月	114	3. 80	383
	～			14	9～12 月		106	3. 53	346	
	16:30			11	1～3 月		101	3. 37	271	
	E5	水 曜	12:30 ～ 14:00	17	30	5～8 月	97	3. 23	363	
	14			9～12 月		99	3. 30	345		
	11			1～3 月		95	3. 17	271		
	E6	金 子 地 域 福 祉 セ ン タ ー	月 曜	10:00	10	15	5～8 月	33	2. 20	110
	～			10	9～12 月		29	1. 93	126	
	11:30			9	1～3 月		24	1. 60	117	
シ エ イ ブ リ ズ ム エ ク サ サ イ ズ	F1	京 王 ア リ ー ナ TOKYO	火 曜	13:00	12	80	5～8 月	87	1. 09	715
	～			9	9～12 月		75	0. 94	537	
	14:30			9	1～3 月		73	0. 91	536	
	F2	健 康 活 動 ひろば	水 曜	14:00	17	20	5～8 月	37	1. 85	279
	～			17	9～12 月		36	1. 80	263	
	15:30			11	1～3 月		31	1. 55	165	
	F3	市 民 プ ラ ザ あ く ろ す	水 曜	10:00	17	30	5～8 月	93	3. 10	392
	～			17	9～12 月		76	2. 53	381	
	11:30			11	1～3 月		78	2. 60	248	
	F4	健 康 活 動 ひろば	木 曜	9:15	15	20	5～8 月	66	3. 30	208
	～			15	9～12 月		57	2. 85	238	
	10:45			11	1～3 月		40	2. 00	181	
小 計 1 期(5～8 月)					416	960		1, 902		10, 693
小 計 2 期(9～12 月)					373	960		1, 706		9. 805
小 計 3 期(1～3 月)					310	960		1, 634		8, 279
合 計					1, 099	2, 880		5, 242		28, 777

(3) 選手派遣

(単位：人)

事業名	実施日	参加者数
第78回都民体育大会 ・春季大会(18競技) ・開会式 ・閉会式	令和7年4月26日～6月14日	290
	令和7年5月10日	11
	令和7年6月14日	0
	小 計	301
57回東京都市町村総合スポーツ大会 ・開会式 ・12競技 ・閉会式	令和7年7月12日	8
	令和7年7月12日～8月9日	187
		2
	小 計	197
令和7年度スポーツフェスティバル東京(10競技)	令和7年8月16日～11月2日	112
令和7年度都民スポレクふれあい大会(3競技)	令和7年9月7日～10月22日	24
79回東京都スポーツ大会 ・夏季大会(参加なし) ・冬季大会(1競技)	令和7年7月20日～10月9日	0
	令和8年2月28・3月1日	2

	小 計	2
合 計		636

(4) スポーツ指導員等の養成、登録、派遣事業など

市内のスポーツ愛好者グループ等に対し、登録指導員を派遣し、又は紹介した。

ア スポーツ指導員バンク（指導員の登録、派遣及び紹介）

(ア) 指導員登録条件

登録日現在 18 歳以上で生涯スポーツ、生涯学習又は障害者スポーツの分野に強い関心があり、技術的な指導ができ、次の資格のうち一つ以上の資格を有する人

公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導員	
分 類	スポーツ指導者資格名
スポーツ指導基礎資格	スポーツリーダー
競技別指導者	指導員・上級指導員・コーチ・上級コーチ・教師・上級教師
フィットネス資格	ジュニアスポーツ指導員・スポーツプログラマー・フィットネストレーナー
メディカル・コンディショニング資格	スポーツドクター・アスレティックトレーナー・スポーツ栄養士・スポーツデンティスト
マネジメント資格	アシスタントマネージャー・クラブマネージャー
公益財団法人日本パラスポーツ協会認定スポーツ指導員	
初級パラスポーツ指導員・中級パラスポーツ指導員・上級パラスポーツ指導員・パラスポーツコーチ・パラスポーツ医・パラスポーツトレーナー	
その他、スポーツ協会会長が認めるスポーツ及びレクリエーションの学位、資格、経験の保有者	

(イ) 指導員の派遣及び紹介

利用要件	・市内に居住又は勤務する人、5人以上で構成された自主グループ ・活動の場が確保されており、かつ責任者が明確であること ・当該グループが発足後2年以内であること
------	---

※ 上記の利用要件全てに該当する場合は、「派遣制度」の利用可。派遣された指導員の指導謝礼及び旅費はスポーツ協会が負担

※ 上記の利用要件に該当しないものがある場合は、「紹介制度」の利用可。紹介された指導員の指導謝礼及び旅費はグループが負担

※ 指導員の派遣日数は、1グループ当たり5日間（1日当たり2時間）まで

(ウ) 令和7年度の指導員登録

種 目	卓球、バレーボール、ミニテニス、ソフトボール、テニス、アクアビクス、ダンス、ヨガ、バレトン、エアロビクス、背骨コンディショニング、ピラティス、柔道、小太刀短棒術、サッカー、水泳、内家拳、空手道(18種目)
登録者数	37人
利用件数	0件

イ スポーツ医科学サポート

(ア) スポーツ指導の現場における暴力等の不適切行為について

a 実施日 令和8年3月22日

b 講師 合田綜合法律事務所 合田 雄治郎氏

c 参加者数 81人

(5) スポーツ団体への育成費などの補助

ア 加盟団体の事業計画を審査し、育成費・普及費・競技会運営費を交付した。

スポーツ協会加盟 32団体 令和8年3月31日現在 (単位：団体、人)

No.	連盟・協会	団体数	会員数	No.	連盟・協会	団体数	会員数
1	陸上競技協会	1	23	17	サッカー協会	27	810
2	柔道連盟	4	70	18	市民ゴルフクラブ	1	182
3	卓球連盟	85	544	19	合気道会	10	135
4	軟式野球連盟	37	598	20	ウオークリング協会	1	16
5	ソフトテニス連盟	1	35	21	テニス連盟	44	1,370
6	剣道連盟	19	320	22	早朝野球連盟	11	220
7	バレーボール連盟	7	100	23	ダンススポーツ連盟	3	49
8	弓道連盟	1	122	24	レディースバレーボール連盟	13	181
9	バドミントン連盟	19	437	25	少年野球連盟	9	508
10	スキー連盟	5	68	26	少年サッカー連盟	20	1,510
11	水泳連盟	3	40	27	インディアカ連盟	4	49
12	バスケットボール協会	21	330	28	フロアボール協会	7	335
13	なぎなた連盟	1	26	29	グラウンド・ゴルフ協会	1	50
14	空手道連盟	4	119	30	フェンシング協会	2	8
15	ソフトボール連盟	47	935	31	ラグビーフットボール協会	4	268
16	硬式野球連盟	3	227	32	フライングディスク協会	1	90
合 計						416	9,775

イ スポーツ少年団への助成

日本スポーツ少年団は、公益財団法人日本スポーツ協会（旧公益財団法人日本体育協会）創立50周年記念事業として、東京オリンピック（1964年）開催を2年後に控えた昭和37年に開催記念として創設された。スポーツを通じ青少年の健全育成を目的とする社会教育団体（クラブチーム）として活動する集団である。

調布市スポーツ少年団は、昭和35年5月15日に設立され、①子どもたちが、②自由時間に、③地域社会で、④幅広いスポーツ活動を、⑤グループ活動で行っている集団である。

この調布市スポーツ少年団に対して、活動の一助となる助成金を交付することにより、スポーツ少年団登録団体へ助成をしている。

登録団体 4団体 令和8年3月31日現在 (単位：人)

No.	登録団体名	指導者	団員数
1	つつじヶ丘スポーツ少年団(卓球)	3	48
2	調布市なぎなたスポーツ少年団	6	29

3	かるがもクラブスポーツ少年団(バレーボール)	3	18
4	上ノ原ミニバスケットボールクラブ	3	31
合 計		15	126

(6) スポーツボランティア

スポーツイベント等の運営にボランティアとして参加できる者として、公益社団法人調布市スポーツ協会のスポーツボランティアとして登録しているもの

登録者数 172人(令和8年3月31日現在)

スポーツボランティア活動

24件 延べ134人

5 国際・全国スポーツ大会出場報奨金交付事業 予算科目(款・項・目) 50・30・05

[決算書423ページ]

調布市で活動し、かつ、国際大会又は全国大会等に出場する市内スポーツクラブ又は市内在住・在学・在勤の個人の活動に対し、報奨金を交付してスポーツ活動を支援するもの

(単位:件、人)

区 分	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	団体	個人	団体	個人	団体	個人
国際大会	0	12	1	18	2	23
全国大会	4	48	6	31	5	30

6 FC東京等様々な主体と連携した事業 予算科目(款・項・目) 50・30・05

[決算書425ページ]

FC東京とのパートナーシップのもと、市民スポーツの振興、青少年の健全育成、文化、福祉、地域経済活性化等のまちづくりを協働して推進していくもの。また、東芝ブレイブルーパス東京、東京サントリーサンゴリアス、NTT東日本バドミントン部及び読売巨人軍と連携した様々な事業展開により、市民スポーツの振興を推進していくもの

(1) 小学生対象のサッカー教室及び指導者講習会

ア 対象 調布市少年サッカー連盟に加盟する地元少年サッカーチームの子ども及び指導者

イ 実施日 ①令和7年11月29日、②令和7年12月20日

ウ 会場 調布基地跡地運動広場

エ 内容 プロコーチによる子どもたちへの指導及び指導者への講習を行った。

オ 参加者数 502人(①180人、②322人)

(2) 子どもサッカー体験教室

ア 対象 市内在住・在園の年中・年長児の子どもと保護者及び市内在住・在学の小学1年生から3年生まで

イ 実施日 令和7年11月1日

ウ 会場 市民西町サッカー場

エ 内容 運動するきっかけづくりのためのサッカー教室を開催した。

オ 参加者数 106人(年中・年長児 34組68人、小学1年生から3年生まで 38人)

(3) FC東京×朝活

ア 対象 市内在住、在勤、在学の１８歳以上の方

イ 実施日 ①令和７年６月７日、②令和７年６月２１日

ウ 会場 市民西町サッカー場

エ 内容 日頃運動機会の少ない１８歳以上を対象に、土曜日朝の時間帯でボールを使った簡単な運動を行い、運動へのきっかけづくりのために開催した。

オ 参加者数 ２９人（①２２人、②１３人、両日参加６人）

(4) ＦＣ東京レディースフィットネス・はじめてのなでしこサッカー教室

ア 対象（いずれも市内在住、在勤、在学の方）

（ア） レディースフィットネス 中学生以上の女性

（イ） なでしこサッカー 小学１年生から６年生までの女子

イ 実施日 令和８年３月１日

ウ 会場 京王アリーナＴＯＫＹＯ サブアリーナ

エ 内容 運動不足を感じている女性を主な対象としたボールを使った誰でもできる簡単な運動と、サッカーに興味のある小学生の女子を対象とした初心者向けのサッカー教室を開催した。

オ 参加者数

（ア） レディースフィットネス １４人

（イ） なでしこサッカー １８人

(5) 調布市制７０周年記念 Ｄａｙ

味の素スタジアム開催のＦＣ東京のホームゲーム（対鹿島アントラーズ）を「調布市制７０周年記念 Ｄａｙ」として、市民招待や試合前ピッチ見学、特設ブースの出展などの取組を実施した。

ア 実施日 令和７年８月１０日

イ 内容

（ア） 鹿島アントラーズ戦への市民無料観戦招待

（イ） 試合前ピッチ見学

（ウ） 市制７０周年をＰＲする特設ブースの出展

（エ） 市制７０周年特別Ｔシャツの製作・活用

（オ） ＦＣ東京と連携した市ＰＲ動画の制作・放映

ウ 観戦者数 ２，００１人（市民招待）

(6) ＦＣ東京「青赤ストリート」

味の素スタジアム開催のホームゲーム（対アルビレックス新潟）にあわせ、最寄りの飛田給駅からスタジアムまでの通称「スタジアム通り」を歩行者専用道路とする「青赤ストリート」を開催した。

ア 実施日 令和７年１２月６日

イ 会場 スタジアム通り（飛田給駅踏切～旧甲州街道、旧甲州街道～甲州街道）

ウ 内容 ステージイベント、各種ブース出展、キッチンカー、ふわふわ遊具等

エ 来場者数 ３６，２７６人（試合観戦者数）

(7) シーズン開幕に向けた取組

調布市と連携したまちづくりを推進しているＦＣ東京が、Ｊ１百年構想リーグの開幕戦を迎えるに当たり、市としてＦＣ東京を応援することで、スポーツ振興及びまちの活性化に寄与するため、まち全体で応援する機運の醸成を図った。

ア 実施内容及び期間

(ア) F C 東京所属の監督・選手からのメッセージ動画

(イ) 調布駅広場口屋根及び文化会館たづくりの青赤ライトアップ

令和 8 年 2 月 3 日から同月 8 日まで

(ウ) 各種広報媒体でのリーグ開幕 P R

市報ちょうふ、ホームページ、S N S などを活用し情報発信した。

(エ) F C 東京応援デー 令和 8 年 2 月 6 日

(8) ホームタウン情報交換会の開催

F C 東京のホームタウンであり、かつ、株主となっている 6 市間の情報共有及び連携した効果的な施策実施への足場づくりとして開催した。

回	開催日	議題
1	令和 8 年 1 月 29 日	・百年構想リーグ開幕直前のリレーポストの実施について ・ポロシャツの作成について ・百年構想リーグ期間中のホームタウン連携について ・各市からの情報提供 ・その他報告

(9) N T T 東日本バドミントン部地域感謝祭

市内に活動拠点を置く N T T 東日本バドミントン部の認知度向上やバドミントン競技の普及推進、身近な地域で楽しみながらトップスポーツに触れる機会の創出を目的として、市内在住・在学の小学生を対象としたバドミントン体験会を開催。ゲーム形式のアトラクションを通して N T T 東日本バドミントン部の現役選手や監督と交流したほか、サイン入りグッズがもらえるじゃんけん大会やサイン会を実施した。

ア 対象 市内在住・在学の小学生

イ 実施日 令和 7 年 7 月 1 3 日

ウ 会場 N T T 中央研修センタ 体育館

エ 内容 チャレンジマッチ、スマッシュターゲット、シャトルキャッチ等

オ 参加者数 初心者コース 4 6 人・チャレンジコース 3 5 人 計 8 1 人

(10) 読売巨人軍との連携

令和 5 年度に、緊密な連携と協働による取組等を実施することにより、地域活性化の実現及びスポーツの振興に資することを目的とした「調布市と読売巨人軍とのスポーツ振興に関する協働協定」を締結した。稲城市にあるジャイアンツタウンスタジアムでの試合に市民を無料招待する「調布市フェスタ」や、現役選手による小学校訪問をはじめ、小学校でのベースボール型授業にてアカデミーコーチが指導を支援する「小学校体育支援事業」、保育園及び幼稚園にてジャイアンツの公式マスコット・ジャビットとマスコットガール・ヴィーナスが身体を使ったゲームで園児と交流する「ふれあい体験」、アカデミーコーチがボール遊びを教える「野球体験」など青少年の健全育成等の取組を実施している。

また、新たな取組として、読売巨人軍と連携協定を締結している調布市を含む 7 市が連携し、組織した連携協議会において、体験型コンテンツや各自治体によるブース出展などを行う「G I A N T S H O M E T O W N f e s」を開催した。

ア 市制 7 0 周年記念調布市フェスタ i n ジャイアンツタウンスタジアム

(ア) 対象 市内在住・在勤・在学の方

(イ) 実施日 令和 7 年 8 月 2 日

- (ウ) 対象試合 イースタンリーグ公式戦 対千葉ロッテマリーンズ
- (エ) 内容 無料招待（先着）、プロ野球選手を身近に感じられる体験イベント（打撃練習見学ツアー、ヤングＧショット等）、市ブース出展、市内事業者によるキッチンカー出店、東京外国語大学チアリーディング部「RAMS」による試合前パフォーマンス、調布市少年野球連盟加盟団体によるサブグラウンド使用、始球式など
- (オ) 参加者数 ８００人（観戦招待数）

イ G I A N T S H O M E T O W N f e s

- (ア) 対象 読売巨人軍と連携協定を締結している調布市を含む７市在住の方
- (イ) 実施日 令和７年１２月１３・１４日
- (ウ) 内容 体験コンテンツ、現役選手・ＯＢによるトークショー及びグッズ抽選会、各自治体によるブース出展など
- (エ) 参加者数 延べ１，８００人（１３日 １，２００人 １４日 ６００人）

ウ 現役選手による小学校訪問事業

- (ア) 対象校 国領小学校
- (イ) 実施日 令和７年１１月２０日
- (ウ) 内容 選手たちによる講演、バッティングの実演やキャッチボールなど選手と子どもたちが交流できる活動、記念品贈呈、記念撮影
- (エ) 参加者数 １６９人（小学４年生から６年生まで）

エ 派遣事業

- (ア) 対象 市内小学校、幼稚園及び保育園
- (イ) 実施期間 令和７年４月１７日から令和８年３月２日まで
- (ウ) 内容
 - ａ 小学校体育支援事業（小学校該当）
 - ｂ 野球体験、ふれあい体験（幼稚園及び保育園該当）
- (エ) 実施校・園数 ６校・２２園（野球体験１８園、ふれあい体験４園）

(11) その他

F C 東京をはじめとするトップスポーツチームの試合情報や結果、市民を対象に開催する事業について、市報ちょうふ、ＳＮＳなどを活用し情報発信した。

7 東京２０２０オリンピック・パラリンピックレガシー事業

予算科目（款・項・目） 50・30・05

〔決算書４２５ページ〕

(1) 東芝ブレイブルーパス東京及び東京サントリーサンゴリアスとの連携事業

東芝ブレイブルーパス東京及び東京サントリーサンゴリアスのホストエリアとして、地域からの盛り上げとラグビー競技の普及啓発を目的に実施した。

ア 東芝ブレイブルーパス東京ホストゲーム関連事業

- (ア) 実施日 令和７年１２月１４日
- (イ) 会場 味の素スタジアム
- (ウ) 内容 観戦招待、ＰＲブース出展、ラグビー体験会、ラガマルくん出演、スタジアム内大型映像装置での調布市７０周年記念映像予告編の放映、観客配布用リーフレットへの市紹介文掲載
- (エ) 参加者数 ２，０００人（観戦招待合計数）

イ 東京サントリーサンゴリアス ホストゲーム関連事業

(ア) 実施日 令和7年12月20日、令和8年1月10日

(イ) 会場 味の素スタジアム

(ウ) 内容 観戦招待、ラグビー体験会（12月20日のみ）、ラガマルくん出演（12月20日のみ）、スタジアム内大型映像装置での調布市70周年記念映像予告編の放映、ピッチ上での太鼓パフォーマンス披露

(エ) 参加者数 2,000人（観戦招待合計数）

ウ ジャパンラグビーリーグワン観戦バスツアー

(ア) 実施日 令和8年2月15日、22日

(イ) 会場 秩父宮ラグビー場

(ウ) 内容 東芝ブレイブルーパス東京及び東京サントリーサンゴリアスのホストゲームの観戦、バスツアーの実施、参加者限定オリジナルグッズの配付

(エ) 参加者数 80人

エ 東芝ブレイブルーパス東京 ラグビー体験授業

(ア) 対象校 第一小学校、八雲台小学校、深大寺小学校

(イ) 実施日 令和7年6月24日、26日

(ウ) 内容 ラグビー体験及び実演等

(エ) 参加者数 約290人（第一小学校 約110人、八雲台小学校 約100人、深大寺小学校 約80人）

オ 東芝ブレイブルーパス東京 JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2024-25シーズン優勝記念展示会及び選手とのふれあいイベント

(ア) 実施日

a 優勝記念展示会 令和7年9月24日から同月30日まで

b 選手とのふれあいイベント 令和7年9月30日

(イ) 会場 調布市文化会館たづくり1階エントランスステージ

(ウ) 内容

a 優勝記念展示会 パネル展示（優勝までの軌跡、市との連携について）、グッズ（選手着用ジャージなど）展示

b 選手とのふれあいイベント サイン会、撮影会、サイン入りミニボールのプレゼント

(エ) 参加者数（ふれあいイベント） 40名（事前抽選制）

(2) 車いすバスケットボールChofuエキシビジョンマッチ2025 in京王アリーナTOKYO

東京2020大会で京王アリーナTOKYO（武蔵野の森総合スポーツプラザ）が車いすバスケットボールの会場となったことを契機に、大会後もパラリンピックレガシーとして、一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟と調布市、京王アリーナTOKYOが連携し、車いすバスケットボール競技の振興事業の継続実施を通じて、地域全体の障害者スポーツの振興を図り、共生社会の充実を目指すことを目的に開催した。

ア 実施日 令和7年6月15日

イ 会場 京王アリーナTOKYO メインアリーナ

ウ 内容

(ア) 車いすバスケットボール国内トップチームによるエキシビジョンマッチ（東京ファイターズB. C v s つくばSTRIXS、COOLSVsLaVitz）

(イ) パラスポーツ体験（車いすバスケットボール、ボッチャ）

(ウ) バスケットボールクリニック

(エ) 展示

a 車いすバスケットボール女子日本代表パリパラリンピック応援ありがとう展示

b デフリンピックPR

c TOKYO FORWARD 2025 PR

d 東京都パラスポーツトレーニングセンターPR

エ 参加者数 487人

(3) 調布市パラスポーツ体験会（京王アリーナTOKYOと共催）

障害の有無にかかわらず、誰もがスポーツを楽しむきっかけをつくり、障害理解の促進及びスポーツの力による共生社会の充実を目的として、パラスポーツの体験会を開催した。

ア 実施日 令和7年11月30日

イ 会場 京王アリーナTOKYO サブアリーナ

ウ ゲスト

(ア) 石川 直宏氏（FC東京コミュニティジェネレーター）

(イ) 猪狩 ともか氏（東京都パラ応援大使／アイドル・仮面女子）

エ 内容

(ア) みんなの「勝ち飯®」教室

(イ) 絵本「くうちゃんのかけっこ」から、みんなで楽しく走ることを学ぼう

(ウ) メダリスト山本篤さんの走り方教室

(エ) 競技体験

車いすバスケットボール、ブラインドサッカー、シッティングバレーボール、ゴールボール、パラeスポーツ

(オ) パラスポーツクイズ

(カ) 各種展示

調布市制作デフリンピック応援動画パネル展示、東京都パラスポーツトレーニングセンターPR

オ 参加者数 150人

(4) 調布市ジュニア陸上体験教室（調布市教育委員会と共催）

陸上競技に精通した指導者を講師として招き、小・中学生を対象にスポーツへ関心を高めるとともに走り方のポイントを学び、体力向上を図ることを目的とする陸上体験教室を開催した。

ア 小学生の部

(ア) 対象 市内小学校1年生から6年生まで

(イ) 実施日 令和7年11月9日

(ウ) 会場 味の素スタジアム バックスタンド下練習走路

(エ) 内容 走る姿勢・フォームなどの動きづくり、弾むトレーニング、スタートダッシュ

(オ) 参加者数 小学1・2年生クラス 77人、小学3・4年生クラス 66人、小学5・6年生クラス 40人

(カ) 講師 寺田 明日香氏、竹内 爽香氏、小倉 亮介氏

イ 中学生の部

(ア) 対象 市内中学校1年生から3年生まで

(イ) 実施日 令和8年1月10日

- (ウ) 会場 AGFフィールド
- (エ) 内容 中長距離走のフォーム、動きづくり、トレーニング方法など
- (オ) 参加者数 49人
- (カ) 講師 高尾 憲司氏

(5) 調布市障害者スポーツ振興における協議体事業

障害者スポーツの振興という目的のもと、スポーツ分野、福祉分野、医療分野の関係団体による協議体を設置し、各団体の現状や課題、又は障害者スポーツの振興のためにできること等を持ち寄り、連携の可能性を見出し、課題解決に向けた話し合いや障害当事者の運動機会創出・定着に向けた取組を実施した。

ア 調布市障害者スポーツの振興における協議体

回	開催日	議題
1	令和7年6月25日	・令和6年度事業の振り返り ・令和7年度事業予定と方向性
2	令和7年10月21日	・令和7年度取組状況 ・日本ボッチャ協会の取組について ・令和8年度に向けた意見交換
3	令和8年2月25日	・令和8年度に向けて ・令和8年度に向けた意見交換

イ 実施事業

(ア) 運動習慣定着支援事業

日中の居場所である福祉施設での運動実施から、地域のスポーツ施設での運動実施へとステップアップをすることで、地域の中で日常的に運動やスポーツを楽しめるようになることを目指し、連続した運動プログラムを実施

対象事業所	開催日	実施場所
第2ポピーの家	令和7年12月1日	東京都パラスポーツトレーニングセンター
	令和8年2月2日	
	令和8年2月24日	調布市総合体育館
	令和8年3月2日	第2ポピーの家
	令和8年3月18日	調布市総合体育館
第3ポピーの家	令和7年12月19日	調布市総合体育館
	令和8年2月18日	東京都パラスポーツトレーニングセンター
	令和8年2月24日	調布市総合体育館
	令和8年3月11日	第3ポピーの家
	令和8年3月18日	調布市総合体育館
しごと場大好き	令和7年12月1日	東京都パラスポーツトレーニングセンター
	令和8年2月2日	
	令和8年2月9日	調布市総合体育館
	令和8年3月16日	しごと場大好き
ぴいす	令和7年12月8日	東京都パラスポーツトレーニングセンター
	令和8年1月26日	調布市総合体育館
	令和8年2月9日	東京都パラスポーツトレーニングセンター

	令和 8 年 3 月 9 日	調布市総合体育館
なごみ	令和 7 年 12 月 8 日	なごみ
	令和 8 年 1 月 15 日	
	令和 8 年 2 月 26 日	東京都パラスポーツトレーニングセンター
	令和 8 年 3 月 5 日	なごみ
	令和 8 年 3 月 23 日	

- (イ) 障害当事者の運動機会創出事業「からだをうごかすぞう」（再掲）（調布市スポーツ推進委員会）

障害当事者が、余暇に個人でも楽しみながら体を動かす機会の創出を目的とし、楽しみながら身体を動かすオリジナルミニゲームを実施

- a 実施日 令和 7 年 1 月 8 日
- b 会場 調布市総合体育館 大体育室
- c 参加者数 69 人（介助者・付添いを除く）

- (6) 東京都市町村ボッチャ大会

東京 2020 大会開催を契機とした多摩地域での広域的な機運醸成・障害者スポーツ振興に向けた取組の一環として、多摩地域 29 自治体が実行委員会を組織して開催した。障害の有無や年齢・性別などにかかわらず、各自治体から選出された様々な構成の代表チームが出場した。

- ア 対象 都市町村の住民
- イ 実施日 令和 8 年 1 月 24 日
- ウ 会場 住友金属鋳山アリーナ青梅
- エ 参加チーム数 58 チーム

- (7) ブラインドサッカー体験授業「体験型ダイバーシティ教育プログラム スポ育」

障害理解の促進やコミュニケーションについて学ぶことを目的とし、日本ブラインドサッカー協会による体験型のプログラム「スポ育」を調布市教育委員会と連携して市内小学校で実施した。

- ア 実施校 市内小学校 4 校
- イ 参加児童数 約 300 人

- (8) あすチャレ！スクール

パラスポーツを通じて、児童生徒たちに共生社会への気づきや学びの機会を提供する、日本財団パラスポーツサポートセンターが行うパラスポーツ体験型出前授業「あすチャレ！スクール」を調布市教育委員会と連携して市内小・中学校で実施した。

- ア 実施校 市内小・中学校 4 校
- イ 参加児童生徒数 約 400 人

- (9) 調布市応援アスリート事業

調布市にゆかりのあるアスリートを「調布市応援アスリート」として認定し、市を挙げて応援することにより、地域から応援されることを後押しし、アスリートの更なる飛躍を期待するもの。また、市民が一体となって応援し、交流を図ることで、市民のスポーツへの関心や活動意欲を高め、スポーツ振興へと繋げることを目的として実施した。

- ア 認定アスリート数 25 人（令和 8 年 3 月 31 日現在）
- イ 令和 7 年度新規認定アスリート 2 人

氏名（敬称略）	競技名
石井 寛子	競輪

8 デフリンピック関連事業 予算科目（款・項・目）50・30・05〔決算書425ページ〕

令和7年11月に開催された東京2025デフリンピックについて、大会開催前及び大会終了後に、デフリンピックやデフスポーツ、デフアスリートに関する市民の興味・関心を喚起し、親しみ応援する機運を醸成するとともに、聴覚障害や手話に関する理解を深めることを目的とした取組を実施した。

(1) 東京2025デフリンピック特別授業「調布市デフプログラム」（デフプロ）

ア 実施期間 令和7年6月から同年10月まで

イ 実施校 市内小・中学校17校

ウ 内容

(ア) デフバドミントン・プログラム（講師 デフバドミントン日本代表）

(イ) デフフットサル・プログラム（講師 デフフットサル選手・監督）

(ウ) 応援アスリート・プログラム（講師 デフゴルフ袖山 哲郎選手と妻・由美氏）

(エ) 手話言語・プログラム（講師 聴覚障害当事者及び手話通訳者）

(2) デフバドミントン日本代表強化試合 練習公開&壮行会

ア 実施日 令和7年10月19日

イ 場所 東京競馬場日吉体育館

(3) 動画制作

ア 「東京2025デフリンピック開幕間近！！デフバドミントン選手の素顔に迫る！！」

※ 府中市との合同企画

(ア) 公開日 令和7年10月21日

(イ) 出演者

a 伊東 勇哉選手（日本デフバドミントン協会所属）

b 鎌田 真衣選手（日本デフバドミントン協会所属）

c 保科 隼希氏（手話通訳士）

イ 「調布市応援アスリート袖山哲郎選手の東京2025デフリンピックへの挑戦！」

(ア) 公開日 令和7年10月21日

(イ) 出演者 袖山 哲郎選手

(4) 東京2025デフリンピック応援企画「エールの花束プロジェクト」

市民等から応援の気持ち（エール）を込めた花の絵を募集した。集めた絵をデザインデータ化し、大会会期中、京王アリーナTOKYOの会場装飾や応援グッズ等に活用する応援企画を実施した。

ア 募集期間 令和7年6月28日から同年9月30日まで

イ 応募方法

(ア) ワークショップ

(イ) 市役所等に設置した応募箱に投函

(ウ) Webフォームから応募

ウ 応募総数 738枚

エ メイキング動画の制作

ワークショップなど、制作の様子をまとめたメイキング動画を制作した。

オ 応募イラストを活用した制作物

(ア) マフラータオル

市ゆかりのデフアスリートへ寄贈したほか、関係者やデフバドミントン団体観戦プログラム参加者に配布した。

(イ) 応援うちわ

大会期間中、デフバドミントン競技会場内に出店した市PRブース等で一般来場者に配布した。

(ウ) 会場装飾

バドミントンの競技会場である京王アリーナTOKYOに柱巻を設置した。

(5) デフバドミントン競技開催期間中の調布市ブース出展

ア 実施期間 令和7年11月14日から同月24日まで

イ 会場 京王アリーナTOKYO メインアリーナ 3階

ウ 内容

(ア) 東京2025デフリンピック応援企画「調布市エールの花束プロジェクト」制作した応援うちわの配布

(イ) 調布市PRチラシの配布

(ウ) 調布市PR動画上映（令和7年11月16日、19・20日、24日のみ実施）

(エ) 調布市福祉作業所物品販売（令和7年11月19・20日のみ）

(6) 東京2025デフリンピック「デフバドミントン団体観戦プログラム」

ア 実施日 令和7年11月23日

イ 場所 京王アリーナTOKYO

ウ 内容 大会情報や応援の仕方に関するミニ講座、試合観戦

エ 参加者数 57人

(7) 横断幕やのぼり旗の制作・掲出

(8) 「東京2025デフリンピックー調布市報告書ー」の制作

9 スポーツイベント等の開催支援

主に市内で行われるスポーツイベントや大会等に対し、共催又は後援による支援を行うことで、スポーツを通じた交流人口の拡大を図った。（単位：件）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
共催事業	3	2	4
後援事業	25	28	29

※ 市が共催又は後援を承認した件数

10 部活動地域連携・地域展開への対応

予算科目（款・項・目）50・30・05

〔決算書425ページ〕

調布市立中学校部活動地域連携・地域移行に関する推進計画（令和6年12月策定）」に基づき、部活動の地域展開等に向けて取り組んだ。

(1) 調布市立中学校部活動地域連携・地域移行に係る検討委員会

回	開催日	議題
---	-----	----

1	令和7年8月22日	・令和6年度の検討内容と議論の確認 ・国・東京都の動向 ・令和7年度の検討体制とこれまでの議論の大枠 ・調布市が目指す部活動改革 ・調布モデルの方向性と今後の検討課題 ・令和7年度のトライアル事業
2	令和7年12月18日	・前回検討委員会の振り返り ・令和7年度のトライアル事業 ・国の動向 ・今後のロードマップ(案)
3	令和8年3月27日	・前回検討委員会の振り返り ・国・東京都の方針を踏まえた調布市の検討の方向性 ・令和7年度のトライアル事業 ・令和8年度以降に検討が必要な重要論点 ・令和8年度スケジュール案

(2) 調布市立中学校部活動地域連携・地域移行に係る検討部会

回	開催日	議題
1	令和7年6月26日	・令和7年度事業における検討事項の整理 ・ワーキンググループでの議論の経緯 ・調布モデルのスキーム(案) ・トライアル事業の実施概要(案)
2	令和7年7月29日	・議論の振り返り ・トライアル事業の実施概要(案) ・トライアル事業の運営実証(案)

(3) トライアル事業

地域展開に向け、運営体制、施設管理、学校や指導者（団体）との連携など、様々な観点から成果と課題を検証することを目的として実施

ア 地域連携推進事業（トップスポーツチーム連携）

（単位：人）

種目	対象校	実施日	場所	参加者数
サッカー	第六中	令和7年12月13日	第六中学校 校庭	14
	第八中	令和7年12月20日	第八中学校 校庭	14
	神代中		神代中学校 校庭	41
	第三中、第七中	令和7年12月21日	第三中学校 校庭	19
	調布中、第五中		調布中学校 校庭	23
	第三中、第七中	令和8年1月31日	第三中学校 校庭	21
軟式野球	第五中、第七中	令和8年1月17日	第五中学校 校庭	33
	調布中、第八中	令和8年1月18日	調布中学校 校庭	28
	神代中、第四中	令和8年1月25日	神代中学校 校庭	43
	第三中、第六中	令和8年1月31日	第三中学校 校庭	29
	調布中、神代中、第五中、第八中	令和8年2月14日	ジャイアンツタウン スタジアム	72

バドミントン	第三中	令和 8 年 1 月 17 日、 31 日	第三中学校 体育館	47
--------	-----	--------------------------	-----------	----

※ 連携先は、F C 東京（サッカー）、読売巨人軍（軟式野球）、N T T 東日本バドミントン部（バドミントン）

※ 1 2 月 1 4 日に実施予定だった調布中・第五中及び第三中・第七中のサッカーは、雨天のため中止した。

イ 地域展開モデル事業

(ア) 既存部活動対象

(単位：回)

対象校	部活動	活動回数			計
		12 月	1 月	2 月	
調布中	男子バスケットボール部	4	4	3	11
	女子バスケットボール部	4	4	3	11
	ソフトテニス部	4	4	4	12
	野球部	3	2	0	5
	水泳部	2	3	2	7
第五中	男子ソフトテニス部		4	2	6

(イ) 既存部活動以外

(単位：人)

種目	実施日	場所	参加者数
マルチスポーツ	令和 7 年 12 月 20 日	第一小学校 体育館	12
	令和 8 年 1 月 24 日		10
	令和 8 年 2 月 15 日		12

11 プロスポーツチーム連携事業基金に関する事務

予算科目（款・項・目）5 0 ・ 3 0 ・ 0 5

〔決算書 4 2 5 ページ〕

包括連携協定を締結したプロスポーツチームとの協働により実施する地域のスポーツ振興事業等の資金に充てるため、基金を設置・運用するもの

(1) 寄附件数と寄附受領額

ア 寄附件数 5 7 件

イ 寄附受領額 1 4 4 万 2, 0 0 0 円

ウ 内訳

個人（市外在住） 5 7 件 1 4 4 万 2, 0 0 0 円

(2) 基金の収支

ア 積立額 1 1 7 万 8, 0 0 0 円

イ 取崩額 0 円

ウ 令和 7 年度末基金残高 1 1 7 万 8, 0 0 0 円

※ 寄附受領額と積立額の差額 2 6 万 4, 0 0 0 円については、令和 8 年度に積立を行うものとする。

12 体育施設使用状況

予算科目（款・項・目）5 0 ・ 3 0 ・ 1 0

〔決算書 4 2 7 ～ 4 2 9 ページ〕

※ 使用率は、使用日数÷使用可能日数で計算、回転率は、使用回数÷使用可能回数で計算

(1) 屋外体育施設

施設名		年度			件数(件)			使用者数(人)			使用率	回転率
		5	6	7	5	6	7	5	6	7	7	
野球場	市民野球場(1面)	461	478	392	7,508	8,313	7,022	50.7%			24.5%	
	西町野球場(1面)	392	399	392	15,744	16,727	16,495	38.6%			30.4%	
	調布基地跡地運動広場(5面)	4,008	3,962	4,005	119,566	126,135	135,094	69.6%			49.5%	
	小計	4,861	4,839	4,789	142,818	151,175	158,611					
少年野球場	調布基地跡地運動広場(4面)	2,510	2,381	2,588	70,362	65,459	75,838	58.3%			41.6%	
	多摩川児童公園内運動施設(5面)	565	532	517	24,860	23,408	22,748	30.3%			30.2%	
	西町少年野球場(2面)	584	536	559	23,788	26,692	22,079	26.8%			22.3%	
	小計	3,659	3,449	3,664	119,010	115,559	120,665					
ソフトボール等	大町スポーツ施設大運動場(1面)	314	462	497	7,447	14,240	14,956	78.7%			37.7%	
	多摩川児童公園内運動施設(2面)	492	441	333	22,140	19,845	14,985	34.6%			19.7%	
	小計	806	903	830	29,587	34,085	29,941					
サッカー場	調布基地跡地運動広場(3面)	1,596	1,647	1,866	89,414	107,908	120,912	50.8%			39.5%	
	多摩川児童公園内運動施設(1面)	321	315	368	11,556	11,340	10,980	50.3%			27.2%	
	西町サッカー場(1面)	1,634	1,610	1,511	107,303	107,671	109,871	90.7%			64.0%	
	小計	3,551	3,572	3,745	208,273	226,919	241,763					
調布基地跡地運動広場いこいの広場(1面)												
合 計		12,877	12,763	13,028	499,688	527,738	550,980					

※ 調布基地跡地運動広場少年野球場（A6）は整備工事のため、令和5年12月4日から令和6年3月31日まで延べ119日間、サッカー場（D2）は整備工事のため令和5年12月4日から令和6年3月29日まで延べ117日間使用を中止した。

※ 調布基地跡地運動広場少年野球場（A5）は整備工事のため、令和6年10月15日から令和7年3月31日まで延べ168日間、サッカー場（D1）は整備工事のため令和6年11月5日から令和7年3月21日まで延べ137日間使用を中止した。

※ 調布基地跡地運動広場野球場（E6）は防球ネット設置工事のため、令和7年1月20日から同年2月28日まで延べ40日間使用を中止した。

※ 市民野球場、西町野球場、西町少年野球場及び西町サッカー場については、市民の利用機会を拡充するため、条例上の開設期間を見直し、条文に規定する閉鎖期間（12月29

日から1月3日まで)の一部について、従来よりも短縮したほか、芝生等のグラウンド状態を踏まえて柔軟に野球場の閉鎖期間を設定することとした。

- ※ 多摩川児童公園内運動施設ソフトボール場(7面)は国土交通省による河川工事のため、令和7年10月1日から令和8年3月27日まで延べ178日間使用を中止した。
- ※ 西町サッカー場は夜間照明LED化のため、令和8年2月2日から同月28日まで延べ27日間使用を中止した。

(2) テニスコート

施設名 \ 年度	件数(件)			使用者数(人)			利用率	回転率
	5	6	7	5	6	7	7	
多摩川テニスコート(4面)	8,215	7,960	6,025	38,535	37,309	27,961	96.2%	81.6%
緑ヶ丘テニスコート(3面)	4,346	4,253	3,816	20,756	20,297	17,791	94.1%	75.1%
深大寺テニスコート(3面)	3,466	3,269	3,274	13,677	12,695	12,497	90.9%	75.5%
大町スポーツ施設小運動場(2面)	2,270	2,261	2,254	10,919	10,908	11,132	93.0%	65.6%
調布中学校テニスコート(3面)	338	352	244	1,691	1,751	1,209	86.3%	80.1%
合 計	18,635	18,095	15,613	85,578	82,960	70,590		

- ※ 調布中学校テニスコートは、日曜日及び祝日のみ開放した。
- ※ 緑ヶ丘テニスコートは夜間照明LED化のため、令和7年11月25日から同年12月26日まで延べ32日間使用を中止した。
- ※ 多摩川テニスコートは整備工事及び夜間照明LED化のため、令和8年1月5日から同年3月31日まで延べ86日間使用を中止した。

(3) 屋内施設

施設名 \ 年度		件数(件)			使用者数(人)			使用率	回転率
		5	6	7	5	6	7	7	
体育館	総合体育館 (大・小)	38,280	44,288	47,365	74,846	80,861	89,104	100.0%	95.7%
	西調布体育館 (2面)	2,499	2,467	2,477	43,514	41,861	41,973	100.0%	93.5%
	大町スポーツ 施設(1面)	1,236	1,300	1,339	26,211	29,052	29,848	100.0%	93.7%
	小 計	42,015	48,055	51,181	144,571	151,774	160,925		
会議室	総合体育館 (2室)	2,827	3,163	3,119	9,148	9,085	9,027	100.0%	66.8%
	西調布体育館 (1室)	588	543	548	7,865	6,505	5,989	92.8%	41.3%
	大町スポーツ 施設(1室)	1,058	1,018	1,051	16,791	15,890	16,377	97.2%	73.2%
	小 計	4,473	4,724	4,718	33,804	31,480	31,393		

総合体育館トレーニング室(1室)				16,691	22,046	26,377	100.0%	
合 計	46,488	52,779	55,899	195,066	205,300	218,695		

(4) プール

施設名 \ 年度	件数(件)			使用者数(人)			使用率
	5	6	7	5	6	7	7
市民プール				21,786	0	0	
総合体育館プール	0	29,520	38,522	0	39,596	50,022	100.0%
調和小学校プール	26,774	27,377	18,725	30,133	29,968	20,533	100.0%
合 計	26,774	56,897	57,247	51,919	69,564	70,555	

※ 市民プールについては、令和6年度は令和5年10月に50メートルプールの水位が減少している事象を受け、4月から8月までの間、施設全体の劣化度調査を実施したため、開設を中止とした。また、劣化度調査の結果や屋外プールをめぐる環境の変化に伴う様々な課題等を総合的に勘案し、令和7年度以降、市民プールは当面の間開設を中止することとした。

※ 総合体育館プールは、改修工事により令和4年12月3日から令和6年3月31日まで延べ485日間使用を中止した。

※ 調和小学校プールは、可動床更新工事のため令和7年11月4日から令和8年3月31日まで延べ148日間使用を中止した

(5) 弓道場

施設名 \ 年度	件数(件)			使用者数(人)			使用率
	5	6	7	5	6	7	7
調布中学校弓道場	9,984	9,651	8,907	10,902	10,673	9,850	100.0%

13 施設工事・改修状況

予算科目(款・項・目) 50・30・10

[決算書427～429ページ]

(1) 修繕関係

件数 27件 調布基地跡地運動広場A5グラウンド防球ネット修繕ほか

(2) 工事関係

ア 調布基地跡地運動広場A6グラウンド散水設備設置工事

イ 調布基地跡地運動広場A6グラウンド散水設備設置に伴う電気設備工事

ウ 調布基地跡地運動広場中通路浸透柵設置工事

エ 調布市総合体育館排煙オペレーター更新工事

オ 調布市総合体育館リモートコントロールユニット改修工事

カ 調布市民多摩川テニスコート人工芝改修工事

14 西調布体育館機能移転に向けた取組

西調布体育館については、中日本高速道路株式会社による中央自動車道の耐震補強工事等に伴い、解体・撤去が必要となることから、周辺の公共施設用地を活用した代替施設の建設による機能移転を視野に、様々な観点から検討を重ねた。

こうした検討の中で、調布中学校敷地において代替施設を建設し機能移転すること、またその

中で、学校屋内プールとの複合施設を整備することとし、施設整備における基本的な考え方を整理するため、市民参加手続を踏まえ、調布市民西調布体育館機能移転に関する基本構想を策定した。

また、基本構想策定後、基本計画の検討や民間活力を活用した事業スキームの検討に取り組んだ。

(1) 調布市民西調布体育館に関する基本構想策定委員会

回	開催日	議題
3	令和7年5月12日	- 西調布体育館の機能移転に関する生徒・保護者アンケートについて - 西調布体育館機能移転に関する基本構想(素案)について
4	令和7年7月31日	- 西調布体育館の機能移転に関するオープンハウス及びパブリック・コメント手続の実施結果(概要)について - 西調布体育館機能移転に関する基本構想(案)について

※ 第1回及び第2回は令和6年度に実施

(2) オープンハウスの開催

西調布体育館の機能移転について、策定を進めている基本構想の内容等をパネルにまとめ、現在の状況について、市民へ説明を行った。

ア 開催日 令和7年6月26日、28日

イ 来場者数 30人

(3) パブリック・コメントの実施

ア 実施期間 令和7年6月12日から同年7月11日まで

イ 意見提出者数及び提出意見数 7件(4人)

15 市民プールのあり方検討について

市民プールについては、令和5年度に開設した後、同年度の10月に対象施設の点検を実施した際、50メートルプールの水位が低下する事象を確認した。

また、市民プールは建設後約50年が経過していることから、令和6年度は市民プールの開設を中止し、今回の事象を踏まえた水位低下の原因特定と併せて、各プールの水槽、管理棟や機械室を含む施設全体の劣化度を確認する調査を実施した。

劣化度調査の結果、50メートルプールをはじめとした各種設備について大きな劣化が確認され、これらの改修・更新はもとより、プール全体の今後の老朽化対策には相応の費用が見込まれることや、近年の気候変動による猛暑日の増加など、屋外プールをめぐる環境の変化に伴う様々な課題もあることから、こうした状況を総合的に勘案し、令和7年度以降、当面の間は市民プールの開設を中止し、市民プールのあり方について、多角的な視点から速やかに検討を進めることとした。

有識者や関係団体、庁内関係部署で構成する調布市民プールのあり方に関する検討委員会を設置して検討を行ったほか、市民アンケート調査・学校アンケート調査等のニーズ把握の取組やパブリック・コメント手続を経て、調布市民プールのあり方に関する基本的な考え方を策定した。

(1) 市民プールのあり方に関する検討委員会

回	開催日	議題
---	-----	----

1	令和 7 年 5 月 28 日	・調布市民プールに関するこれまでの経緯について ・調布市民プールの現状について ・今後の進め方等について ・調布市民の公営プールに関するニーズ等調査について
2	令和 7 年 8 月 26 日	・調布市民の公営プールに関するアンケート調査結果の概要 ・公営プールを取り巻く課題 ・市民プール及び市の公営プールを取り巻く課題 ・調布市民プールのあり方に関する検討 ・今後の検討課題、スケジュール
3	令和 7 年 10 月 8 日	調布市民プールのあり方に関する検討について
4	令和 7 年 12 月 15 日	・パブリック・コメント手続結果の概要について ・調布市民プールのあり方に関する基本的な考え方(案)について

(2) 市民の公営プールに関するアンケート調査

市民プールや市内の他の公営プールについて、市民の利用状況や満足度、意向・要望等を把握することを目的にアンケートを実施した。

ア 市民アンケート

(ア) 対象

無作為抽出した 16 歳以上の市民約 3,000 人

(イ) 実施期間

令和 7 年 7 月 7 日から同月 25 日まで

イ 学校アンケート

(ア) 対象

市立小・中学校に在籍する小学 3 年生、6 年生及び中学 2 年生の全児童・生徒

(イ) 実施期間

令和 7 年 7 月 10 日から同月 25 日まで

(3) 団体ヒアリング

対象団体	実施日
公益社団法人 調布市スポーツ協会	令和 7 年 7 月 11 日
調布市水泳連盟	令和 7 年 7 月 11 日
特定非営利活動法人 調和 SHC 倶楽部	令和 7 年 7 月 12 日

(4) パブリック・コメント手続の実施

ア 実施期間 令和 7 年 10 月 31 日から同年 11 月 30 日まで

イ 意見提出者数及び意見提出件数 26 人、20 件

16 総合型地域スポーツクラブ

人々が身近な地域でスポーツに親しむことのできるスポーツクラブとして、①子どもから高齢者までの（多世代）、②様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、③初心者からトップレベルまでそれぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持って、地域住民の団体により、自主的・主体的に運営されているもの

(1) 団体名 特定非営利活動法人 調和 SHC 倶楽部

(2) 設立年月 平成14年9月

(3) 会員数

(単位：人)

	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
大人会員	268	447	715	284	440	724	307	467	774
子ども会員	206	310	516	221	296	517	199	288	487
合 計	474	757	1,231	505	736	1,241	506	755	1,261

(4) 活動サークル・教室数 57 (令和8年3月31日現在)

ス ポ ー ツ		健 康	
1	剣道	1	水中歩行
2	バドミントン	2	水泳
3	卓球	3	グラウンドゴルフ
4	インディアカ	4	気功
5	ネオホッケー	5	フレッシュヨーガ
6	フロアボール	6	ボディワーク
7	バスケットボール	7	健康体操
8	硬式テニス	8	インドアペタンク
9	バレーボール	9	ボッチャ
10	ソフトバレーボール	10	ゆるストレッチ 健康ボクシング
11	ソフトボール	11	ノルディックウォーキング
12	スポーツ吹矢	12	ゆったり体操
13	ピククルボール	13	リカバリー体操教室
ジュニアサポート		14	男性の体力増進
1	小学生バスケットボール	15	貯筋運動教室
2	ダブルダッチ	16	健康太極拳教室
3	小学生バドミントン	17	体力アップ教室
4	英語であそぼう	18	転倒予防体操
5	書道教室	19	転倒予防体操
6	小学生ネオホッケー&ミニフロアボール	文 化	
7	親子体操	1	俳句 すずめの学校
8	Jr 硬式テニス(水曜日)	2	絵手紙・四季絵
9	Jr 硬式テニス(土曜日)	3	絵画
10	キッズホップ(木曜日)	4	ゴスペル
11	キッズホップ(金曜日)	5	よさこい
12	チアダンス	6	英会話
13	小学生スイミング	7	フラダンス
14	キッズフラワー	8	将棋
		9	健康麻雀
		10	囲碁初心者サークル
		11	歌声広場

(5) 2025 パラスポーツ・ボッチャ交流会 in 調布

大会アドバイザーとして秋元 妙美氏（ロンドン２０１２パラリンピックのボッチャ日本代表）と調布市スポーツ推進委員がサポートし、２チームが令和８年１月の「令和７年度東京都市町村ボッチャ大会」への参加資格が与えられた。

ア 実施日 令和７年１１月２３日

イ 会場 市民大町スポーツ施設体育館

ウ 参加者数 ６０人

(6) スポーツ・レクリエーション教室（令和７年度都立特別支援学校活用促進事業）

東京都障害者スポーツ協会と東京都スポーツ文化事業団とともにボッチャと四面卓球バレーを実施した。

ア 実施日 ①令和７年７月６日、②令和７年１０月５日

イ 会場 調布市特別支援学校体育館

ウ 参加者数 ①２１人、②１９人

17 調布基地跡地留保地の活用による施設整備の取組

調布基地跡地留保地の活用による施設整備に向け、ＦＣ東京から施設整備に関する提案書を受領するとともに、東京フットボールクラブ株式会社との包括連携協定を締結した。また、「調布基地跡地留保地の活用による施設整備に関する基本的な考え方」及び「調布基地跡地留保地施設整備基本計画」を策定した。あわせて、市ホームページ、オープンハウス、イベント出展及び自治会等への説明を通じた周知を行うとともに、アンケート、オープンハウス及びパブリック・コメント手続による意見聴取を実施した。さらに、基本設計に着手するとともに、議会への随時の情報提供を行ったほか、調布飛行場等対策特別委員会、一般質問、上程時質疑、代表質問及び常任委員会等において対応し、令和８年度当初予算を計上した。

(1) 「留保地の活用による施設整備に関する基本的な考え方」のオープンハウス開催におけるアンケート調査

ア 目的

調布基地跡地留保地の活用について、ＦＣ東京からの提案を踏まえ整理した「調布基地跡地留保地の活用による施設整備に関する基本的な考え方」に対する市民意見を把握し、今後の施設整備の検討及び市政運営に活用することを目的として実施した。

イ 調査対象者 市内在住、在勤・在学者をはじめ幅広く意見を把握するため、広くアンケートを実施した。

ウ 調査方法 アンケート用紙と併せて、インターネット回答フォームを活用

エ 調査期間 令和７年９月５日から同月１８日まで

オ 回答数等

(ア) 回答数 １，３９６件

(イ) 内訳

ａ 市内在住 １，００５人

ｂ 市内在勤・在学 ８１人

ｃ その他 ３１０人

(2) 調布基地跡地留保地施設整備基本計画の策定

基本計画（素案）を作成し、パブリック・コメント手続での市民意見や調布飛行場等対策特別委員会での意見などを踏まえ、令和７年１２月に調布基地跡地留保地施設整備基本計画を策定、公表した。

ア パブリック・コメント手続実施期間 令和7年10月15日から11月13日まで

イ 意見提出者数 44人

ウ 意見提出件数 135件 (単位：件)

意見の内訳	件数
全般に対する意見	0
「調布基地跡地留保地の活用について」に対する意見	27
「留保地に係る法的条件等」に対する意見	6
「施設整備に関する基本的な考え方」に対する意見	23
「施設計画」に対する意見	26
「事業手法・費用負担等の考え方」に対する意見	13
「想定事業スケジュール」に対する意見	10
その他に対する意見	30
合 計	135